

HITACHI

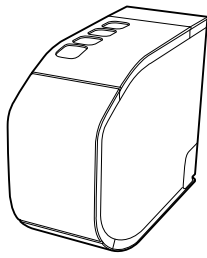
据付説明書

日立ルームエアコン 換気ユニット

- 据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
- お客さまに操作方法を取扱説明書でよく説明してください。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

型式
SP-PVN1
SP-PVN2



据付情報 対応するルームエアコンの据付説明書を合わせてお読みください。

据付工事に必要な工具 (●印はR32またはR410A専用工具)

- ⊕ドライバー ●巻き尺 ●ナイフ ●ペンチ ●パイプカッター
- 六角棒スパナ (呼び4) ●Pカッター ●ホールコアドリル (φ65~80mm)
- 水準器 ●ハサミ ●スパナまたは、モンキーレンチ ●トルクレンチ
- 先の細いニッパー ●フレアリングツール ●座屈防止材 (ポリシン)

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告 …… この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
	注意 …… この表示の欄は、「軽傷を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止		指示を守る		アース線接続
--	----	--	-------	--	--------

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともに、お客様が保管いただくように依頼してください。

警告

- 据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼するご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 据え付けは、重量に十分耐えるところで確実に行う強度不足や取り付けが不完全な場合は、室内外機の落下により、けがの原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」およびこの据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する電気回路容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。
- 接続ケーブルの配線は、途中接続やより線の使用はせず直径2mmの単線を使用して確実に接続する端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する接続や固定が不安定な場合は、故障や発熱・火災の原因になります。
- 設置工事は、必ず付属部品および指定の部品 (別売部品など) を使用する当社指定部品を使用しないと、室内外機の落下・水漏れ・感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。
- エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒 (R32) 以外の空気などを混入させない空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり破裂やけがなどの原因になります。
- 指定冷媒 (R32) 以外は使用 (冷媒補充・入替え) しない機器の故障や破裂、けがなどの原因になります。
- 銅製以外の冷媒配管を使用しない強度が弱く、破損し冷媒漏れの原因になります。
- 配管・フレアナットは、必ずR32またはR410A指定のものを使用する破裂やけがなどの原因になります。
- フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付けるフレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒が漏れ、滞留し、火気に触れると、まれに引火する原因になります。
- 作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う冷媒ガスが漏れ、滞留し、火気に触れると、まれに引火する場合があります。また有毒ガスが発生する原因になります。
- 設置工事終了後、ガス漏れ検知器を使用して冷媒ガスが漏れていないことを確認する冷媒ガスが漏れ、滞留し、火気に触れると、まれに引火する場合があります。また有毒ガスが発生する原因になります。

警告

- アース (接地) を確実に行うアース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないアース (接地) が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。
- 漏電遮断器を取り付ける漏電遮断器が取り付けられていないと、感電・火災の原因になります。
- 据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける冷媒配管が取り付けられていない状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・けがなどの原因になります。
- 冷媒回収 (ポンプダウン) 作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する圧縮機を運転したまま、冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・けがなどの原因になります。
- 電源コードの加工・途中接続・タコ足配線はしない接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、感電や火災の原因になります。
- 接続配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形しカバーを確実に取り付けるカバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなくコンセントにもホコリの付着・詰まり・がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込むホコリの付着・詰まり・がたつきがあると、感電・火災の原因になります。ホコリの付着・詰まりがあるときは清掃してください。コンセントに、がたつきがある場合は、交換してください。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しない万一、ガスが漏れて室内外機の周囲にたまと、発火の原因になります。

注意

- 配管の急な曲げ加工は座屈防止材 (ポリシン) などを使用して、つぶれないように曲げるつぶれた部分より冷媒が漏れ、滞留し、火気に触れると、まれに引火する原因になります。
- 排水工事は、この据付説明書および対応するルームエアコンの据付説明書に従って、確実に排水するよう配管を行う不確実な場合は、屋内に浸水し家財などを濡らす原因になります。

はじめに

据付方法

本据付説明書は換気ユニットの据付方法、および関連する室内機の据付方法について記載しています。室外機との据付方法や仕上げ方法などは、対応するエアコン本体の据付説明書に従ってください。なお、本製品は埋込配管には対応していません。

換気ユニットについて

換気ユニットは取り付け位置、室内機の配管引き出し方向によって下表の18通りの据付が可能で、P.5,6及びP.10,11ページで据付可能範囲を確認し、下表の据付方法一覧から据付方法を決定してください。

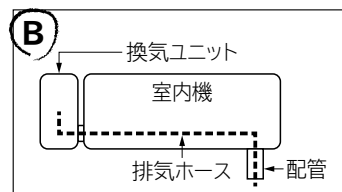
配管引き出し方向	据付方法一覧	
	換気ユニットが室内機の左側	換気ユニットが室内機の右側
後直引き	A 	K
右下引き	B 	L
右横引き	C 	M
左横引き 背面出し 配管の接続方法は2通りあります	D、E D : 配管を接続してから室内機を据え付ける場合 E : 室内機を据え付けてから室内機の背面で配管を接続する場合	N、P N : 配管を接続してから室内機を据え付ける場合 P : 室内機を据え付けてから室内機の背面で配管を接続する場合
左下引き 配管の接続方法は2通りあります	F、G F : 配管を接続してから室内機を据え付ける場合 G : 室内機を据え付けてから室内機の背面で配管を接続する場合	Q、R Q : 配管を接続してから室内機を据え付ける場合 R : 室内機を据え付けてから室内機の背面で配管を接続する場合
左横引き 配管の接続方法は2通りあります	H、J H : 配管を接続してから室内機を据え付ける場合 J : 室内機を据え付けてから室内機の背面で配管を接続する場合	S、T S : 配管を接続してから室内機を据え付ける場合 T : 室内機を据え付けてから室内機の背面で配管を接続する場合

本据付説明書の使いかた

各ページの右端または左端には、各据付方法に対応するアルファベットが黒文字で表示されています。据付方法が決定したら、対応するアルファベットに○印を記入して対応するページのみを参照することをおすすめします。



使用例：左表「B」の場合



据付方法が決定したら各ページ表のアルファベットを○で囲む



付属品の使用について

据付方法によって使用する付属品が異なります。下表の適用付属品一覧を参照して使用する付属品を確認してください。

(○)は据付状態によって使用する、しないを選択可能な付属品です。

部品名		排気ホース φ25	ホース アダプタ φ25	排気ホース φ20	ホース アダプタ φ20	虫除け カバー	虫除け カバー アダプタ	雨除け カバー	ドレン用 逆止弁	隙間 ピース	クリップ	
備考							φ20ホース 選択時	出口カバーを 使用しない 場合	エアコンの ドレンホースに 取り付けます	室内機との 隙間を 埋める部品	隙間ピースの 取付に 使います	
据付方法	換気ユニット左据付	A 後直引き	○	○	(○)※1	(○)※1	○	(○)※1	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		B 右下引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		C 右横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		D 左横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		E 背面出し	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		F 左下引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		G 左下引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		H 左横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	※3	※3
	換気ユニット右据付	J 左横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	※3	※3
		K 後直引き	○	○	(○)※1	(○)※1	○	(○)※1	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		L 右下引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		M 右横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	※3	※3
		N 左横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		P 背面出し	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		Q 左下引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
		R 左下引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2
S 左横引き	S 左横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2	
	T 左横引き	×	×	○	○	○	○	(○)	○	(○)※2	(○)※2	

※1 A、Kの推奨はφ25の排気ホースですが、φ20の排気ホースも使用可能です。

※2 換気ユニットと室内機を離して据え付けする場合は、市販の配管カバー等を使用してください。

※3 ドレンホースの勾配を取る必要があるため、室内機と換気ユニットの高さがずれます。

このため、隙間ピースを取り付けることができません。

使用しなかった付属品について

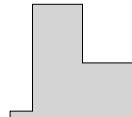

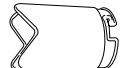
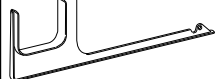
移設の際に必要となる場合がありますので、この据付説明書、
取扱説明書とともにお客様が保管頂くように依頼してください。

もくじ

据付方法	表紙	1
	据付情報	1
	据付工事に必要な工具	1
	安全上のご注意(必ずお守りください)	1
	はじめに	2
	換気ユニットについて	2
	本据付説明書の使いかた	2
	付属品の使用について	3
	1.据付場所の選定	5
	1-1 据付必要スペースの確認(換気ユニットを室内機の左側に据付ける場合)	5
	1-2 排気ホースの据付可能範囲(換気ユニットを室内機の左側に据付ける場合)	5
	1-3 据付必要スペースの確認(換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合)	6
	1-4 排気ホースの据付可能範囲(換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合)	6
2.据付板の取り付け(壁に直付けする場合)	7	
2-1 室内機据付板の取り付け	7	
2-2 壁穴あけおよび保護パイプの取り付け	7	
2-3 換気ユニット据付板の取り付け	8	
3.据付板の取り付け(回り縁と鴨居に据付ける場合)	10	
3-1 室内機据付板の取り付け	10	
3-2 壁穴あけおよび保護パイプの取り付け	10	
3-3 換気ユニット据付板の取り付け	11	
4.Fケーブルの準備	12	
4-1 Fケーブルの接続方法	12	
4-2 Fケーブル(内):室内機⇒換気ユニット接続用の準備	12	
4-3 Fケーブル(外):換気ユニット接続⇒室外機用の準備	12	
5.排気ホースの準備	13	
6.室内機の準備	14	
6-1 フロントパネルの取り外し	14	
6-2 配管押さえの取り外し	14	
6-3 下カバー右の取り外し・ブッシュの切り取り	14	
6-4 ドレンホースの付け替え(横引据付の場合のみ)	15	
7.室内機の据付(換気ユニットを室内機の左側に据付ける場合) (据付方法A、B、C、D、E、F、G、H、J)	16	
7-1 据付の準備	16	
7-2 Fケーブルの接続	16	
7-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け(据付方法A、B、C)	18	
7-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け(据付方法D、F、H)	23	
7-5 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け(据付方法E、G、J)	28	
7-6 室内機カバー類の取り外し	32	
8.室内機の据付(換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合) (据付方法K、L、M、N、P、Q、R、S、T)	33	
8-1 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け(据付方法K、L、M)	33	
8-2 室内機の準備(据付方法N、P、Q、R、S、T)	38	
8-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け(据付方法N、Q、S)	38	
8-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け(据付方法P、R、T)	43	
8-5 室内機カバー類の取り外し	48	
8-6 ケーブルガイドの切断	49	
8-7 Fケーブル(内)の接続	49	
9.換気ユニットの準備	51	
9-1 フロントパネルの取り外し	51	
9-2 フィルターの取り外し	51	
9-3 化粧カバーの取り外しかた	51	
10.換気ユニットの据付	52	
10-1 据付板への固定	52	
10-2 換気ユニットと室内機位置の調整	52	
11.換気ユニットと室内機の接続(左側に据付ける場合) (据付方法A、B、C、D、E、F、G、H、J)	54	
11-1 アース線、通信ケーブルの接続	54	
11-2 室内機のカバーの取り付け	56	
11-3 排気ホースの接続	56	
11-4 換気ユニットへのFケーブルの接続	57	
12.換気ユニットと室内機の接続(右側に据付ける場合) (据付方法K、L、M、N、P、Q、R、S、T)	58	
12-1 アース線、通信ケーブルの接続	58	
12-2 排気ホースの接続	60	
12-3 換気ユニットへのFケーブルの接続	60	
12-4 室内機のカバーの取り付け	61	
13.換気ユニットの仕上げ	62	
13-1 化粧カバーブッシュの切断	62	
13-2 隙間ピースの取り付け	62	
13-3 化粧カバーの取り付け	63	

14.排気ホースの端末処理	64
14-1 出口カバーを使用しない場合	64
14-2 出口カバーを使用する場合 ((因幡電機産業(株)製 SWX-77L) 推奨)	65
14-3 ドレン用逆止弁の取り付け	66
15.換気ユニット用リモコンの設定と固定	67
15-1 乾電池の入れ方	67
15-2 リモコンの固定	67
15-3 アドレス設定方法	67
16.換気ユニットの試運転	68
17.移設時または取外し時の作業	68

付属品

①据付板: 1枚 ユニット背面に保管 	②据付用型紙: 1枚 	③据付板固定ねじ: 5本 
④リモコン: 1個 	⑤リモコン 取り付けねじ: 1個 	⑥単4形マンガン 乾電池: 2本 
⑦排気ホースφ25 (1.5m): 1本 	⑧排気ホースφ20 (2.2m): 1本 	⑨ホースアダプタ φ25用: 1個 
⑩ホースアダプタ φ20用: 1個 	⑪虫除けカバー: 1個 	⑫虫除けカバー アダプタ: 1個 
⑬雨除けフード: 1個 	⑭隙間埋めピース: 1個 	⑮隙間埋めピース用 クリップ: 1個 
⑯隙間埋めピース用 両面テープ: 1枚 	⑰換気ユニット背面 下部固定ねじ: 2本 (据付板に固定) 	⑱アースねじ: 1本 
⑲ドレン用逆止弁: 1個  (因幡電機産業(株)製 DHB-1416)		

下記の点に注意し、お客様の同意を得て据え付けてください

1.据付場所の選定(つづき)

換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合 据付方法「K、L、M、N、P、Q、R、S、T」共通

注意

- 近くに熱の発生がなく、吸込口付近をふさがないところ
- 本体の上・下・左・右に下図の⇨印の間隔をあけられるところ
- エアコン室内機との間隔が150mm以内であるところ
- エアコン室内機と同部屋であること
- 雨水が直接かかる場所では雨水が侵入することがあるので、専用の雨除けフードを使用するか、市販の出口カバー(SWX-77L)を使用する。
- 虫等が侵入することがあるので、専用の虫除けカバーは必ず使用する。
- 下記の場所には据付しないでください
 - ・温泉地 ・塩害地域 ・薬品工場 ・養鶏・養豚場のようなほこりや有害ガスの多い場所
 - ・カーテン、ひもなどが触れる恐れのある場所

警告

本体を十分に支えられ、振動が出ない、強度のあるところに据付ける

1-3 据付必要スペースの確認(換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合)

据付場所の選定の際には対応するエアコン本体の据付説明書を参照してください。

換気ユニットを据え付けるためには、サービススペースを含めたスペースが必要です。下図を参照して、壁に据付板を固定する前に必ず確認してください。

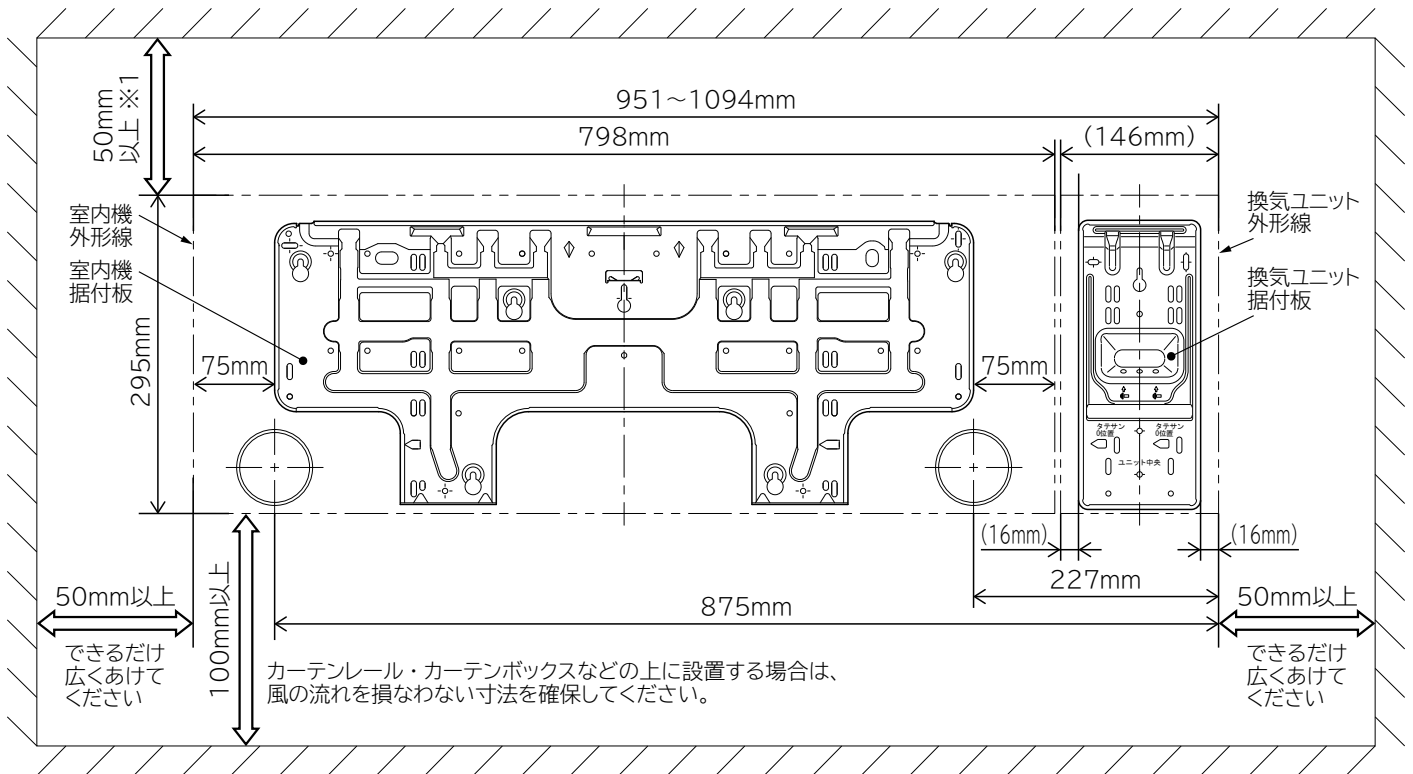
① 下図で換気ユニットの据付位置を確認してください。

柱などを避けて据え付ける場合などは、室内機と換気ユニットを150mmまで離して据え付けることが可能です。

カーテンレールなどを避けて据え付ける場合は、換気ユニットを上方向へ最大150mmまで移動させて据え付けることが可能です。

ただし、排気ホースがS字状になることを防ぐため、上に移動させた分、右にも移動させてください。

※1 室内機の背面で配管接続する場合は110mm以上



1-4 排気ホースの据付可能範囲(換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合)

本製品には2本の排気ホース(φ20とφ25)が同梱されています。

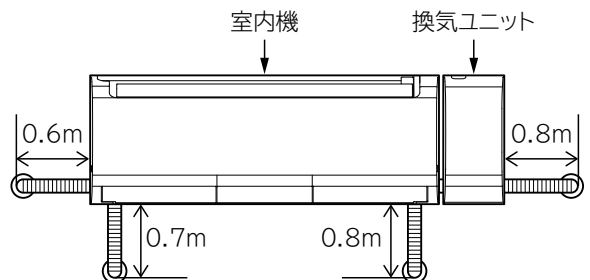
室内機の配管引き出し方向によって使用可能なホースが異なります。

φ25の排気ホースは後直引きのみに対応しています。

φ20の排気ホースを使用すれば、壁穴までの距離が最長で右図に示す範囲まで据付可能です。

換気ユニットと室内機を離して据え付ける場合は、離れた長さ分、ホースの据付可能範囲が短くなります。

ホースの使い分けはお客様の同意を得た上で施工してください。



据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

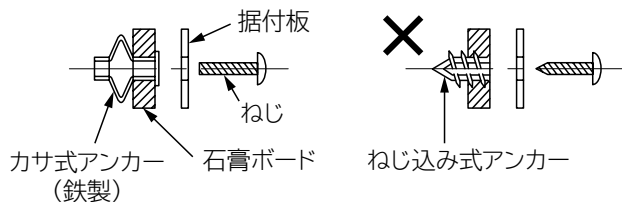
2. 据付板の取り付け (壁に直付けする場合)

2-1 室内機据付板の取り付け

詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

① 壁内の構造体(間柱など)を探して室内機の据付板を壁に固定します。

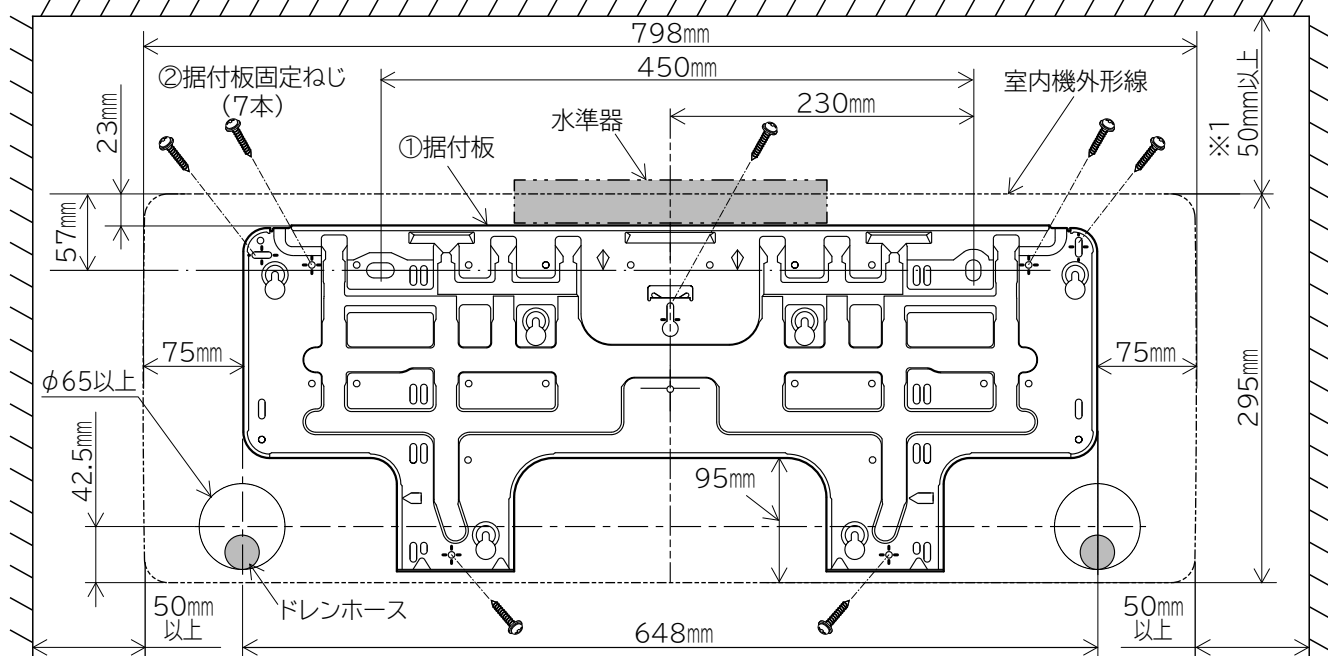
- 石膏ボードに直付けする場合は
 - ・ カサ式のボードアンカー(鉄製)をご使用ください。
 - ・ 石膏ボードの厚みに合ったボードアンカーをご使用ください。
 - ・ ボードアンカーの開脚・固定は必ず専用工具をご使用ください。
 - ・ ねじの締め付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。ボードが破損する場合があります。
 - ・ ねじ込み式のボードアンカーは締めすぎると保持強度が極端に落ちる場合がありますので使用しないでください。
- 公団アパート用穴を使用する場合はアンカーボルトの壁からの出張り寸法が15mm以下になるようにカットしてください。



必ず、下図記載の刻印 -1- 部7箇所を付属ねじ7本で固定し、据付板は水平に固定する

水準器は据付板の上に置いて使用してください

※1 室内機の背面で配管接続する場合は110mm以上



2-2 壁穴あけおよび保護パイプの取り付け

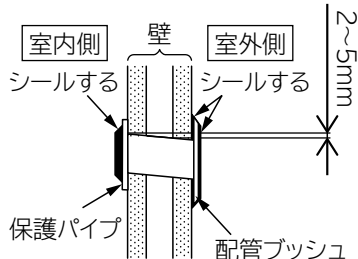
① 下表を参照して穴を外側に2~5mm下がり気味に開けます。

配管径	壁穴径
2分/3分	φ65mm以上
2分/4分	φ70mm以上

お願い 排気ホースなどの配管類を通しやすくするため、壁穴径は2分/3分、2分/4分ともにφ70mm以上をおすすめします

② 保護パイプ(市販品)を壁の厚さに合わせて切断し、壁穴に通します。

③ 雨水や外気の浸入などがないよう完全にシールし、配管ブッシュ(市販品)を付けます。



警告

● 保護パイプは必ず使用する

接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電や火災の原因となります。

注意

● 完全にシールする

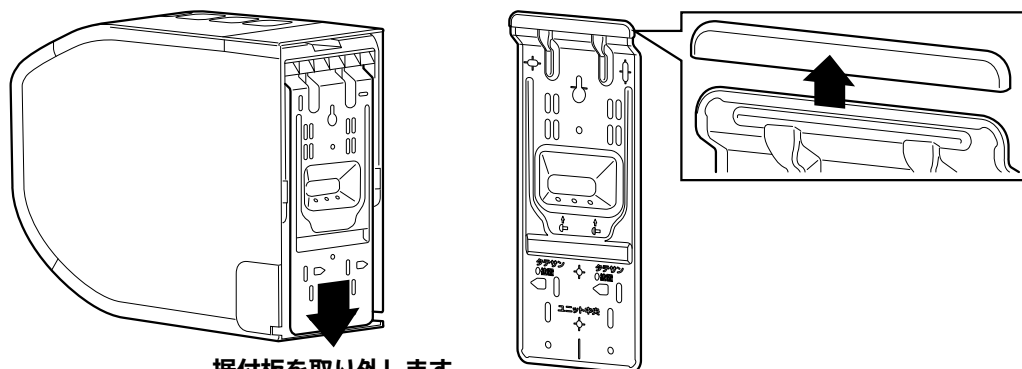
壁内や室外の高湿空気が室内に流入し、故障・露たれの原因となります。また壁内や室外の臭いが室内に流入する原因となります。
※シール材としてパテを使用する場合は油じみになるおそれがありますのでパテが壁に直接触れないようにお願いします。

2. 据付板の取り付け (壁に直付けする場合) (つづき)

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

2-3 換気ユニット据付板の取り付け

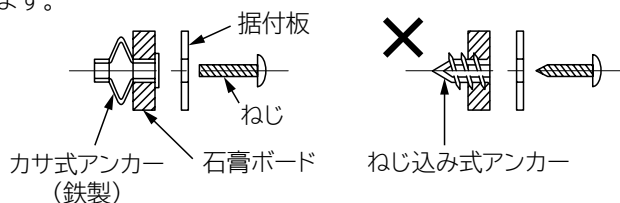
- ① 換気ユニットの裏の据付板をはずし、換気ユニット据付板上部の防振ゴムを外します。
据付板についているテープは剥がしてください。



据付板を取り外します

- ② 壁内の構造体(間柱など)を探して換気ユニットの据付板を壁に固定します。

- 石膏ボードに直付けする場合は
 - ・カサ式のボードアンカー(鉄製)をご使用ください。
 - ・石膏ボードの厚みに合ったボードアンカーをご使用ください。
 - ・ボードアンカーの開脚・固定は必ず専用工具をご使用ください。
 - ・ねじの締め付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。ボードが破損する場合があります。
 - ・ねじ込み式のボードアンカーは締めすぎると保持強度が極端に落ちる場合がありますので使用しないでください。



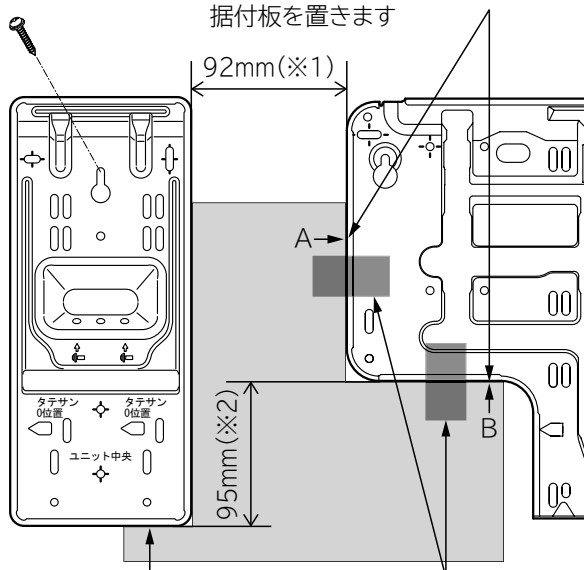
- ③ 室内機据付板の、換気ユニットを据え付ける側のA面、B面を基準にして、換気ユニット据付板の位置決めをします。位置を決めた後に換気ユニット据付板中央を、付属の据付板固定ねじで固定します。

(この際、付属の型紙を使用するときれいに位置合わせすることができます。型紙は換気ユニットの据付位置に合わせて裏返して使用できます。型紙は、換気ユニット据付板を固定した後を外してください。換気ユニットを室内機から離して据え付ける際は、型紙は使用できません。)

換気ユニットを室内機の左に据え付ける場合 据付方法:A~G

付属の据付板固定ねじで固定します

A面から92mm、B面から95mmの位置に据付板の端面が来るように据付板を置きます



据付板を型紙に合わせてください(型紙が乗り上げないように注意してください)。

型紙使用時はテープ等でずれないように固定してください。テープで壁紙を傷つけないよう注意してください。

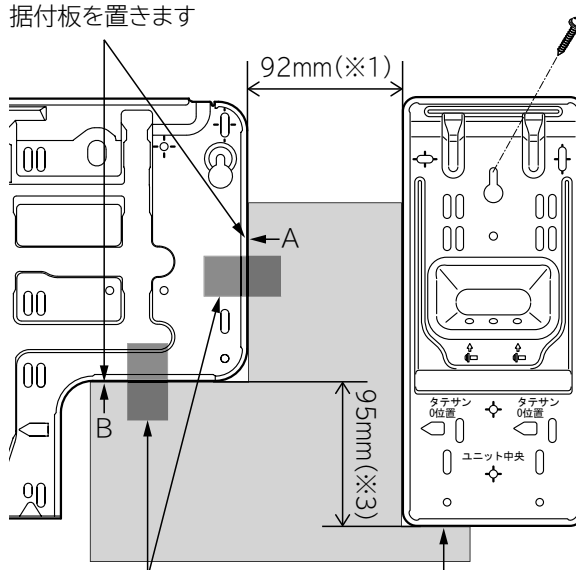
※1 最大242mm。

※2 最大で150mm分、上側に移動させることが可能です。ただし、排気ホースがS字状になることを防ぐため、上に移動させた分、左にも移動させてください。

換気ユニットを室内機の右に据え付ける場合 据付方法:K、L、N~T

A面から92mm、B面から95mmの位置に据付板の端面が来るように据付板を置きます

付属の据付板固定ねじで固定します



型紙使用時はテープ等でずれないように固定してください。テープで壁紙を傷つけないよう注意してください。

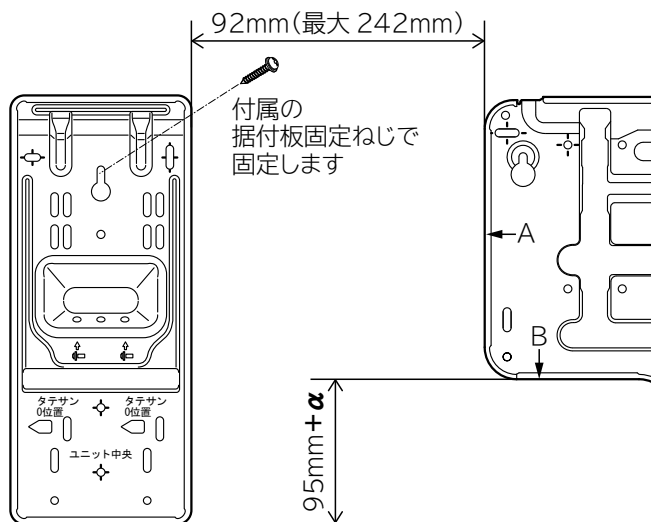
据付板を型紙に合わせてください(型紙が乗り上げないように注意してください)。

※3 最大で150mm分、上側に移動させることが可能です。ただし、排気ホースがS字状になることを防ぐため、上に移動させた分、右にも移動させてください。

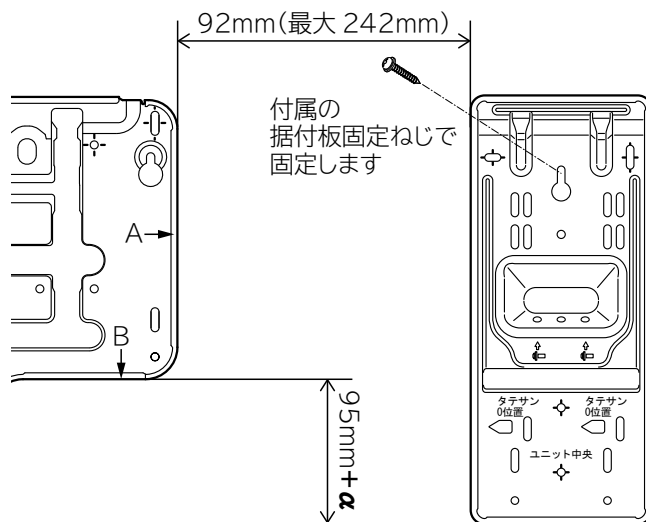
ドレンホースが換気ユニット背面を通る、据付方法H、J(左横引き)、据付方法M(右横引き)の場合は、ドレンホースの下り勾配を確保するため、換気ユニットを室内機より下げて据え付ける必要があります。ドレンホースが1/25以上の下り勾配を確保できるよう α の寸法を調整してください。

詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

据付方法：H、Jの場合




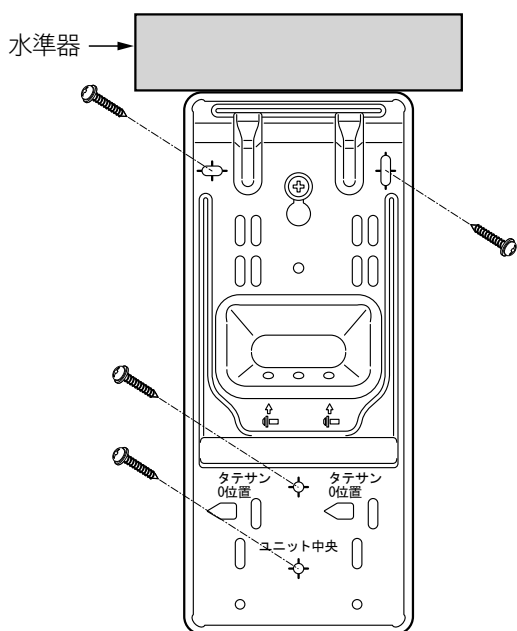
据付方法：Mの場合



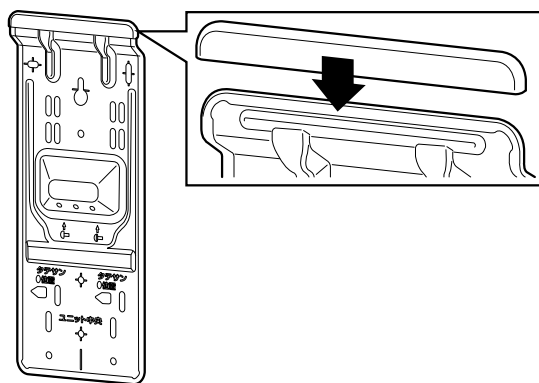
⚠ 注意

- ドレン工事は、確実に排水できるように据え付けし、必ず排水の確認を行う
確認を怠ると、水たれとなることがあります。
- ドレンホースは1/25以上の下り勾配を取る

- ④ 据付板が水平になっていることを確認し、4箇所を付属ねじで固定します。
必ず、下図記載の刻印  部4箇所を付属ねじ4本で固定してください。(計5箇所を固定します)



- ⑤ 換気ユニットの据付板上部に防振ゴムを取り付けます。



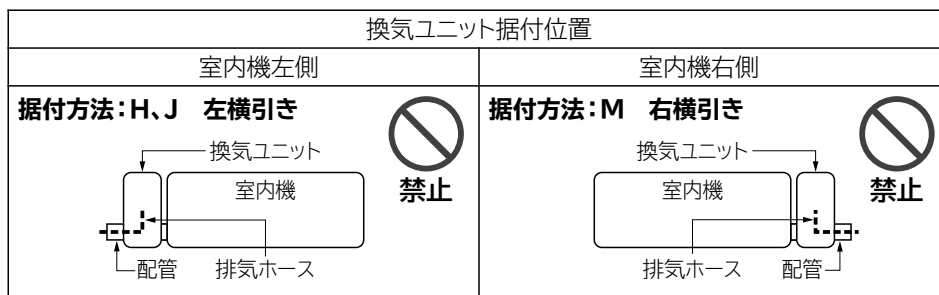
- ⑥ 型紙を使用した場合は取り外してください。

3. 据付板の取り付け (回り縁と鴨居に据付ける場合)

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

室内機を固定するたてさんが3本以上、換気ユニットを固定するたてさんが2本必要です。

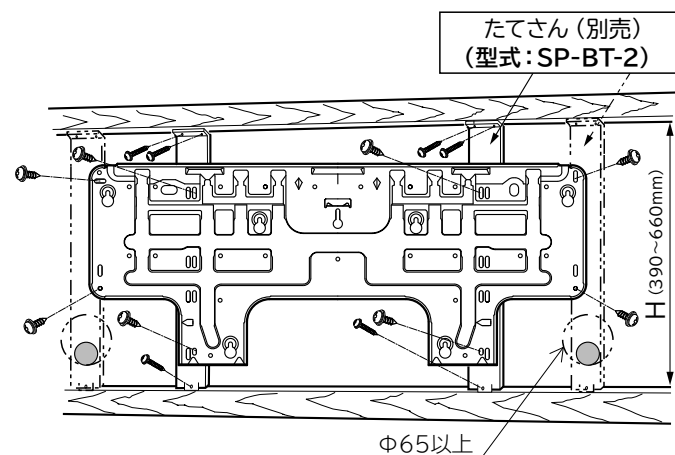
ご注意 回り縁と鴨居にたてさんを使用する場合は、以下の据付はしないドレンホースの下り勾配が確保できず、水たれのおそれがあるため据付けないでください。



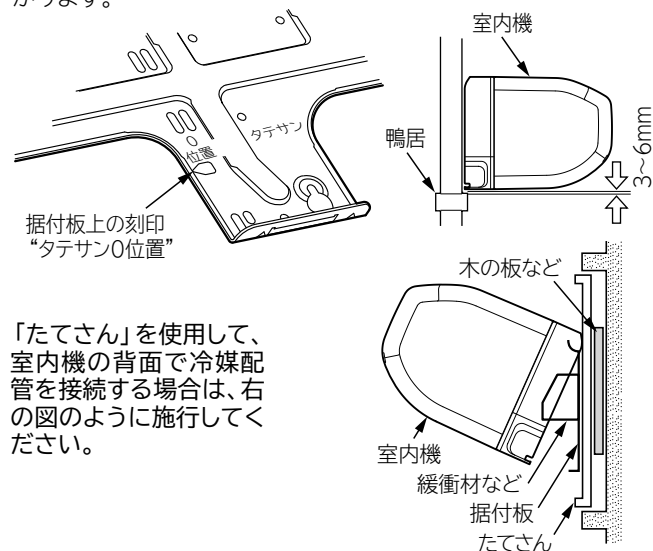
3-1 室内機据付板の取り付け

詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

- ① 回り縁と鴨居間の寸法Hに合わせ、据付板と「たてさん」上下を仮組みします。(3本以上)
- ② 回り縁と鴨居を利用して、「たてさん」上下を仮止めします。
- ③ 水平を確認してから固定します。
(下図のねじは「たてさん」に同梱しています)



据付板の刻印“タテサン0位置”を「たてさん」上の目盛“0”に合わせると、室内機と鴨居のすき間が小さくきれいに仕上がります。



3-2 壁穴あけおよび保護パイプの取り付け

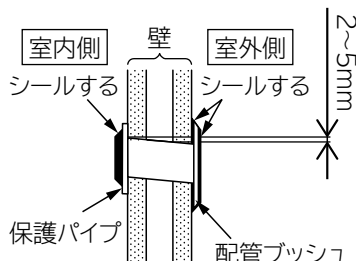
- ① 下表を参照して穴を外側に2~5mm下がり気味に開けます。

配管径	壁穴径
2分/3分	Φ65mm以上
2分/4分	Φ70mm以上

お願い 排気ホースなどの配管類を通しやすくするため、壁穴径は2分/3分、2分/4分ともにΦ70mm以上をおすすめします

- ② 保護パイプ(市販品)を壁の厚さに合わせて切断し、壁穴に通します。

- ③ 雨水や外気の浸入などがないよう完全にシールし、配管ブッシュ(市販品)を付けます。



警告

- 保護パイプは必ず使用する
接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電や火災の原因となります。

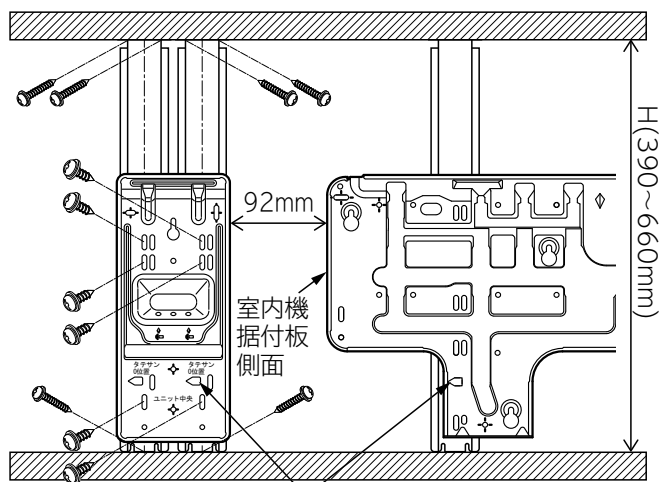
注意

- 完全にシールする
壁内や室外の高湿空気が室内に流入し、故障・露たれの原因になります。また壁内や室外の臭いが室内に流入する原因となります。
※シール材としてパテを使用する場合は油じみになるおそれがありますのでパテが壁に直接触れないようにお願いします。

3-3 換気ユニット据付板の取り付け

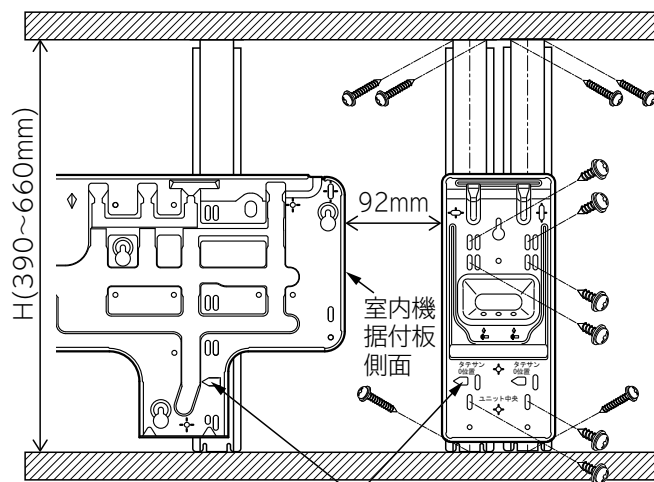
- ① 回り縁と鴨居間の寸法Hに合わせ、「たてさん」上下を仮組みします (2本)。
- ② 仮組みした「たてさん」2本に換気ユニットの据付板のねじ穴位置を合わせて仮組みします。
この時、タテサン0位置の穴から見える数字が室内機据付板のタテサン0位置の穴の数字と同じになるように調節します。
- ③ 「たてさん」2本を仮組みした換気ユニット据付板を室内機据付板の側面から92mmの位置となるように「たてさん」を固定します。
その際、換気ユニット据付板が水平になっていることを確認して固定します。水平を確認するときは据付板上部の防振ゴムを一旦取り外してください。

換気ユニットを室内機の左に据付ける場合



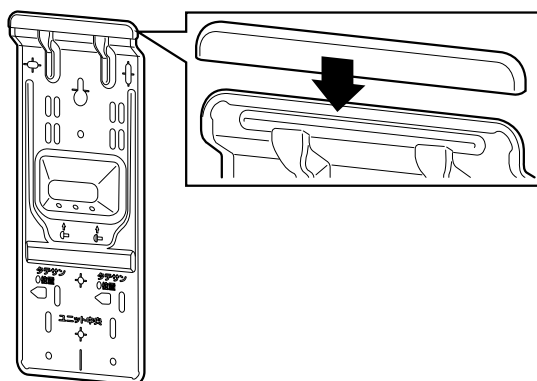
たてさん0位置の穴から見えている数字が同じになるよう高さを合わせ取り付ける

換気ユニットを室内機の右に据付ける場合



たてさん0位置の穴から見えている数字が同じになるよう高さを合わせ取り付ける

- ④ 換気ユニットの据付板上部に防振ゴムを取り付けます。



4.Fケーブルの準備

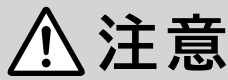
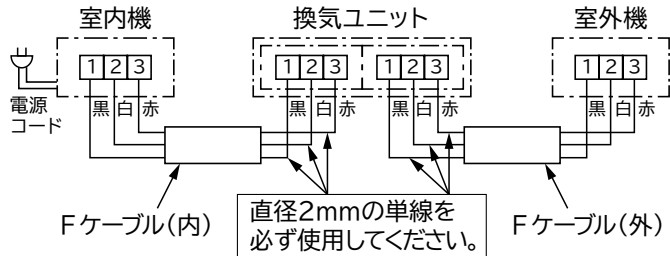
据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

4-1 Fケーブルの接続方法

本製品には端子台が2つあり、換気ユニットの据付には2本のFケーブルを使用します。

据付前に2本のFケーブルを準備してください。

- ・室内機と換気ユニット接続用：Fケーブル(内)
- ・換気ユニットと室外機接続用：Fケーブル(外)



注意

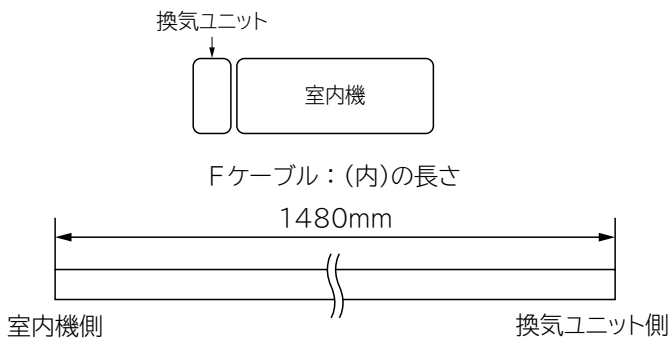
エアコン本体と換気ユニットの電源電圧が同じであることを確認してください

4-2 Fケーブル(内)：室内機⇒換気ユニット接続用の準備

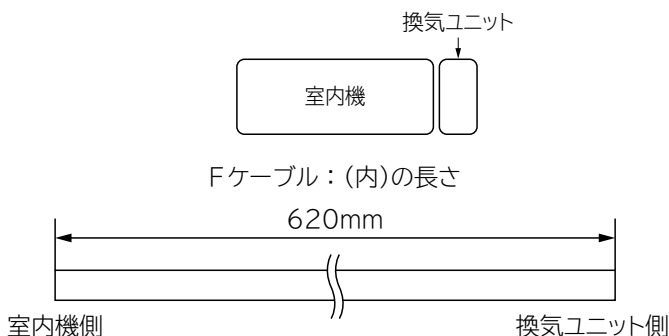
Fケーブル(内)：室内機⇒換気ユニット接続用の長さは換気ユニットを室内機の左右どちらに据付けるかによって決まります。据付位置の確認後に準備してください。

壁面やユニットを傷つけないよう、Fケーブルの先端は極力、接続直前に処理してください。

据付方法：A～J 換気ユニットを室内機の左に据付ける場合



据付方法：K～T 換気ユニットを室内機の右に据付ける場合



柱などを避けて換気ユニットを室内機から離して据え付ける場合は、離れた距離を上記の長さに足した長さでFケーブル(内)を準備してください。

4-3 Fケーブル(外)：換気ユニット⇒室外機接続用の準備

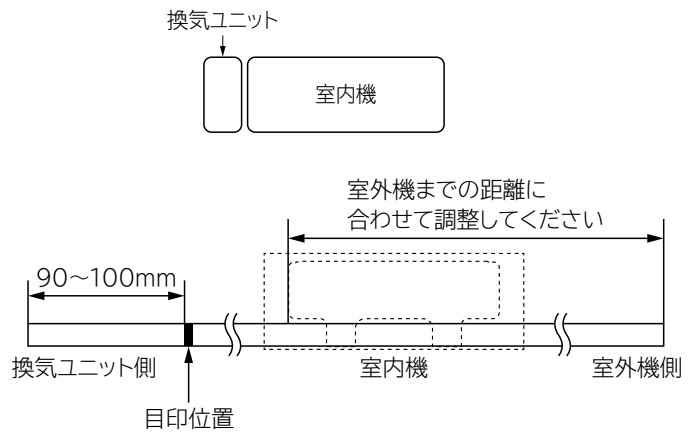
Fケーブル(外)：換気ユニット⇒室外機接続用の長さは室内機と室外機の距離によって決まります。

下図の通り、据付けたときの据付板の位置を基準に、Fケーブル(外)の長さを調整してください。

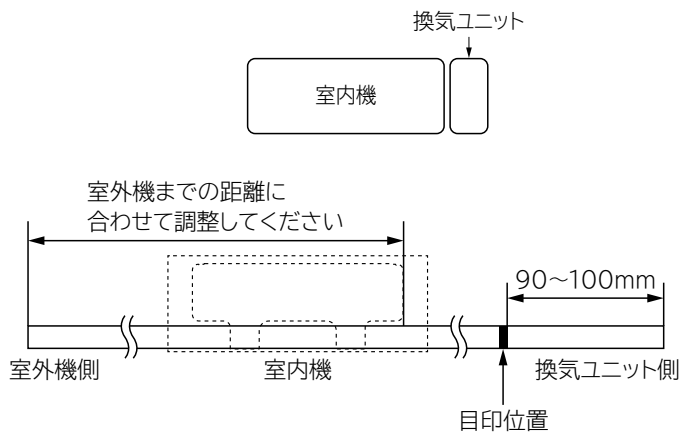
壁面やユニットを傷つけないよう、Fケーブルの先端は極力、接続直前に処理してください。

また、Fケーブル(内)との区別のため、テープやペンで換気ユニット側に目印を付けておくことをおすすめします。

据付方法：A～J 換気ユニットを室内機の左に据付ける場合



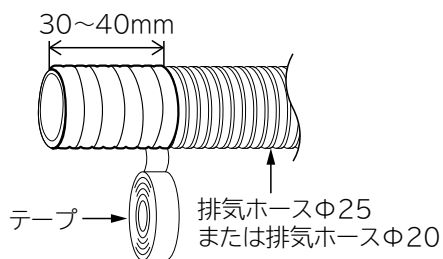
据付方法：K～T 換気ユニットを室内機の右に据付ける場合



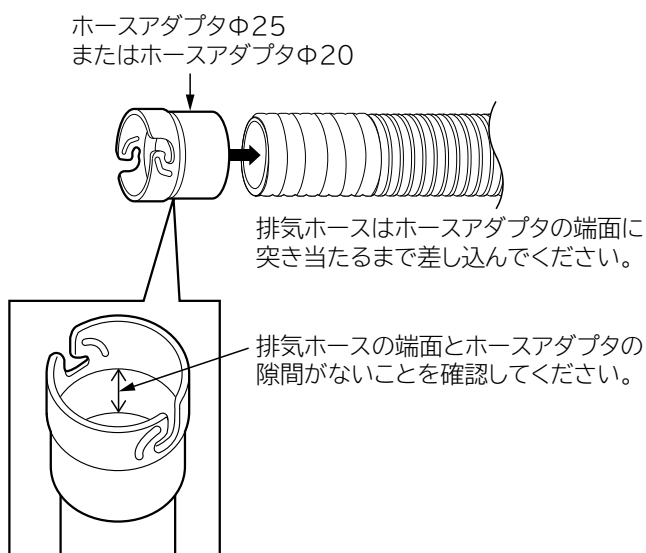
5. 排気ホースの準備

使用する排気ホースの片側に換気ユニット接続用のアダプタを取り付けます。

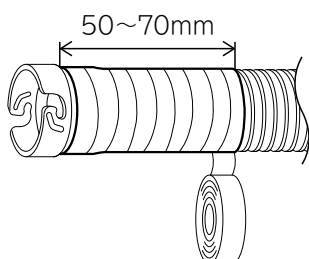
- ① ホースの端部から30~40mmの範囲にビニールテープを1~2周巻きます。



- ② 排気ホースをホースアダプタの切り欠きのない側に差し込みます。



- ③ ホースアダプタと排気ホースの外周をビニールテープで5~6周巻いてしっかりと固定してください。



⚠ 注意

ホースアダプタと排気ホースに隙間がないよう確実にテープ巻きする
隙間から空気が漏れるおそれがあります。

6.室内機の準備

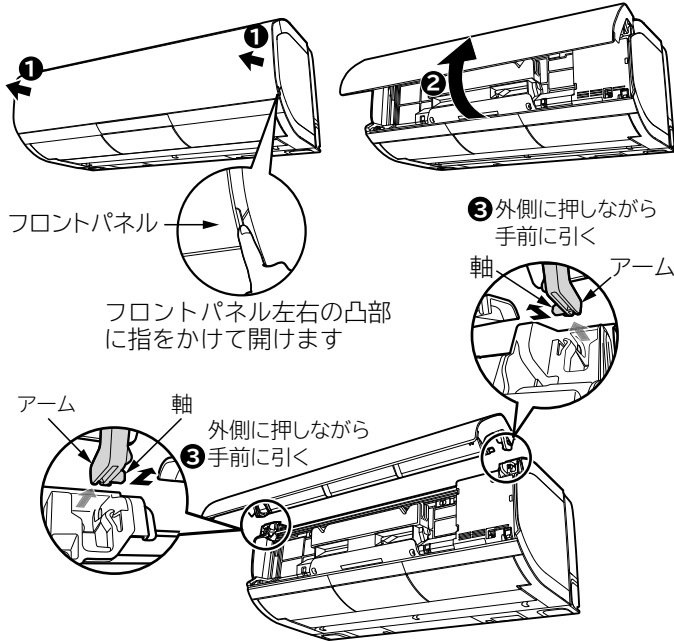
据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

換気ユニットを据え付ける前に、室内機の準備をします。
各作業の詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

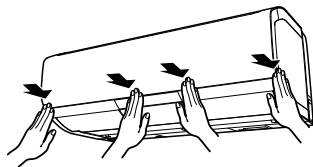
6-1 フロントパネルの取り外し

■フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

- ①フロントパネルを矢印方向に引き、開けます。
- ②フロントパネルが開ききるまで起こします。
- ③先に左側のアーム軸を外し、次に右側のアーム軸を外します。



※フロントパネルの取り付けは反対の手順で行ってください。
なお、フロントパネルを閉じる
ときは、左右2カ所を先に、
その後に中央部(2カ所)を「カ
チッ」と音がするまで押しつ
けてください。フロントパネルを
きちんと閉めないで、ランプ表
示がぼやけることがあります。

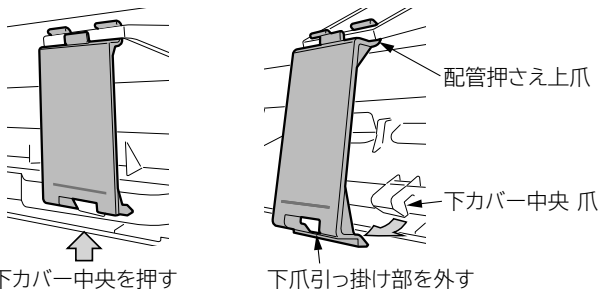


⚠ 注意

- フロントパネルが、がたついていないか確認する
フロントパネルが、がたついていると、パネルが外れ、落
下するおそれがあります。
- フロントパネルを上側に開けたとき、無理に力を入れない
フロントパネルが本体から外れたり、故障の原因になります。

6-2 配管押さえの爪の取り外し

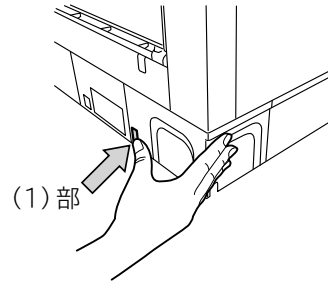
- ①下カバー中央の下側を押し、配管押さえの下爪を外します。



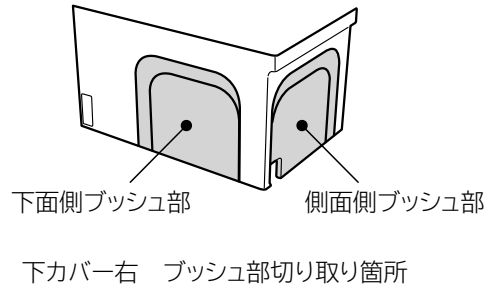
取り付けの際は配管押さえの上爪を引っ掛けてから、逆の手順
で行ってください。

6-3 下カバー右の取り外し・ ブッシュの切り取り

下カバー右の下側手前(1)を押しして取り外します。



下表の通り、換気ユニットの据付条件に合わせて下カバー右の
ブッシュ部をPカッター等で切り取ってください。
配管、ドレンホースに加えて排気ホースも通すため、外側の大き
いブッシュ部を切り取ってください。
切断面はやすりで体裁よく仕上げてください。



チェック	据付方法	側面側 ブッシュ部	下面側 ブッシュ部
<input type="checkbox"/>	A	—	—
<input type="checkbox"/>	B	—	切り取り
<input type="checkbox"/>	C	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	D	—	—
<input type="checkbox"/>	E	—	—
<input type="checkbox"/>	F	—	—
<input type="checkbox"/>	G	—	—
<input type="checkbox"/>	H	—	—
<input type="checkbox"/>	J	—	—
<input type="checkbox"/>	K	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	L	切り取り	切り取り
<input type="checkbox"/>	M	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	N	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	P	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	Q	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	R	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	S	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	T	切り取り	—

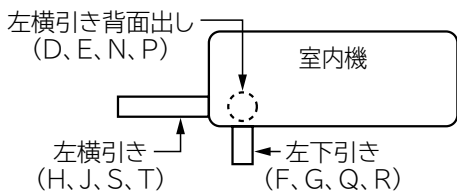
据付方法 A、B、C は →P.16 に進んでください
据付方法 K、L、M は →P.33 に進んでください

6-4 ドレンホースの付け替え

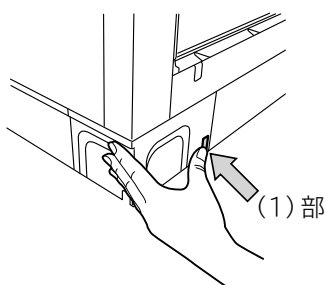
据付方法「D、E、F、G、H、J、N、P、Q、R、S、T」(横引据付の場合のみ)

据付け方法：D～J及び、N～Tの場合はドレンホース、ドレンキャップを付け替えてください。

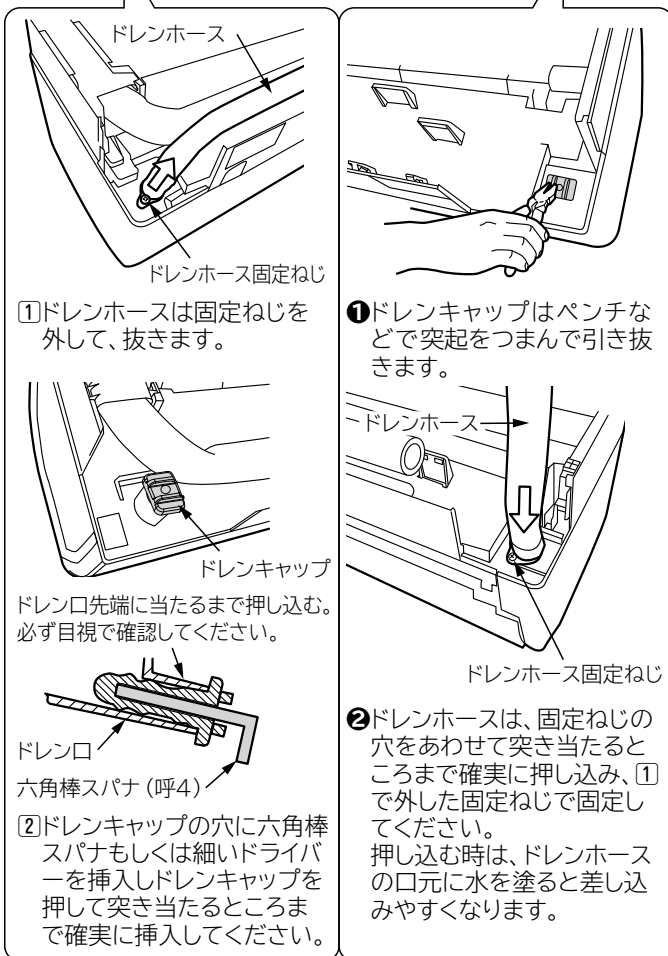
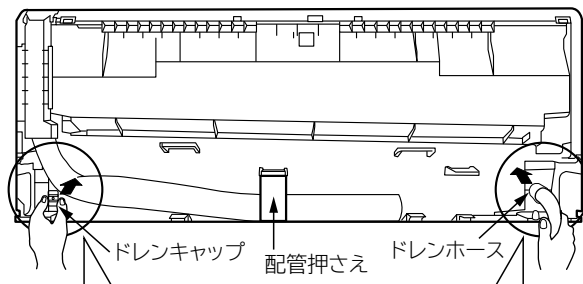
詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。



下カバー左下側手前(1)を押して取り外します。



●横引き配管時はドレンホースとドレンキャップを下図のように付け替えてください。



⚠ 注意

- ドレンホースとドレンキャップは確実に挿入し、ドレンホースは固定ねじで固定する
挿入が悪いと水漏れのおそれがあります。
- ドレンホースの横引き配管は行わない
ドレン詰まり、あるいはドレンホースの露つきを起こし、水たれとなります。
- ドレンホースの口元に、水以外のものは塗らない
水以外のものを塗ると、ドレンホースの劣化の原因になります。

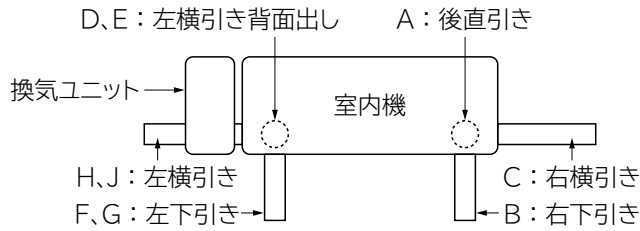
- ドレンホースは、先端部のパッキンがめくれないように挿入する
パッキンがめくれたまま挿入すると、水漏れの原因になります。



据付方法 D～J は ➡P.16 に進んでください
据付方法 N～T は ➡P.38 に進んでください

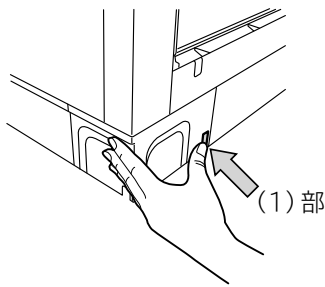
7.室内機の据付 換気ユニットを室内機の左側に据付ける場合(据付方法A、B、C、D、E、F、G、H、J)

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

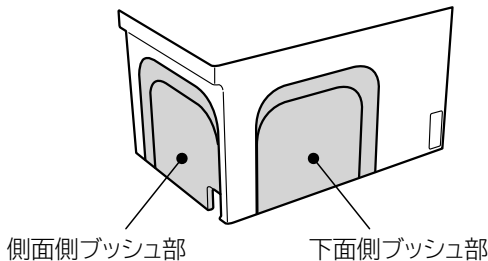


7-1 据付の準備

- ① 下カバー左下側手前(1)を押して取り外します。
6-4 ドレンホースの付け替えですでに取り外している場合、この作業は不要です。



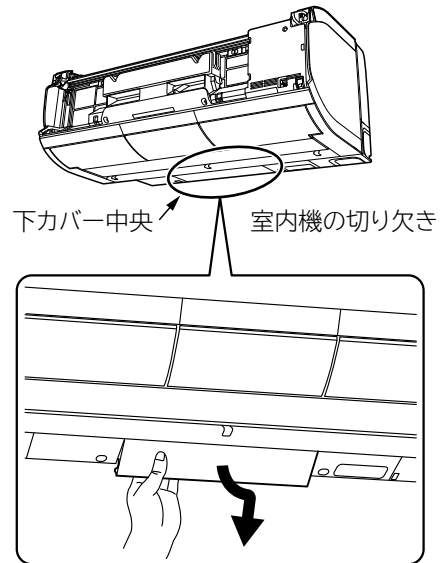
- ② 下表の通り、据付条件に合わせてブッシュ部をPカッターなどで切り取ります。
配管、ドレンホースに加えて排気ホースも通すため、外側の大きいブッシュ部を配管引き出し方向に合わせて切り取ります。
切断面はやすりで体裁よく仕上げてください。



下カバー左 ブッシュ部切り取り箇所

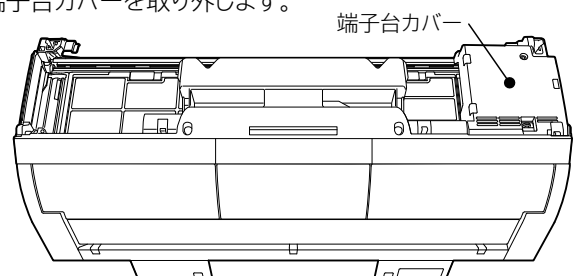
チェック	据付方法	側面側ブッシュ部	下面側ブッシュ部
<input type="checkbox"/>	A	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	B	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	C	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	D	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	E	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	F	切り取り	切り取り
<input type="checkbox"/>	G	切り取り	切り取り
<input type="checkbox"/>	H	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	J	切り取り	—

- ③ 下カバー中央を、後側から中央に指をかけ、たわませて外します。



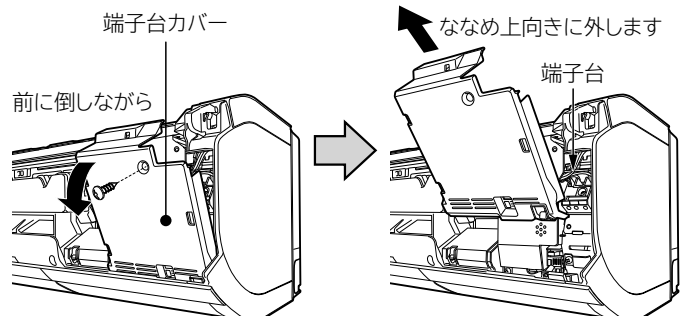
7-2 Fケーブルの接続

- ① 端子台カバーを取り外します。

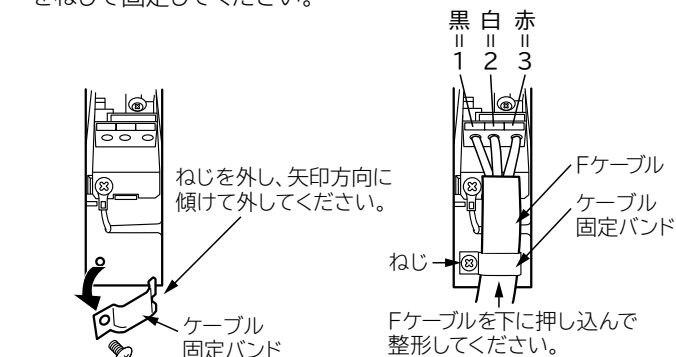


- (1) 端子台カバーのねじ1本を外します。

- (2) 端子台カバーを前に倒しながら上方向に引き抜いてください。



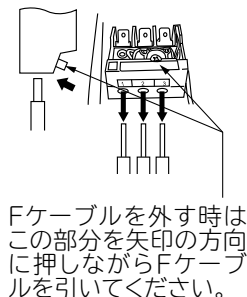
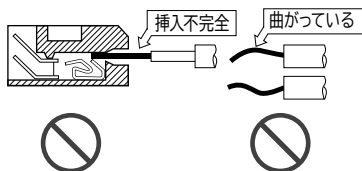
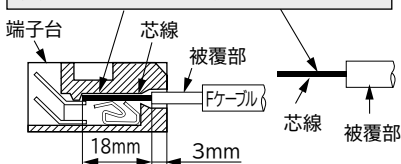
- ② ケーブル固定バンドを外します。
- ③ ケーブルガイドを通して、Fケーブル(内)を背面から前面へ通します。
- ④ Fケーブル(内)の先端を下図の寸法に処理し、室内機の端子台へ挿入します。
- ⑤ Fケーブル(内)を下に押し込んだあと、ケーブル固定バンドをねじで固定してください。



Fケーブルの先端処理



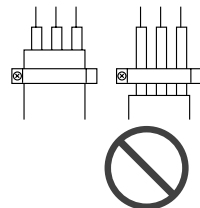
むき出し部の芯線をまっすぐにして奥までしっかり差し込んでください。



警告

- Fケーブルは必ずケーブル固定バンドで止める
- ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする
- 取り外した端子台カバーは工事後、必ず取り付ける

Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。



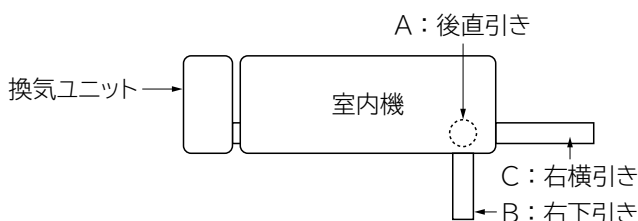
警告

- Fケーブルは、必ず直径2mmの単線を使用する
より線を使用しますと、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルを途中で接続しない
接続部が過熱し、火災・感電の原因になります。
- Fケーブルの芯線は18mm(最小でも17mm、最大でも20mm)むき出し、芯線がかくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する
挿入が不十分であったり、むき出し寸法が17mm以下ですと接触不足により、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする
- 分岐回路はエアコン専用の回路にする
- Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う
- Fケーブルの接続作業は電源プラグを必ずコンセントから抜いて行う
Fケーブルの1・2端子間には100Vまたは200Vが印加されます。

据付方法 A~C は →P.18に進んでください
据付方法 D、F、H は →P.23に進んでください
据付方法 E、G、J は →P.28に進んでください

7-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け

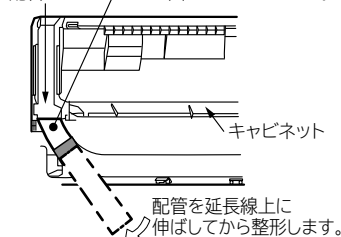
据付方法「A：後直引き」「B：右下引き」「C：右横引き」の場合



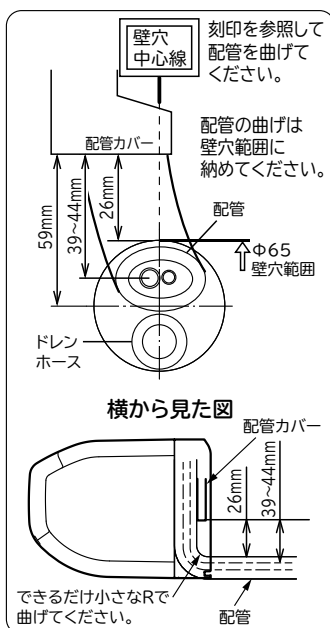
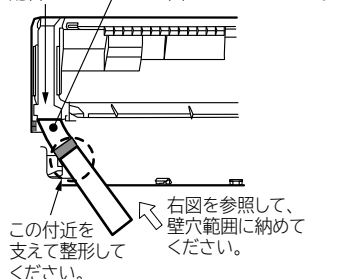
① 配管を整形します。

据付方法：A 後直引きの場合

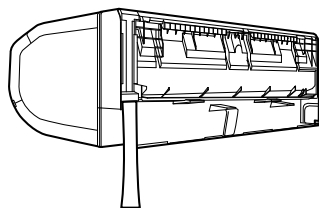
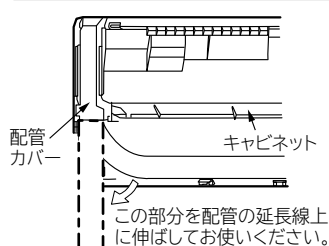
配管カバー ここは曲げないでください。



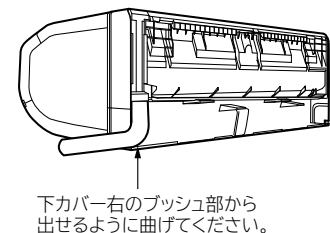
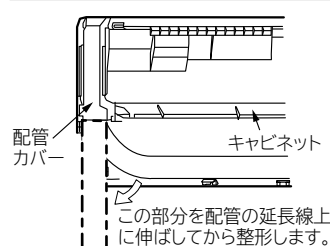
配管カバー ここは曲げないでください。



据付方法：B 右下引きの場合



据付方法：C 右横引きの場合



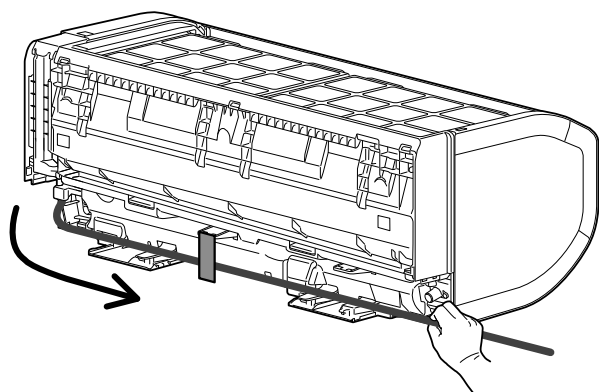
配管の曲げ始めが壁穴範囲から出ている、曲げRが大きいと、室内機が壁から浮き上がり、仕上がりが悪くなる原因となります。

⚠ 注意

- 配管整形時には、**■**部を手で押さえて図のように伸ばしてから整形する
伸ばしてから整形しないと、配管が内部でねじれてしまいます。また、後直引きの場合は、配管と壁穴の位置がズれてしまいます。
- 整形時は配管の断熱材がキャビネットなどに当たり破損しないようにしてください。
- ドレンホースは常に下になるように配管を整形する

② ケーブルガイドを通したFケーブル(内)はキャビネットの背面を通します。

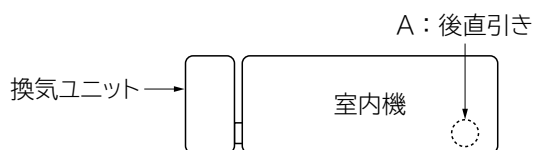
据付方法：A、B、C共通



据付方法 A は →P.19 に進んでください
据付方法 B は →P.20 に進んでください
据付方法 C は →P.21 に進んでください

7-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「A：後直引き」（Φ25またはΦ20の排気ホースを使用）



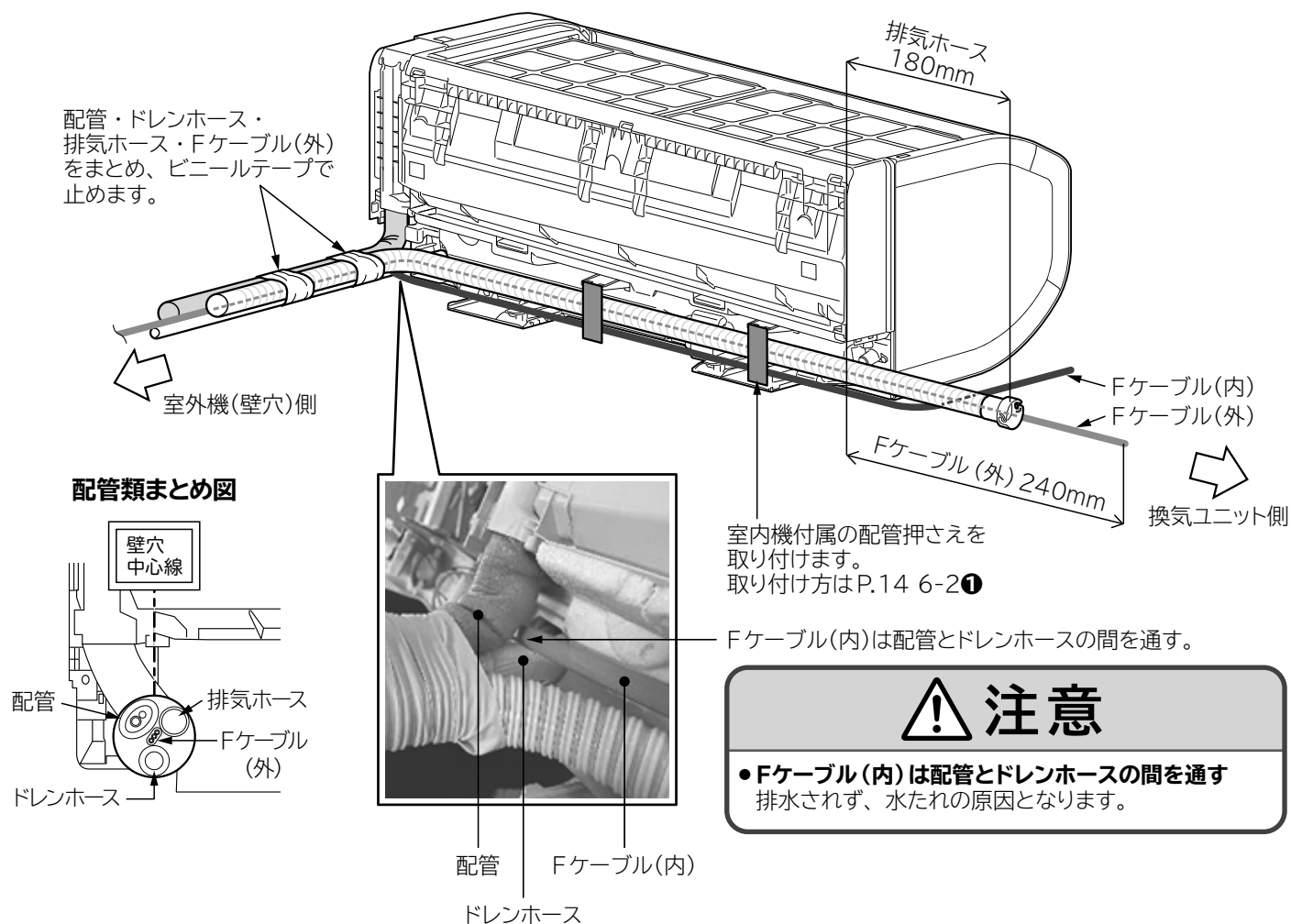
③ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面に通します。

このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mmの長さになるよう調整します。

④ 排気ホースとFケーブル(内)、(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取り付けます(1箇所)。

⑤ 整形した配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。

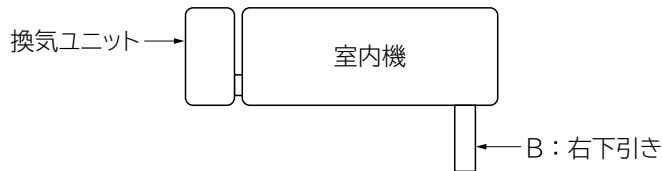
その際、Fケーブル(内)は下図のように配管とドレンホースの間を通してください。



➡P.22 に進んでください

7-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「B：右下引き」（Φ20の排気ホースを使用）



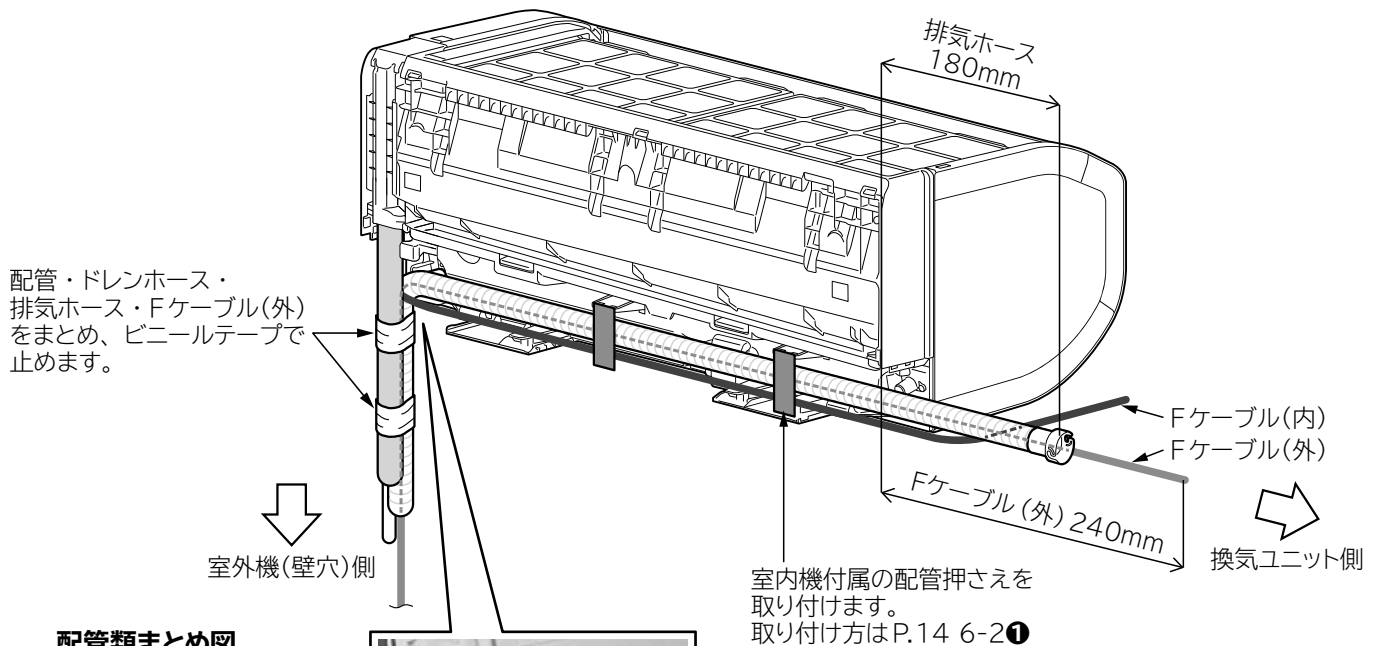
③ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面に通します。

このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mmの長さになるよう調整します。

④ 排気ホースとFケーブル(内)、(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取り付けます(1箇所)。

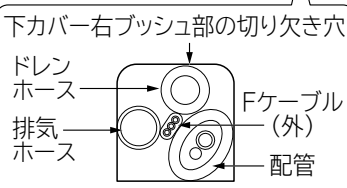
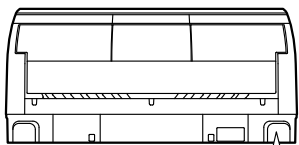
⑤ 整形した配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。

その際、Fケーブル(内)は下図のように配管とドレンホースの間を通してください。

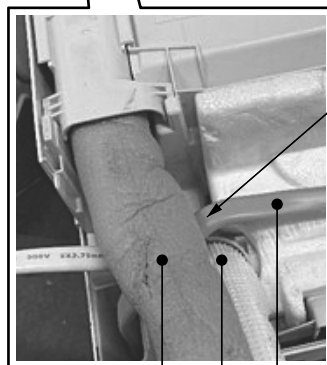


配管・ドレンホース・
排気ホース・Fケーブル(外)
をまとめ、ビニールテープで
止めます。

配管類まとめ図



室内機下から見て上図の配置と
なっていることを確認しビニール
テープでまとめてください。



配管
ドレンホース
Fケーブル(内)

Fケーブル(内)は配管とドレンホースの間を通す。

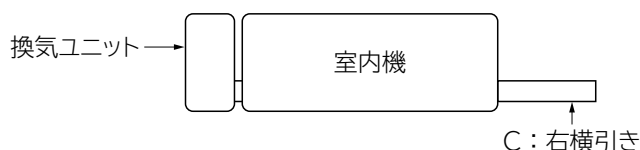
⚠ 注意

- Fケーブル(内)は配管とドレンホースの間を通す
排水されず、水たれの原因となります。

➡P.22 に進んでください

7-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「C：右横引き」（Φ20の排気ホースを使用）



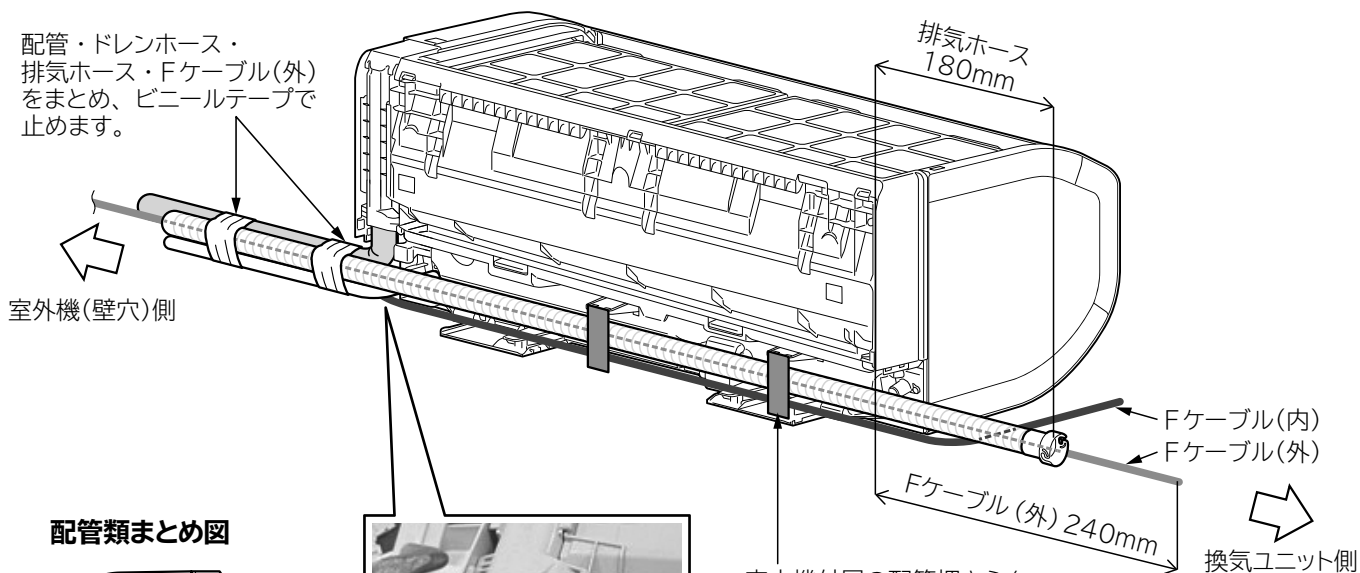
③ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面に通します。

このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mmの長さになるよう調整します。

④ 排気ホースとFケーブル(内)、(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(1箇所)。

⑤ 整形した配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。

その際、Fケーブル(内)は下図のように配管とドレンホースの下側を通してください。

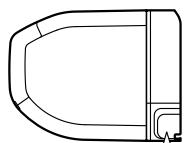


配管・ドレンホース・
排気ホース・Fケーブル(外)
をまとめ、ビニールテープで
止めます。

室外機(壁穴)側

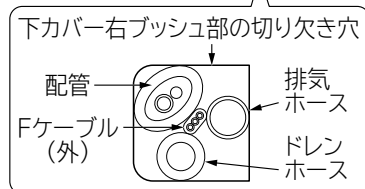
換気ユニット側

配管類まとめ図

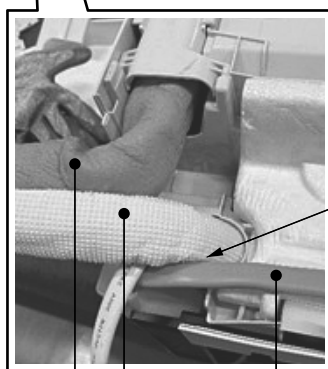


室内機付属の配管押さえを
取り付けます。
取り付け方はP.14 6-2①

Fケーブル(内)は配管とドレンホースの下側を通す。



室内機右から見て上図の配置と
なっていることを確認しビニール
テープでまとめてください。



配管
ドレンホース
Fケーブル(内)

⚠ 注意

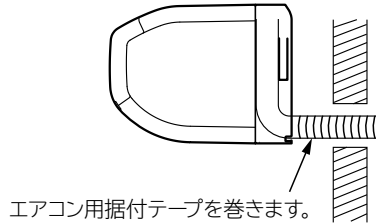
- Fケーブル(内)は配管とドレンホースの下側を通す
排水されず、水たれの原因となります。

➡P.22 に進んでください

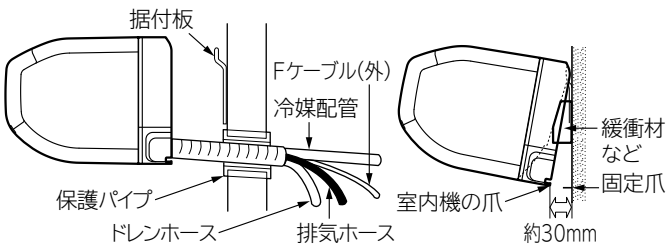
7-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「A：後直引き」「B：右下引き」「C：右横引き」共通

- ⑥壁穴貫通部を壁厚さ分、エアコン用据付テープでテープ巻きします。



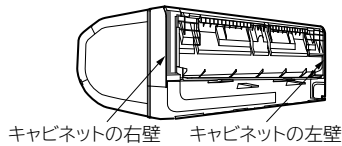
- ⑦壁穴に配管類を通します。
 ⑧室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
 ⑨室内機の背面に緩衝材またはダンボールなどはさみこみ、室内機の下部を手前に約30mm浮かします。



⚠ 注意

- 室内機背面にはさむ部材は、キャビネット右壁または左壁で保持する

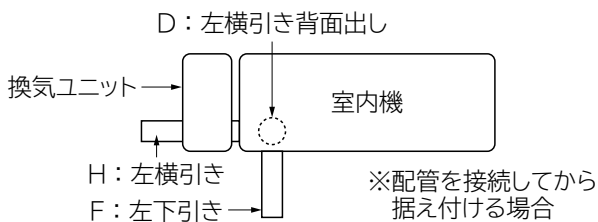
上記以外部で保持すると、キャビネットに無理な力が発生して、変形・破損のおそれがあります。



➡P.32 に進んでください

7-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け

据付方法「D：左横引き背面出し」「F：左下引き」「H：左横引き」(配管を接続してから据え付ける)の場合



① ケーブルガイドを通したFケーブル(内)を図1のようにキャビネットと配管の間に通します。その際、Fケーブル(内)は図2のようにドレンホースの上側を通してください。

据付方法：D、F、H共通

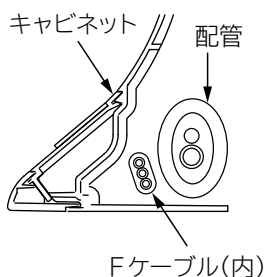
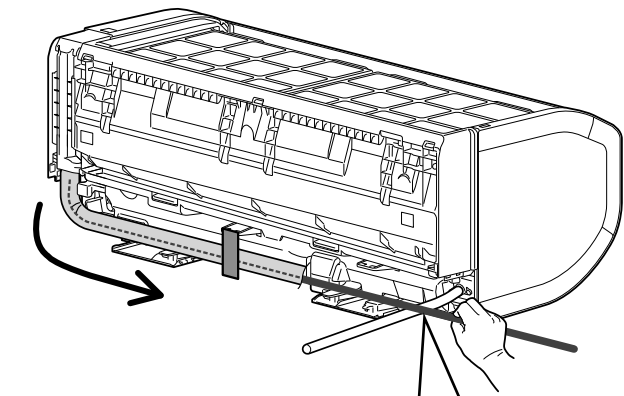


図1

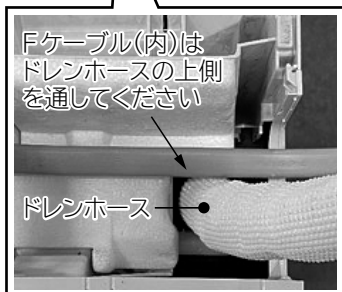
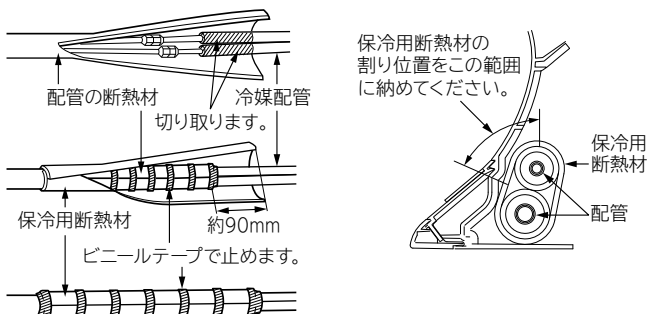


図2

- 冷媒配管を接続します。
- 接続した冷媒配管の断熱材を配管の端面に合わせて切断し、ビニールテープで止めます。
- 配管接続部を室内機付属の保冷用断熱材で割を上にして覆い、隙間のないようにビニールテープを巻きます。すき間があったり、締め過ぎたりすると、露たれの原因になります。

詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

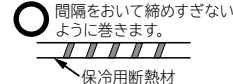
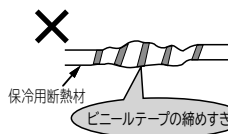


⚠ 注意

- 配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎない
断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。

保冷用断熱材を使わなかつたり保冷用断熱材のビニールテープ巻きを締めすぎると・・・

断熱効果がなくなり露が付き露たれおよび壁にシミやカビが発生します。



間隔を置いて締めすぎないように巻きます。

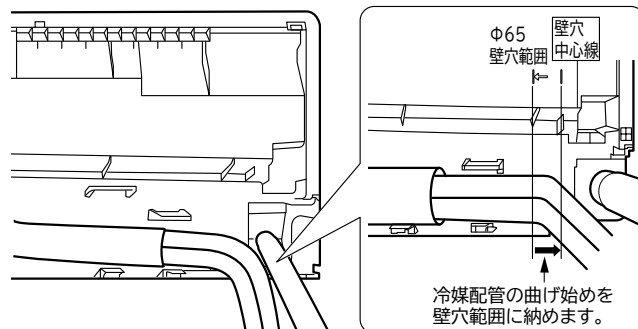
- 室内機の下部を手前に引っ張って、据付板に室内機の爪がはめこまれていることを確認する
はめこみが不完全ですと、室内機の振動が大きくなる原因となります。

⑤ 冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形します。

据付方法：D 左横引き背面出しの場合

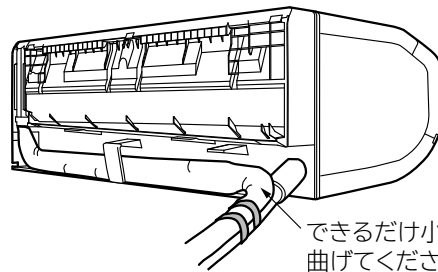
以下の説明に従い、正確に整形してください。

(1) 背面の刻印を参照し、壁穴範囲の中で冷媒配管を曲げ始めます。



冷媒配管の曲げ始めが壁穴範囲から出ていたり、曲げが大きいと室内機が壁から浮き上がり、仕上りが悪くなる原因となります。

(2) 冷媒配管は、できるだけ小さなRで曲げ、整形します。



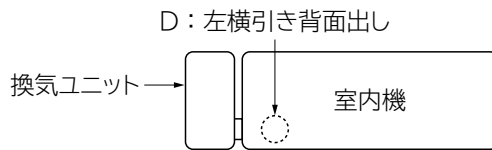
据付方法：F 左下引き、H 左横引きの場合

下カバー左の切断したブッシュ部を配管類が通るように整形してください。

据付方法 D は ➡P.24 に進んでください
据付方法 F は ➡P.25 に進んでください
据付方法 H は ➡P.26 に進んでください

7-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「D：左横引き背面出し」（Φ20の排気ホースを使用）

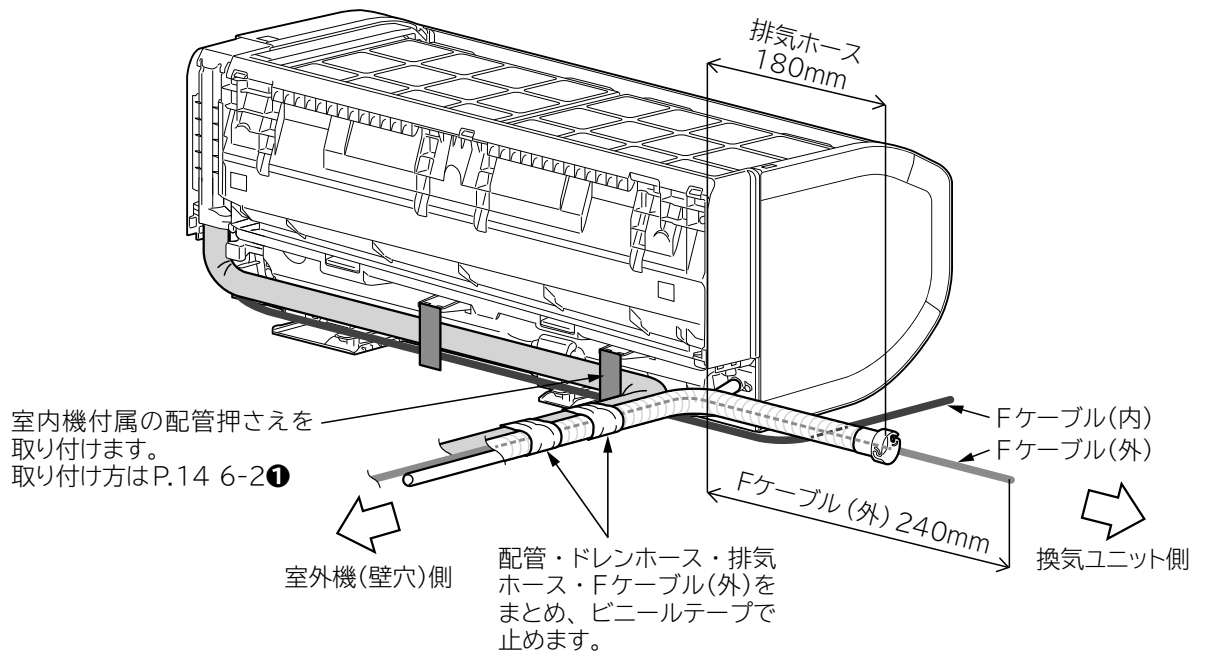


⑥ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面に通します。

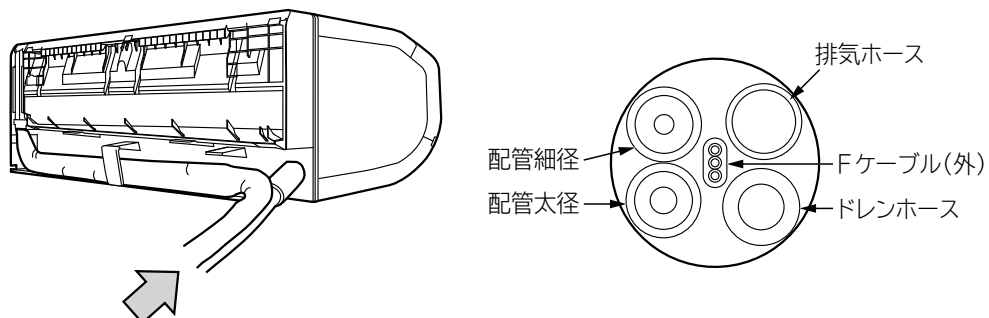
このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mm、の長さになるよう調整します。

⑦ 排気ホースとFケーブル(内)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(1箇所)。

⑧ 整形した配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。



配管類まとめ図

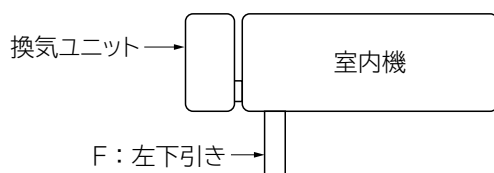


矢印方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

→P.27に進んでください

7-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「F：左下引き」（Φ20の排気ホースを使用）

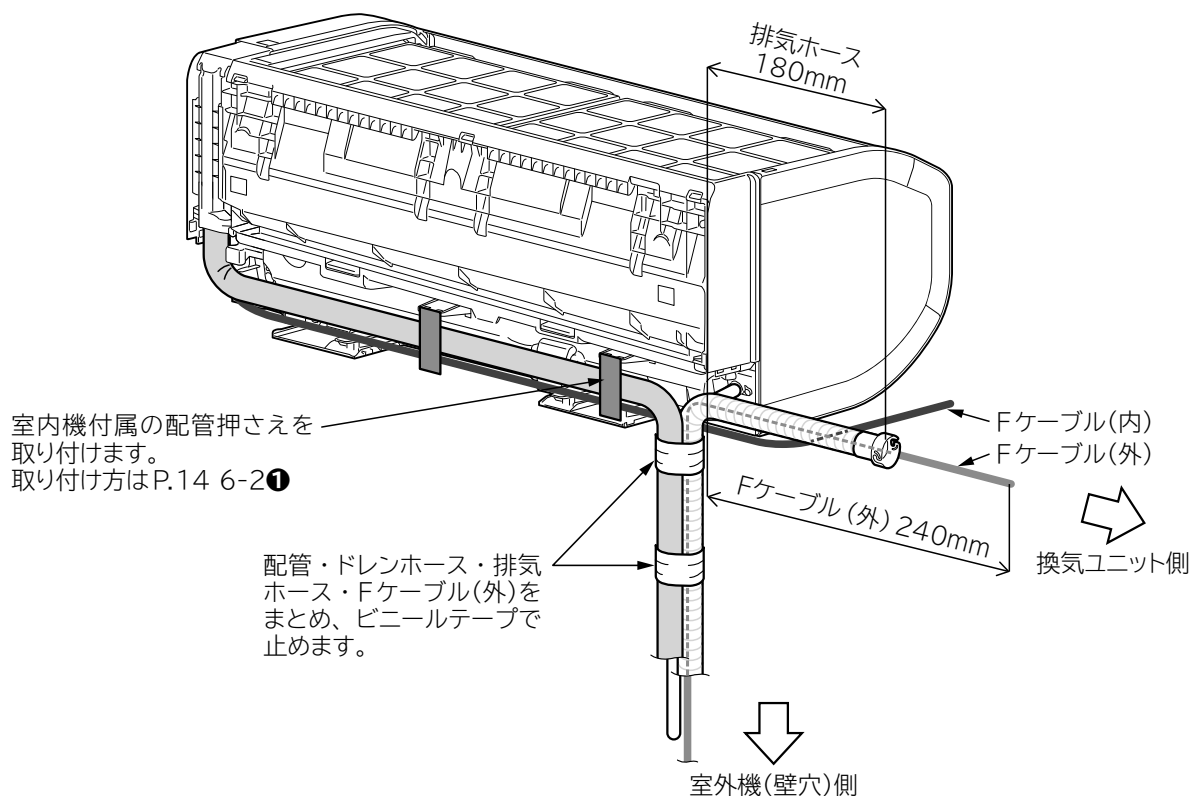


⑥ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面に通します。

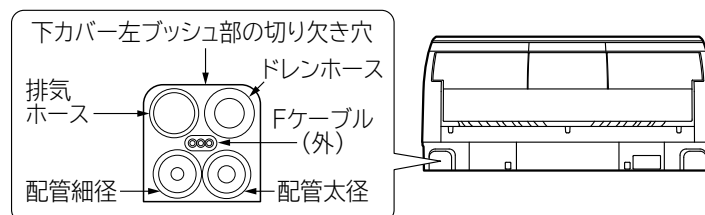
このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mm、の長さになるよう調整します。

⑦ 排気ホースとFケーブル(内)、(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(1箇所)。

⑧ 整形した配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。



配管類まとめ図

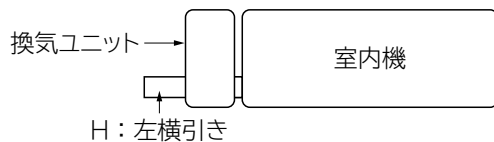


室内機下から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

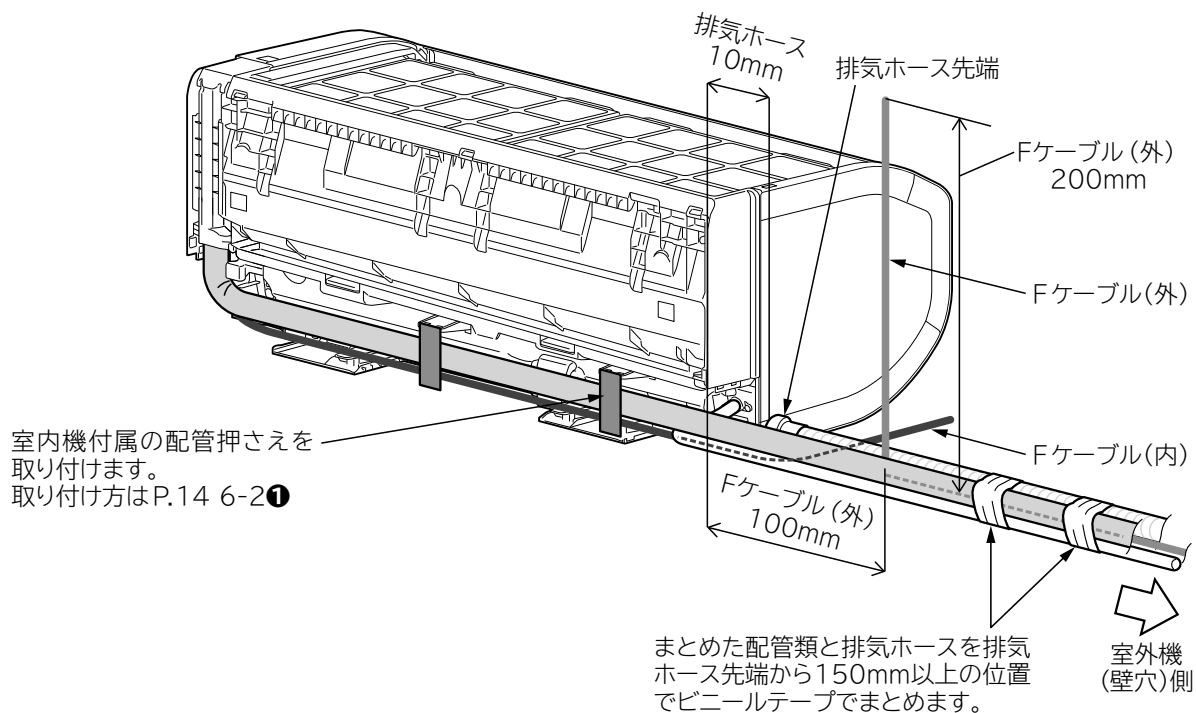
→P.27に進んでください

7-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

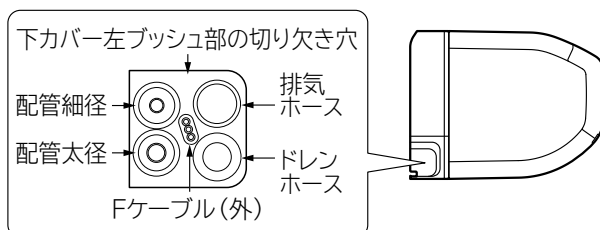
据付方法「H：左横引き」（Φ20の排気ホースを使用）



- ⑥ 排気ホースとFケーブル(外)の位置を調整します。このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から10mm離れた位置、Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から100mm離れた位置で、上側に200mm曲げた長さとなるよう調整します。このときテープの貼付位置は、ホースの先端から150mm以上離してください。
- ⑦ 配管とFケーブル(内)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(1箇所)。
- ⑧ 配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。



配管類まとめ図



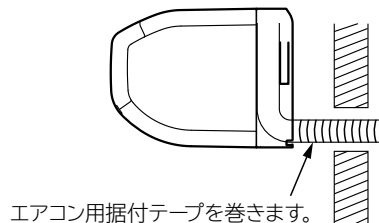
室内機左から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

→P.27に進んでください

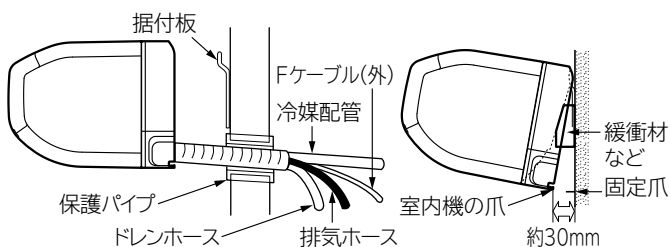
7-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け

据付方法「D：左横引き背面出し」「F：左下引き」「H：左横引き」(配管を接続してから据え付ける)共通

- ⑨壁穴貫通部を壁厚さ分、エアコン用据付テープでテープ巻きします。



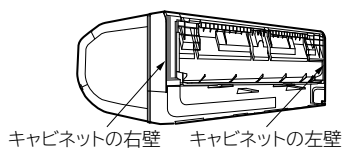
- ⑩壁穴に配管類を通します。
 ⑪室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
 ⑫室内機の背面に緩衝材またはダンボールなどはさみこみ、室内機の下部を手前に約30mm浮かします。



⚠ 注意

- 室内機背面にはさむ部材は、キャビネット右壁または左壁で保持する

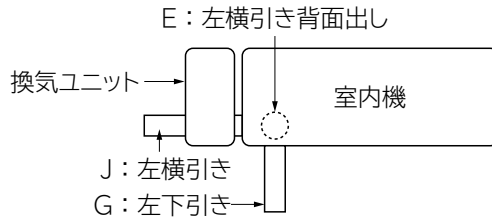
上記以外部で保持すると、キャビネットに無理な力が発生して、変形・破損のおそれがあります。



➔P.32に進んでください

7-5 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け

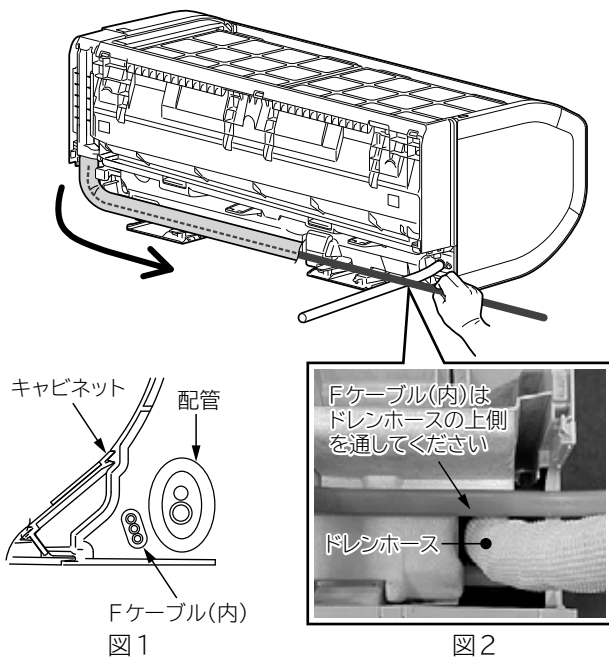
据付方法「E:左横引き背面出し」「G:左下引き」「J:左横引き」(室内機の背面で冷媒配管を接続する)の場合



※室内機の背面で冷媒配管を接続する場合

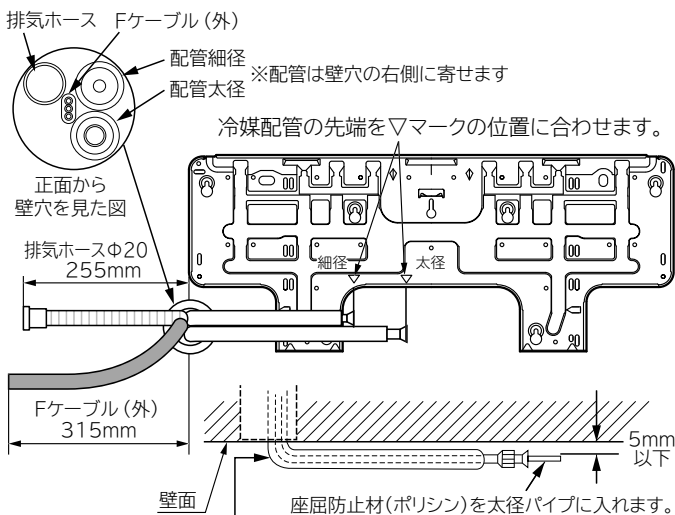
- ① ケーブルガイドを通したFケーブル(内)は図1のようにキャビネットと配管の間を通します。その際、Fケーブル(内)は図2のようにドレンホースの上側を通してください。

据付方法: E、G、J共通



据付方法: E

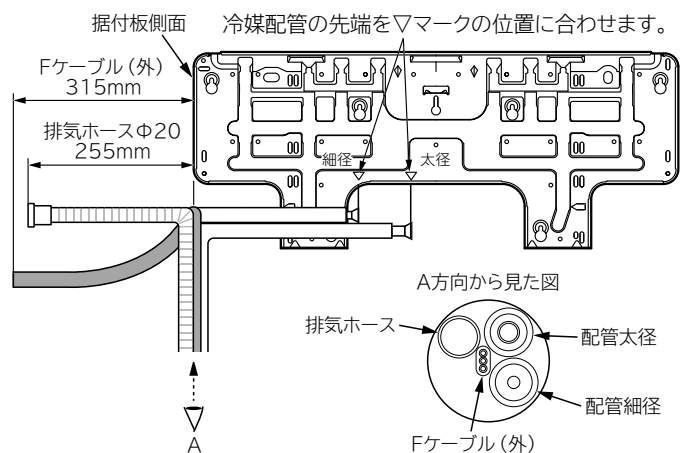
- ② 冷媒配管、Fケーブル(外)、排気ホースを壁穴に通し、冷媒配管の先端を▽マークに合わせます。Fケーブル(外)、排気ホースは壁穴中心より下図の寸法になるよう合わせます。



できるだけ小さなRで曲げてください。座屈防止材(ポリシン)を使用すると配管を潰さずに小さなRで曲げることができます。

据付方法: G

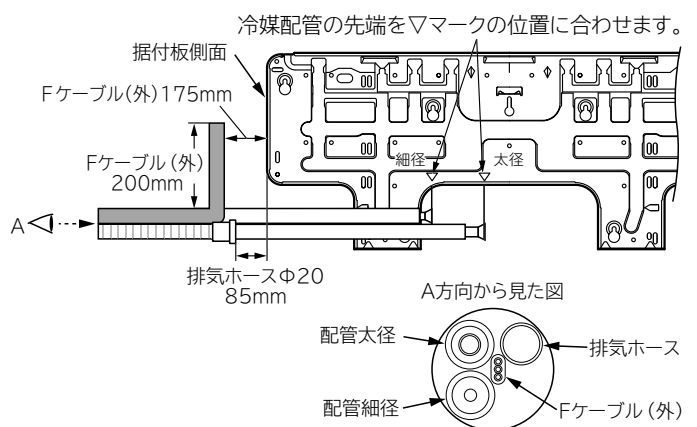
- ② 冷媒配管、Fケーブル(外)、排気ホースを壁穴に通し、冷媒配管の先端を▽マークに合わせます。Fケーブル(外)、排気ホースは据付板側面より下図の寸法になるよう合わせます。



できるだけ小さなRで曲げてください。座屈防止材(ポリシン)を使用すると配管を潰さずに小さなRで曲げることができます。

据付方法: J

- ② 冷媒配管、Fケーブル(外)、排気ホースを壁穴に通し、冷媒配管の先端を▽マークに合わせます。Fケーブル(外)、排気ホースは据付板側面より下図の寸法になるよう合わせます。

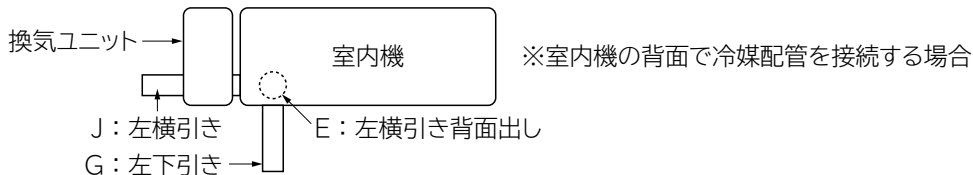


⚠ 注意

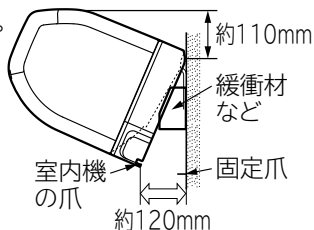
- 座屈防止材(ポリシン)を使用する場合は、削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入する

7-5 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

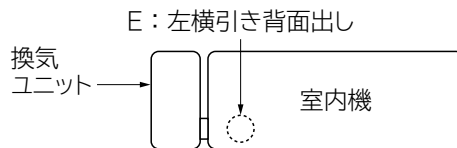
据付方法「E：左横引き背面出し」「G：左下引き」「J：左横引き」（室内機の背面で冷媒配管を接続する）の場合



- ③室内機を据付板に引っ掛けます。
- ④室内機背面に緩衝材またはダンボールなどをはさみこみ室内機の下部を手前に約120mmもしくは目一杯浮かします。

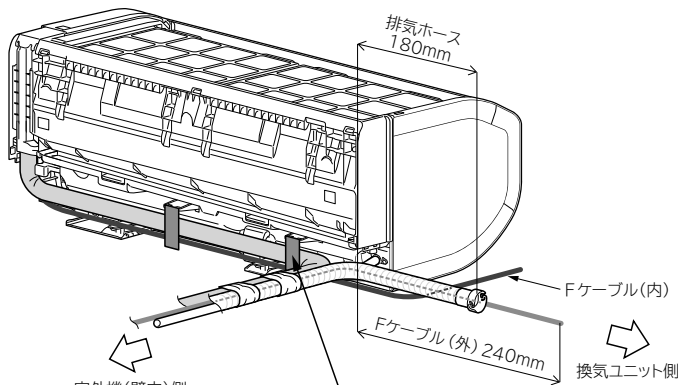


据付方法「E：左横引き背面出し」（φ20のホースを使用）



- ⑨配管、ドレンホース、Fケーブル（外）、排気ホースを図の配置となるように確認、調整してください。

排気ホースの、換気ユニット接続側（ホースアダプタを付けた側）がキャビネット端面から180mm、Fケーブル（外）の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mm、の長さになるよう調整します。

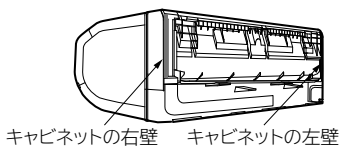


室内機付属の配管押さえを取り付けます。取り付け方はP.14 6-2①

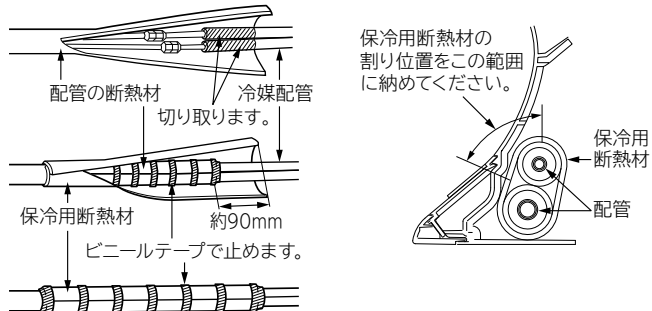
注意

- 室内機背面にはさむ部材は、キャビネット右壁または左壁で保持する

上記以外部で保持すると、キャビネットに無理な力が発生して、変形・破損するおそれがあります。



- ⑤冷媒配管を接続します。
- ⑥接続した冷媒配管の断熱材を配管の端面に合わせて切断し、ビニールテープで止めます。
- ⑦配管接続部を室内機付属の保冷用断熱材で割を上にして覆い、隙間のないようにビニールテープを巻きます。すき間があったり、締め過ぎたりすると、露たれの原因になります。



- ⑧冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形します。

注意

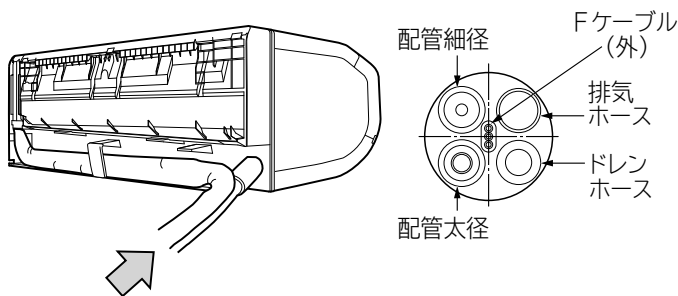
- 配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎない
断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。

保冷用断熱材を使わなかったり保冷用断熱材のビニールテープ巻きを締めすぎると・・・断熱効果がなくなり露が付き露たれおよび壁にシミやカビが発生します。



- 室内機の下部を手前に引っ張って、据付板に室内機の爪がはめこまれていることを確認する
はめこみが不完全ですと、室内機の振動が大きくなる原因となります。

配管類まとめ図



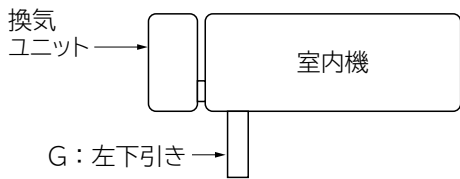
矢印方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

据付方法 G、J は ➡P.30 に進んでください

➡P.31 に進んでください

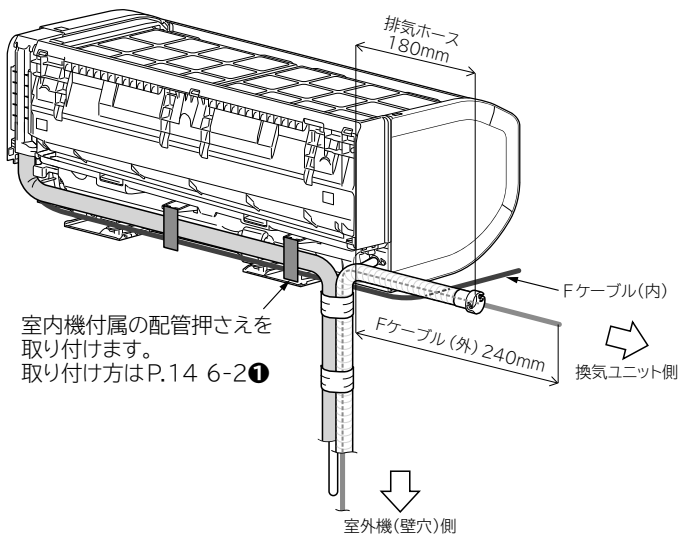
7-5 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「G：左下引き」(Φ20のホースを使用)

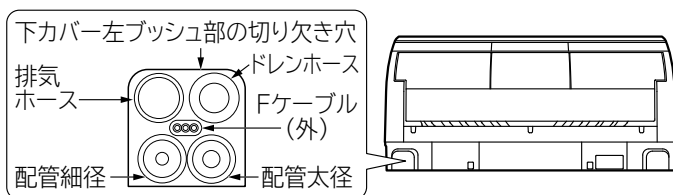


⑨配管、ドレンホース、Fケーブル(外)、排気ホースを図の配置となるように確認、調整してください。

排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から240mm、の長さになるよう調整します。



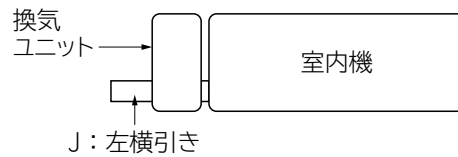
配管類まとめ図



室内機下から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

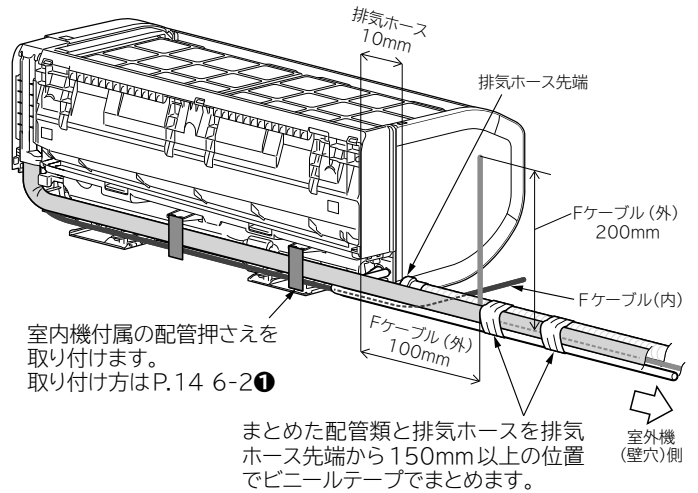
➔P.31 に進んでください

据付方法「J：左横引き」(Φ20のホースを使用)

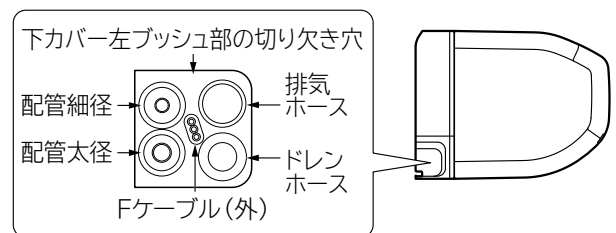


⑨配管、ドレンホース、Fケーブル(外)、排気ホースを図の配置となるように確認、調整してください。

排気ホースとFケーブル(外)の位置を調整します。このとき、排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から10mm離れた位置、Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から100mm離れた位置で、上側に200mm曲げた長さとなるよう調整します。



配管類まとめ図



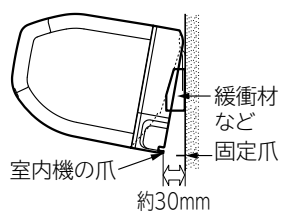
室内機左から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

➔P.31 に進んでください

7-5 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「E：左横引き背面出し」「G：左下引き」「J：左横引き」(室内機の背面で冷媒配管を接続する)の場合

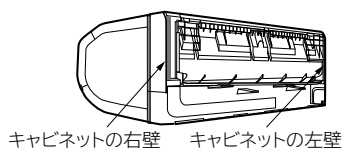
- ⑨室内機下部の浮かせ量を30mmに変更します。緩衝材、段ボールなどを壁との間にはさみこんでください。



⚠ 注意

- 室内機背面にはさむ部材は、キャビネット右壁または左壁で保持する

上記以外で保持すると、キャビネットに無理な力が発生して、変形・破損するおそれがあります。

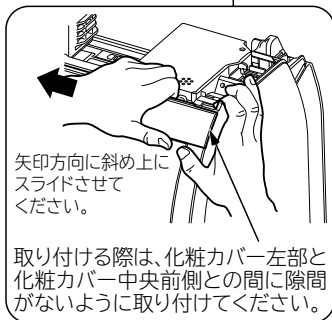
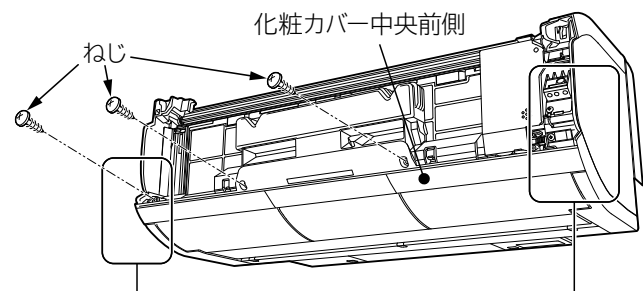


➡P.32 に進んでください

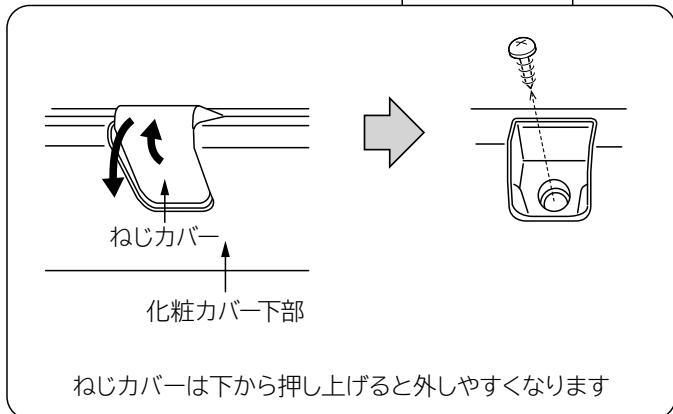
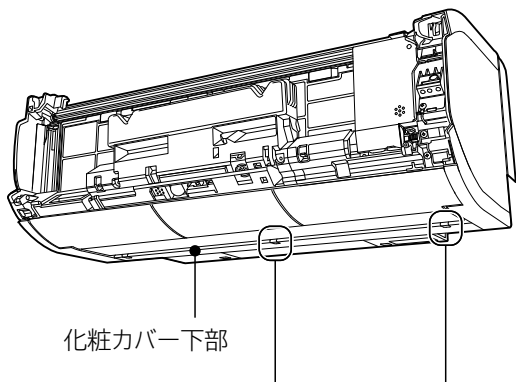
7-6 室内機カバー類の取り外し

据付方法「A、B、C、D、E、F、G、H、J」共通

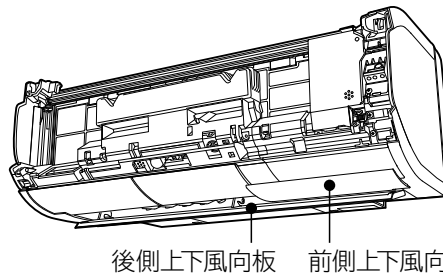
- ①化粧カバー中央前側のねじ3本を外し、左右の爪をスライドさせ、外します。



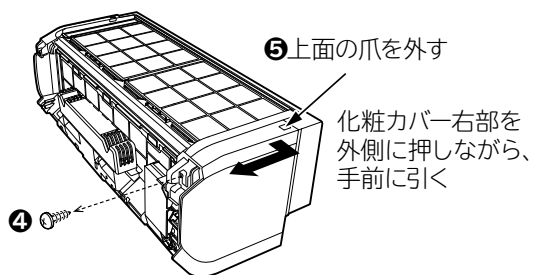
- ②化粧カバー下部のねじカバー中央と右を外し、ねじ2本を外します。



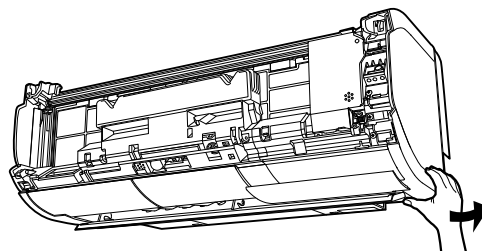
- ③後側上下風向板・前側上下風向板(右)を手でゆっくり開きます。



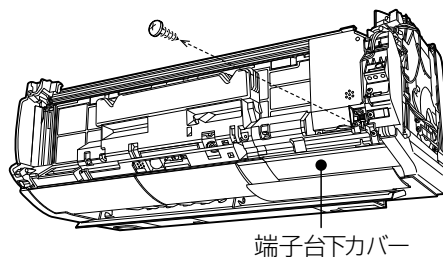
- ④化粧カバー右部のねじを1本取り外します。
⑤化粧カバー右部上面の爪を外し、化粧カバー右部を外側に押しながら手前に引きます。



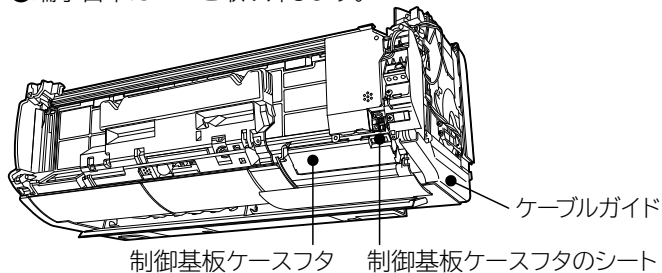
- ⑥化粧カバー右部の下面を下側に開きながら外します。



- ⑦端子台下カバーのねじ1本を取り外します。

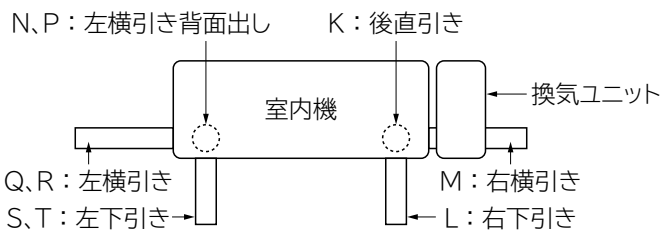


- ⑧端子台下カバーを取り外します。



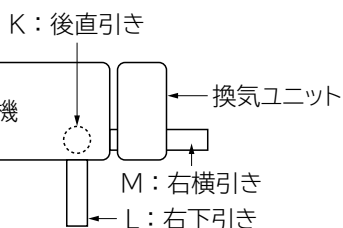
➡P.51 に進んでください

8.室内機の据付 換気ユニットを室内機の右側に据付ける場合(据付方法K、L、M、N、P、Q、R、S、T)



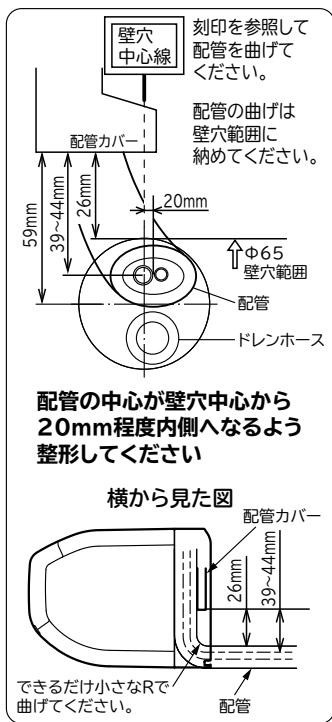
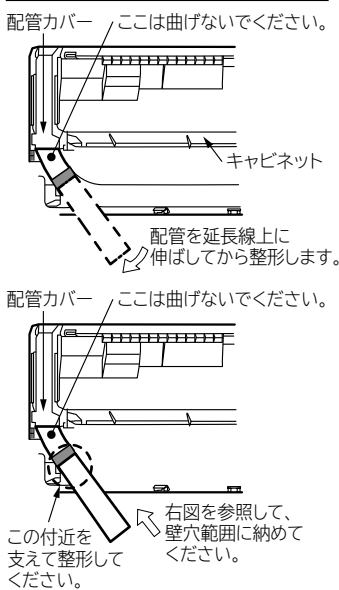
据付方法 N~T は ➡P.38 に進んでください

8-1 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け 据付方法「K：後直引き」「L：右下引き」「M：右横引き」の場合

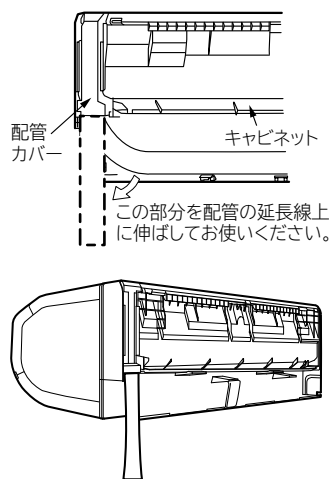


①配管を整形します。

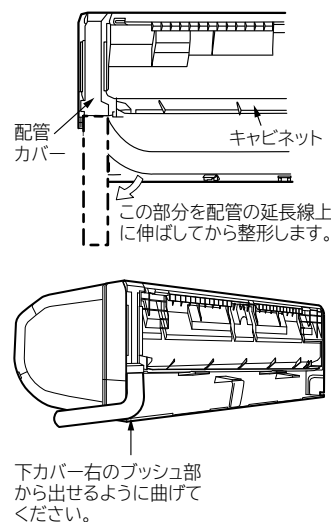
据付方法：K 後直引きの場合



据付方法：L 右下引きの場合



据付方法：M 右横引きの場合



配管の曲げ始めが壁穴範囲から出ていたり、曲げRが大きいと、室内機が壁から浮き上がり、仕上りが悪くなる原因となります。

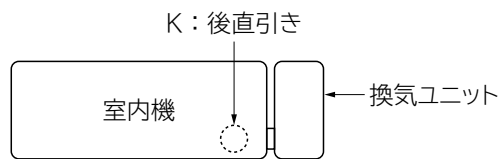
⚠ 注意

- 配管整形時には、**■**部を手で押さえて図のように伸ばしてから整形する
- 伸ばしてから整形しないと、配管が内部でねじれてしまいます。また、後直引きの場合は、配管と壁穴の位置がズれてしまいます。
- 整形時は配管の断熱材がキャビネットなどに当たり破損しないようにしてください。
- ドレンホースは常に下になるように配管を整形する

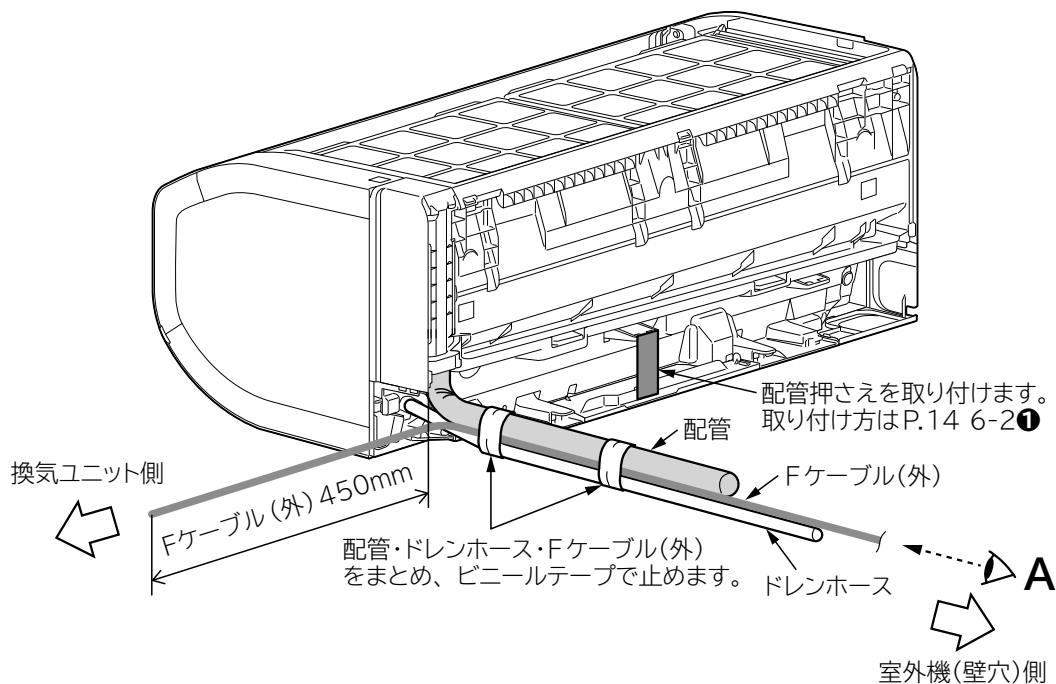
据付方法 K は ➡P.34 に進んでください
据付方法 L は ➡P.35 に進んでください
据付方法 M は ➡P.36 に進んでください

8-1 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

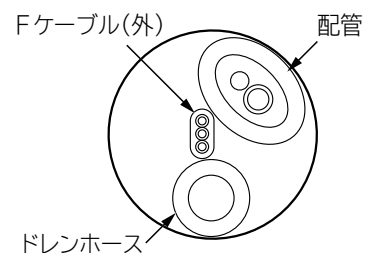
据付方法「K：後直引き」（Φ25またはΦ20の排気ホースを使用）



- ②配管、ドレンホース、Fケーブル(外)をビニールテープでまとめます。
Fケーブル(外)はキャビネット端面から450mmの長さになるよう調整します。

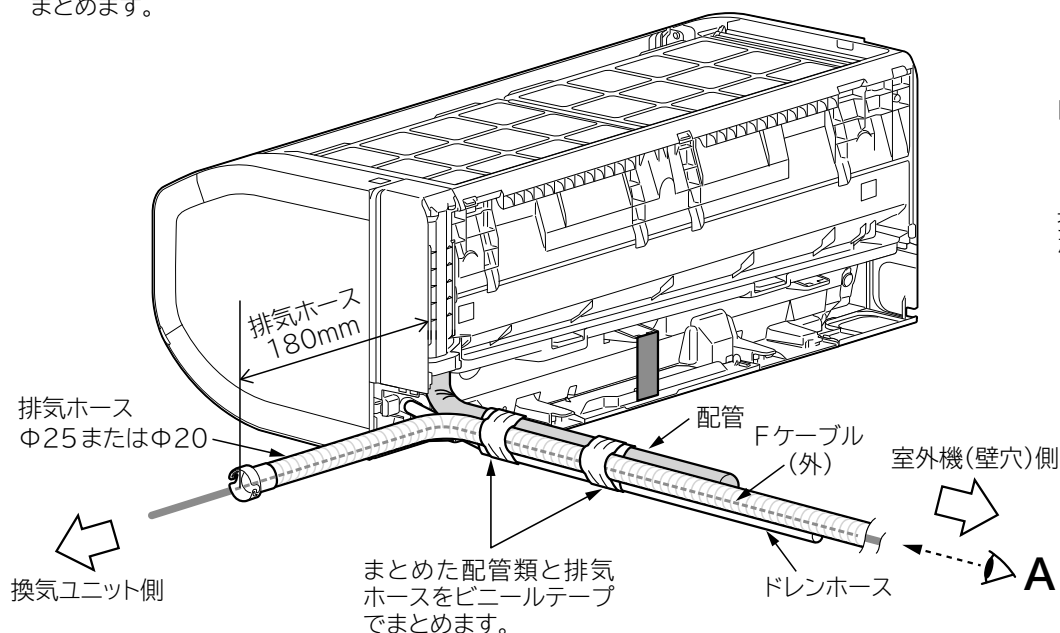


A方向から見た配管類まとめ図

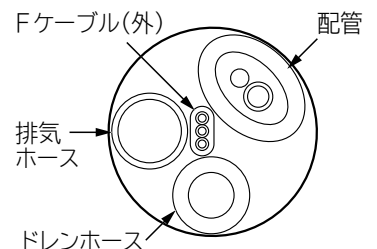


A方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

- ③排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mmの長さになるようビニールテープでまとめます。



A方向から見た配管類まとめ図

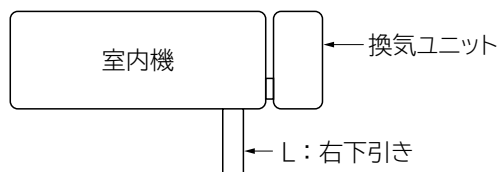


A方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

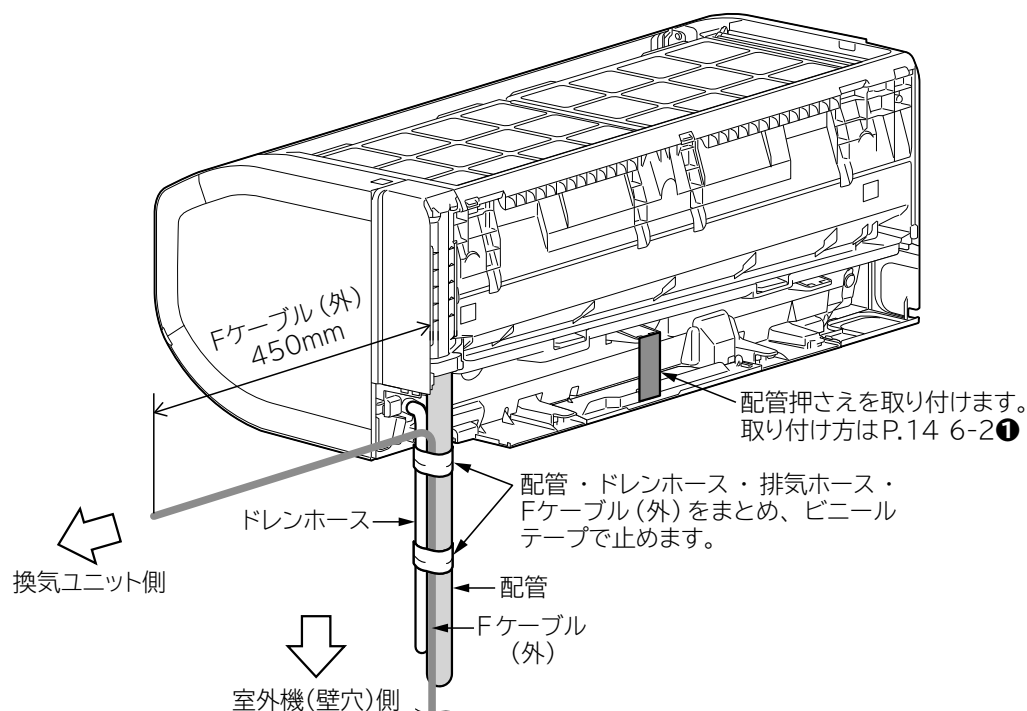
➡P.37 に進んでください

8-1 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

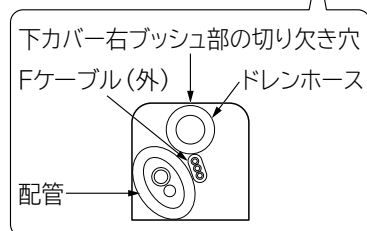
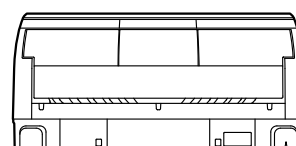
据付方法「L：右下引き」（Φ20の排気ホースを使用）



- ② 配管、ドレンホース、Fケーブル(外)をビニールテープでまとめます。
Fケーブル(外)はキャビネットの端面から450mmの長さになるよう調整します。

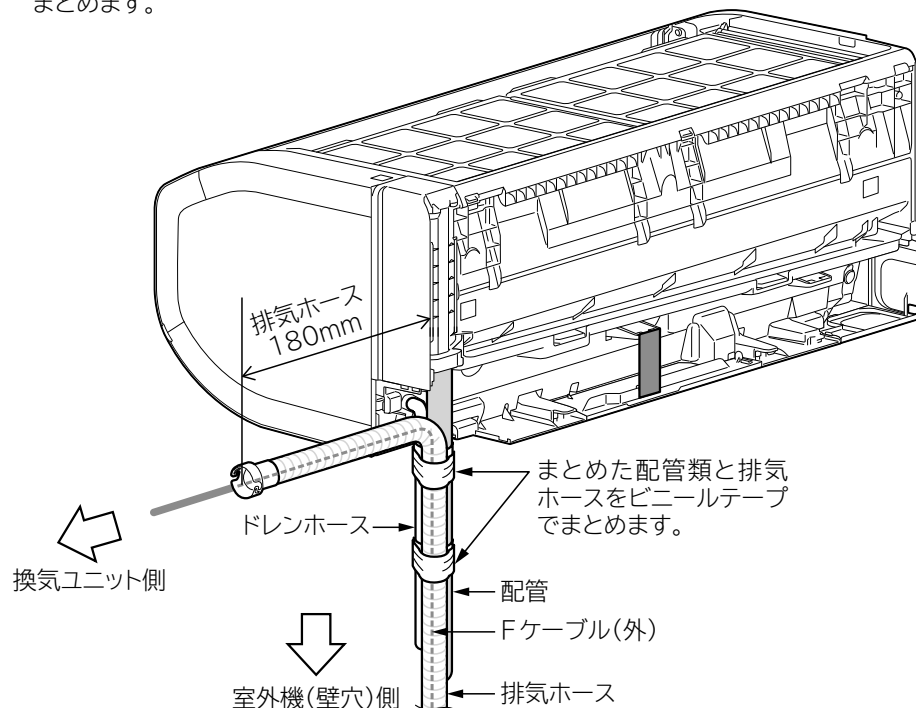


室内機を下から見た
配管類まとめ図

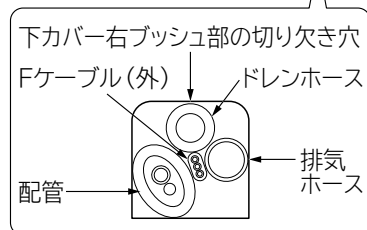
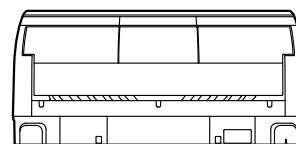


室内機を下から見て上図の配置と
なっていることを確認しビニール
テープでまとめてください。

- ③ 排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から180mmの長さになるようビニールテープでまとめます。



室内機を下から見た
配管類まとめ図

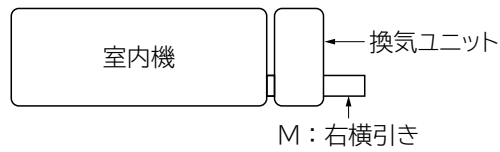


室内機を下から見て上図の配置と
なっていることを確認しビニール
テープでまとめてください。

➡P.37 に進んでください

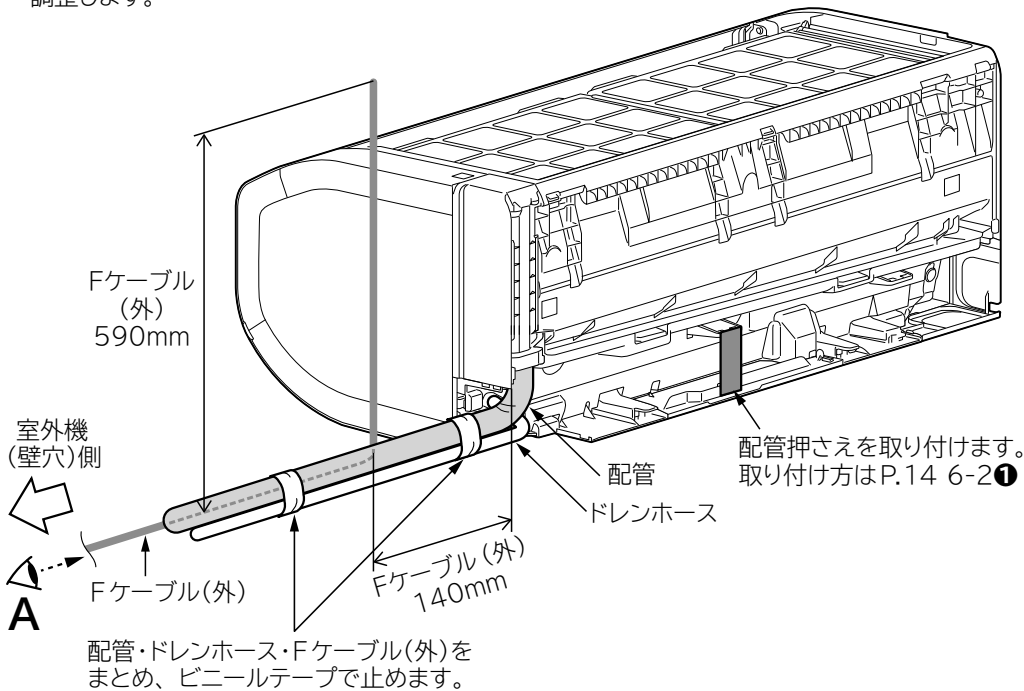
8-1 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「M：右横引き」（Φ20の排気ホースを使用）

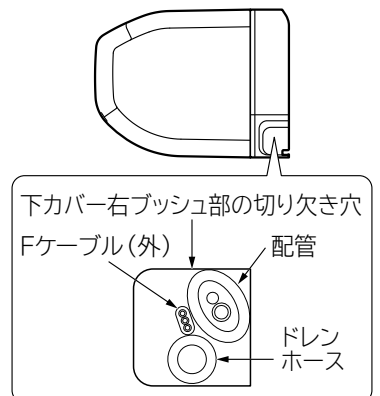


②配管、ドレンホース、Fケーブル(外)をビニールテープでまとめます。

Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネットの端面から140mm離れた位置で、上側に590mm曲げた長さとなるよう調整します。

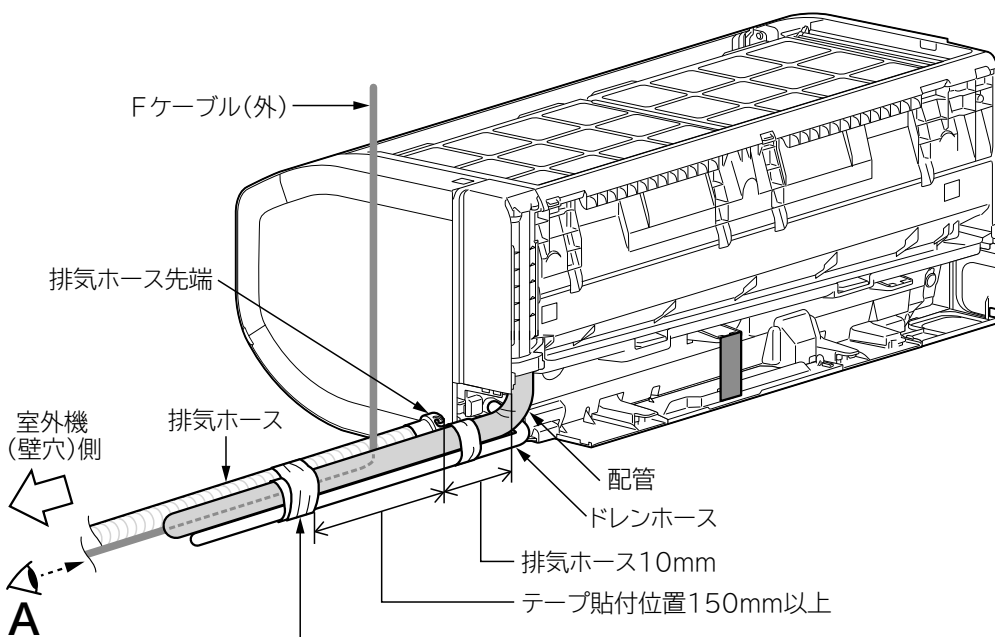


A方向から見た配管類まとめ図

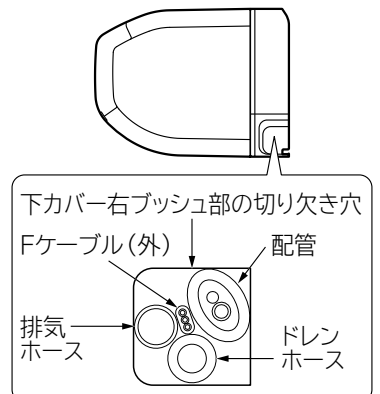


A方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

③排気ホースの、換気ユニット接続側(ホースアダプタを付けた側)がキャビネット端面から10mmの位置にくるようビニールテープでまとめます。このときテープ貼付位置はホース先端から150mm以上離してください。



A方向から見た配管類まとめ図



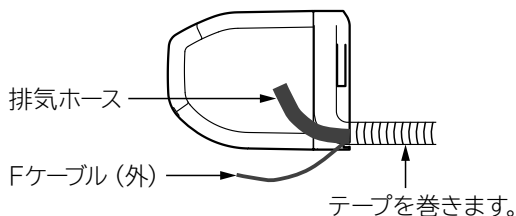
A方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

➔P.37に進んでください

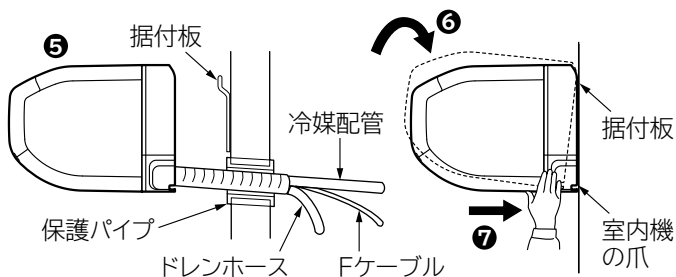
8-1 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「K：後直引き」「L：右下引き」「M：右横引き」共通

- ④ 壁穴貫通部を壁厚さ分、エアコン用据付テープでテープ巻きします。

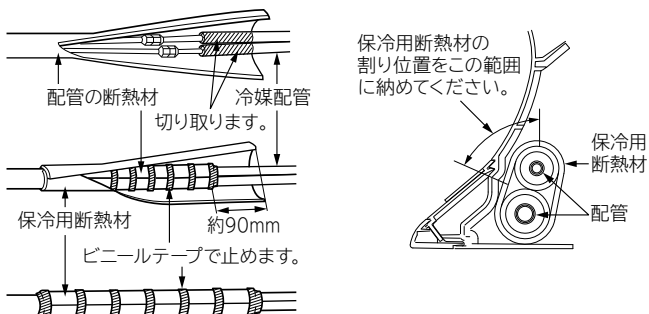


- ⑤ 壁穴に配管類を通します。
⑥ 室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
⑦ 室内機の下部を壁に押し付け、室内機の爪を据付板にはめ込みます。



- ⑧ 冷媒配管を接続します。
⑨ 接続した冷媒配管の断熱材を配管の端面に合わせて切断し、ビニールテープで止めます。
⑩ 配管接続部を室内機付属の保冷用断熱材で割を上にして覆い、隙間のないようにビニールテープを巻きます。
すき間があったり、締め過ぎたりすると、露たれの原因になります。

詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

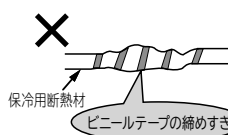


⚠ 注意

- 配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎない
断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。

保冷用断熱材を使わなかったり保冷用断熱材のビニールテープ巻きを締めすぎると・・・

断熱効果がなくなり露が付き露たれおよび壁にシミやカビが発生します。



○ 間隔をおいて締めすぎないように巻きます。

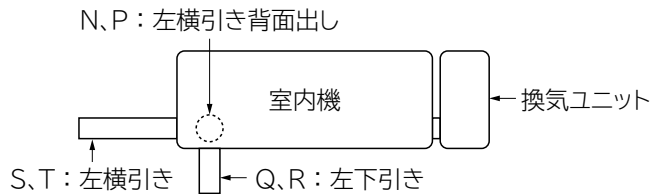
保冷用断熱材は、割を上にして覆い、すき間のないようにテープを巻いてください。

- ドレンホースは常に下になるよう配管を整形する

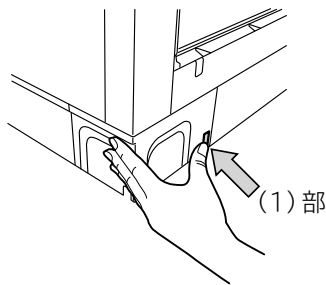
➡P.48 に進んでください

8-2 室内機の準備

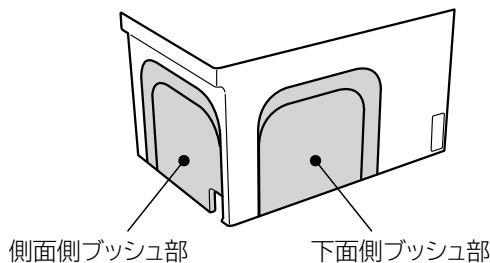
据付方法「N、P：左横引き背面出し」「Q、R：左下引き」「S、T：左横引き」の場合



① 下カバー左の下側奥(1)を押して取り外します。
P.15 6-4 ドレンホースの付け替えで取り外している場合この作業は不要です。



② 下表の通り、据付条件に合わせてブッシュ部をPカッターなどで切り取ります(切り取りが不要な場合もあります)。配管、ドレンホースに加えて排気ホースも通すため外側の大きいブッシュ部を配管引き出し方向に合わせて切り取ります。切断面はやすりで体裁よく仕上げてください。



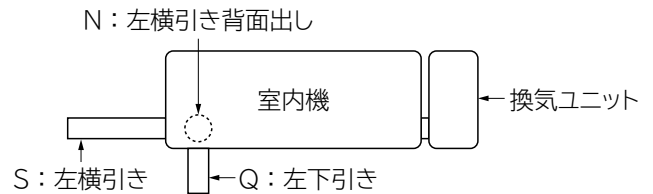
下カバー左 ブッシュ部切り取り箇所

チェック	据付方法	側面側ブッシュ部	下面側ブッシュ部
<input type="checkbox"/>	N	—	—
<input type="checkbox"/>	P	—	—
<input type="checkbox"/>	Q	—	切り取り
<input type="checkbox"/>	R	—	切り取り
<input type="checkbox"/>	S	切り取り	—
<input type="checkbox"/>	T	切り取り	—

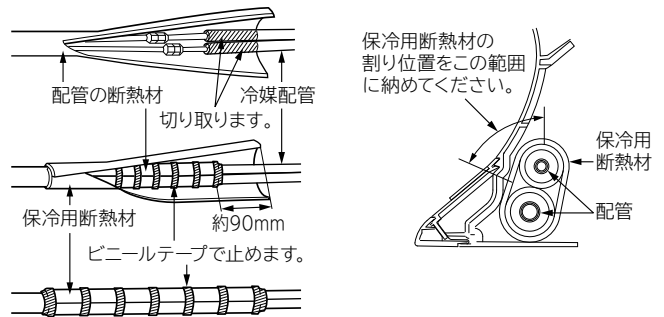
据付方法P、R、Tは⇒P.43に進んでください

8-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け

配管を接続してから据え付ける場合 据付方法「N：左横引き背面出し」「Q：左下引き」「S：左横引き」



- ① 配管を接続します。
- ② 接続した冷媒配管の断熱材を配管の端面に合わせて切断し、ビニールテープで止めます。
- ③ 配管接続部を室内機付属の保冷用断熱材で割を上にして覆い、隙間のないようにビニールテープを巻きます。すき間があったり、締め過ぎたりすると、露たれの原因になります。

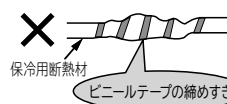


④ 冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形します。

⚠ 注意

● 配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎない
断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。

保冷用断熱材を使わなかつたり保冷用断熱材のビニールテープ巻きを締めすぎると・・・ → 断熱効果がなくなり露が付き露たれおよび壁にシミやカビが発生します。



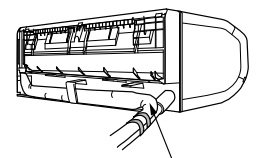
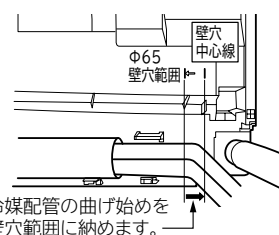
間隔をおいて締めすぎないように巻きます。
○
保冷用断熱材

保冷用断熱材は、割を上にして覆い、すき間のないようにテープを巻いてください。

● 室内機の下部を手前に引っ張って、据付板に室内機の爪がはめこまれていることを確認する
はめこみが不完全ですと、室内機の振動が大きくなる原因となります。

据付方法：N 左横引き背面出しの場合

- (1) 背面の刻印を参照し、壁穴範囲の中で冷媒配管を曲げ始めます。
- (2) 冷媒配管は、できるだけ小さなRで曲げ、整形します。



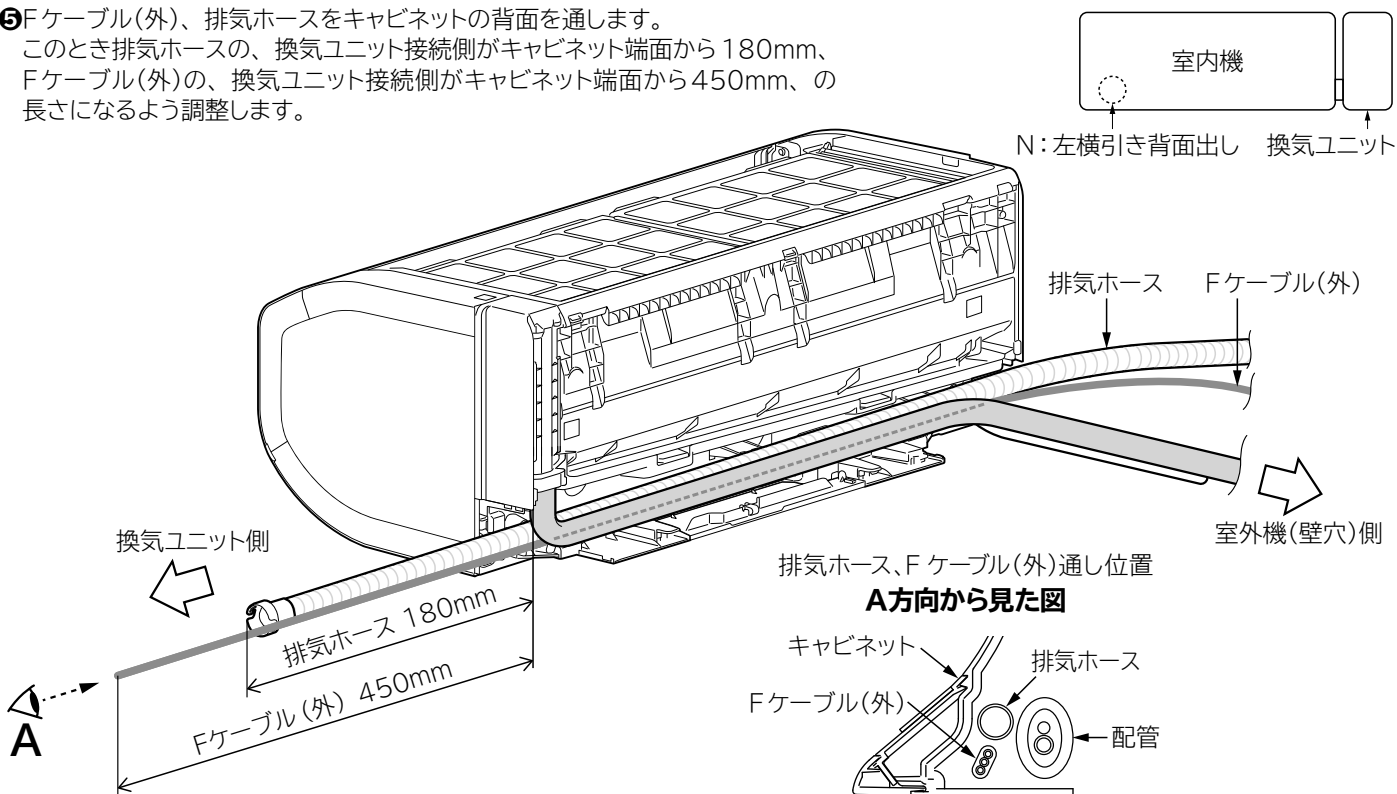
冷媒配管の曲げ始めが壁穴範囲から出ていたり、曲げが大きいと室内機が壁から浮き上がり、仕上がりが悪くなる原因となります。

据付方法Nは⇒P.39、Qは⇒P.40、Sは⇒P.41
に進んでください

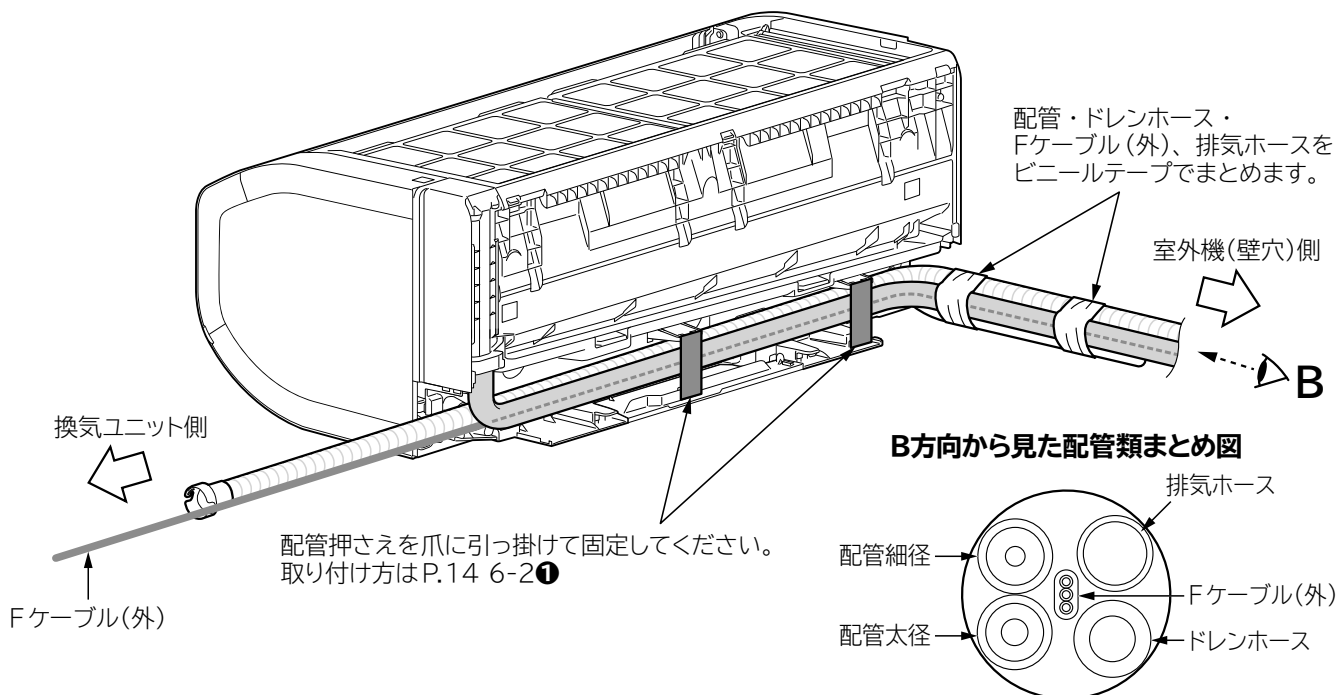
8-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「N：左横引き背面出し」（配管を接続してから据え付ける）（Φ20の排気ホースを使用）

- ⑤ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面を通します。
このとき排気ホースの、換気ユニット接続側がキャビネット端面から180mm、Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から450mm、の長さになるよう調整します。



- ⑥ 排気ホースとFケーブル(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(2箇所)。
- ⑦ 配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を、配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。



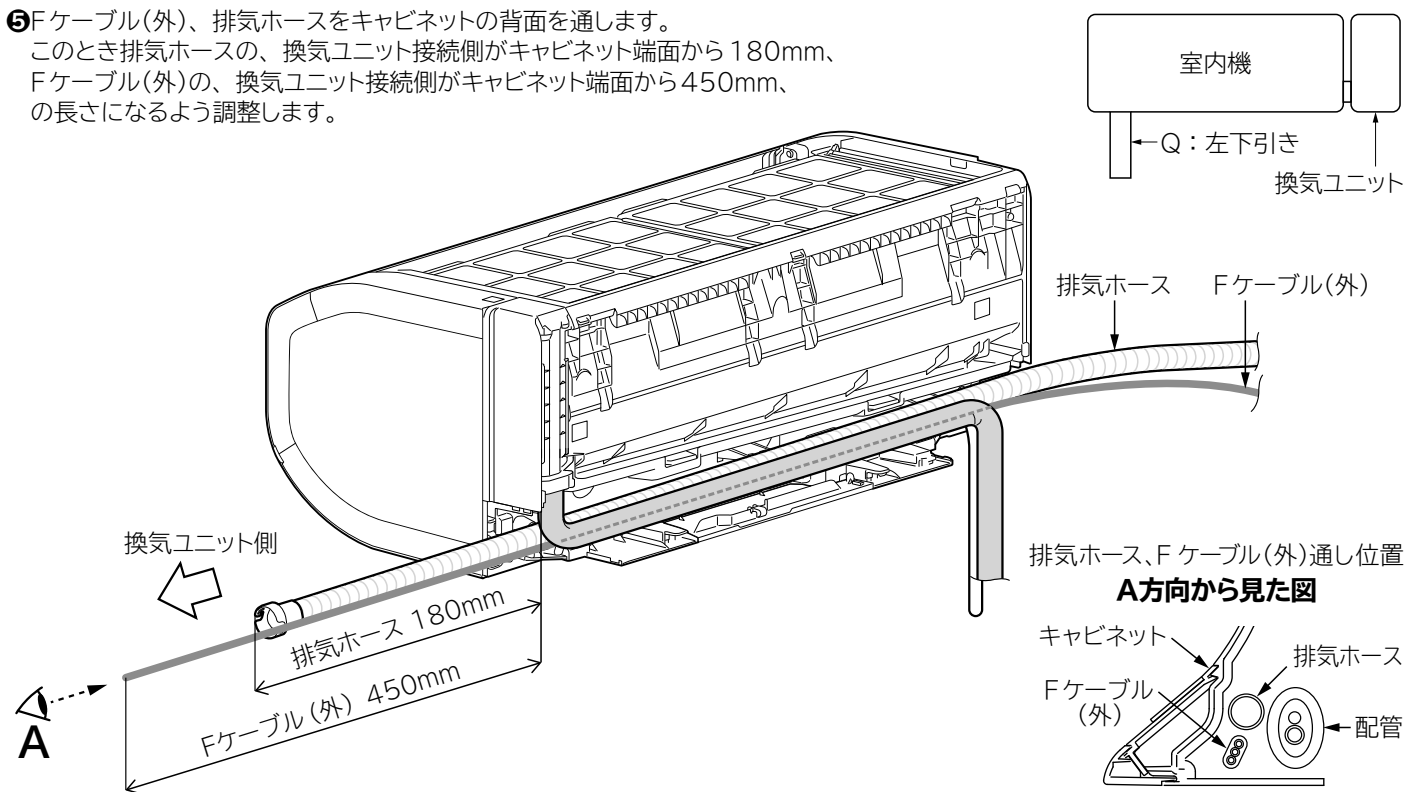
B方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

➔P.42 に進んでください

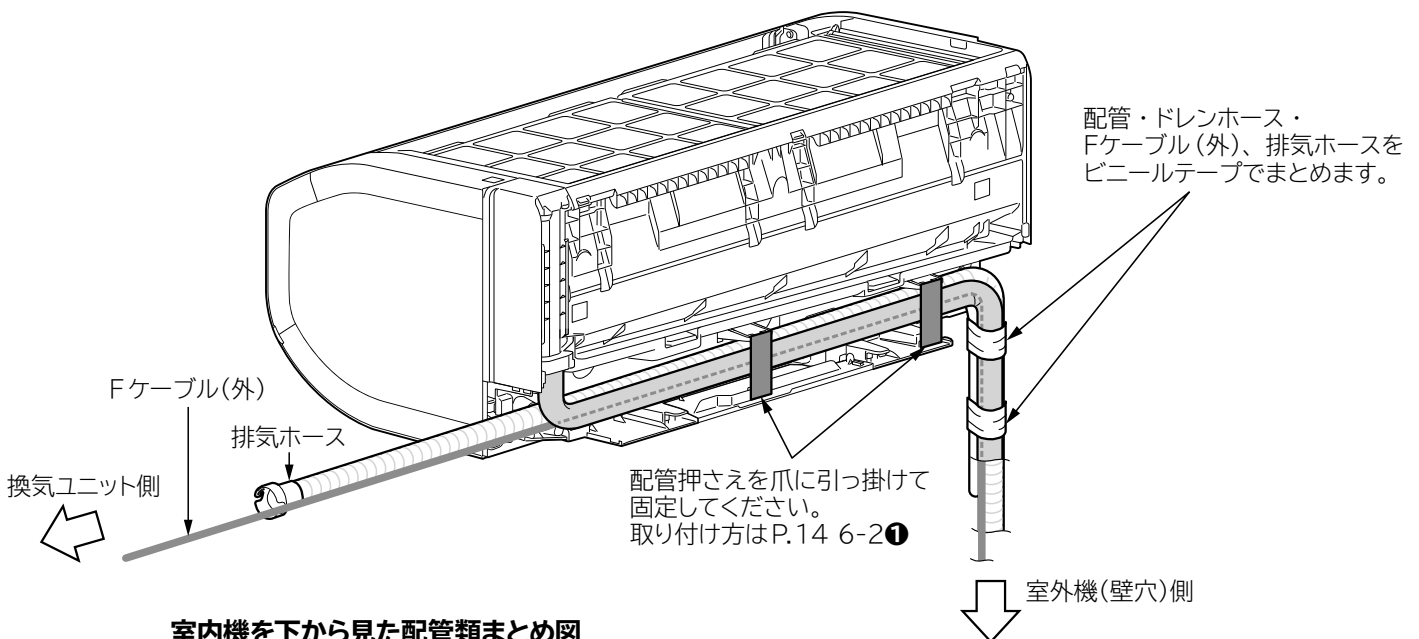
8-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「Q：左下引き」（配管を接続してから据え付ける）（Φ20の排気ホースを使用）

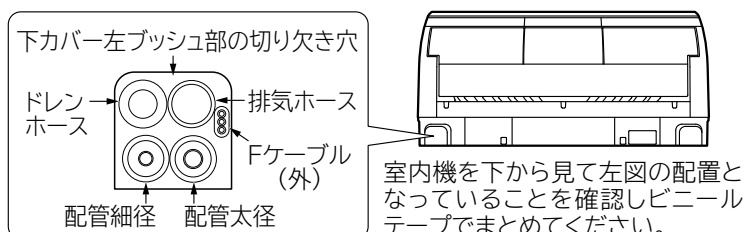
- ⑤ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面を通します。
このとき排気ホースの、換気ユニット接続側がキャビネット端面から180mm、
Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から450mm、
の長さになるよう調整します。



- ⑥ 排気ホースとFケーブル(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(2箇所)。
⑦ 配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を、配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。



室内機を下から見た配管類まとめ図

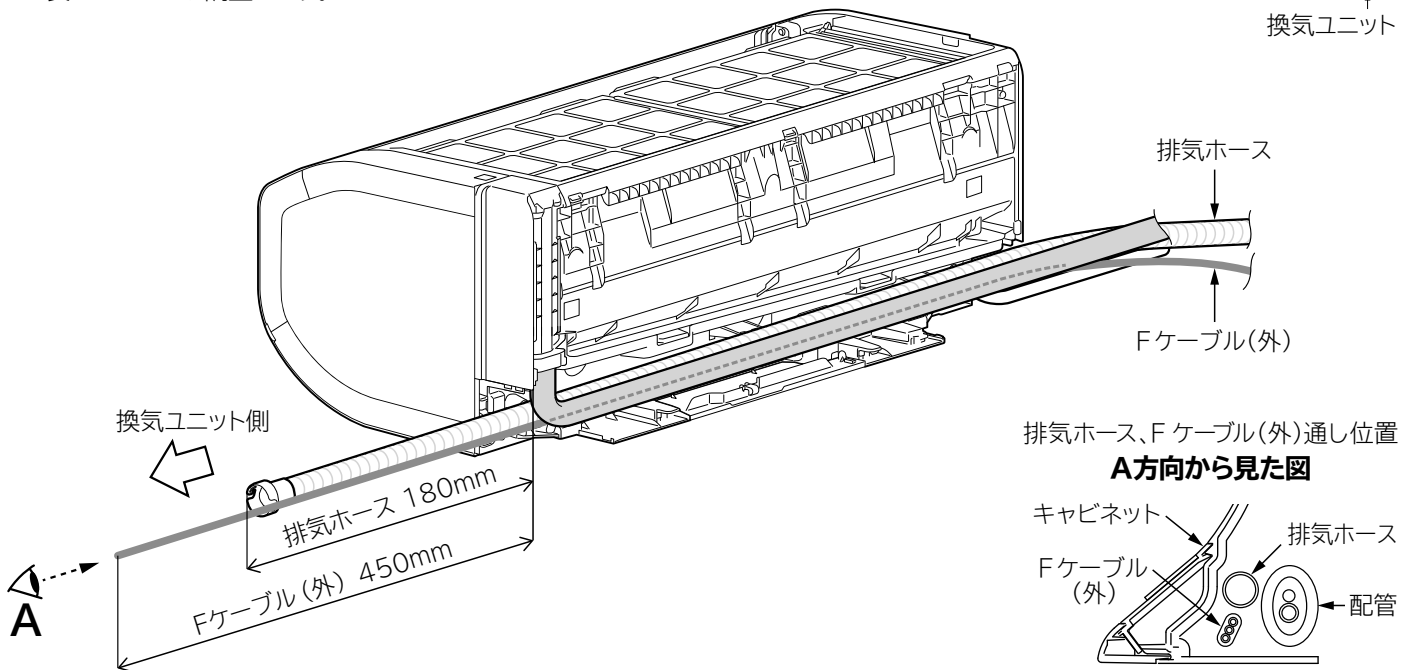


→P.42 に進んでください

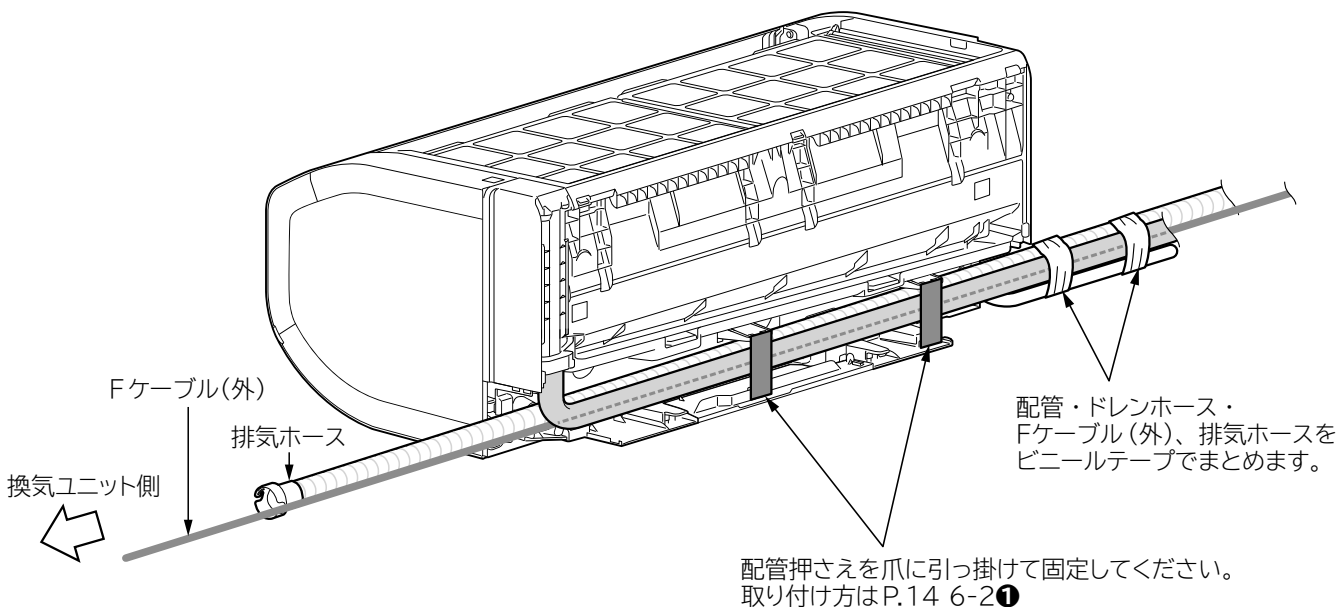
8-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「S：左横引き」（配管を接続してから据え付ける）（Φ20の排気ホースを使用）

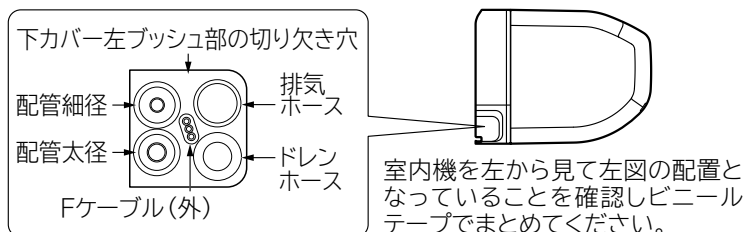
- ⑤ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面を通します。
このとき排気ホースの、換気ユニット接続側がキャビネット端面から180mm、
Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から450mm、
の長さになるよう調整します。



- ⑥ 排気ホースとFケーブル(外)が外れないよう、室内機付属の配管押さえを取付けます(2箇所)。
⑦ 配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を、配管類まとめ図にしたがってビニールテープでまとめます。



室内機を左から見た配管類まとめ図

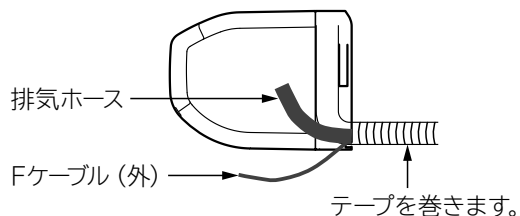


→P.42 に進んでください

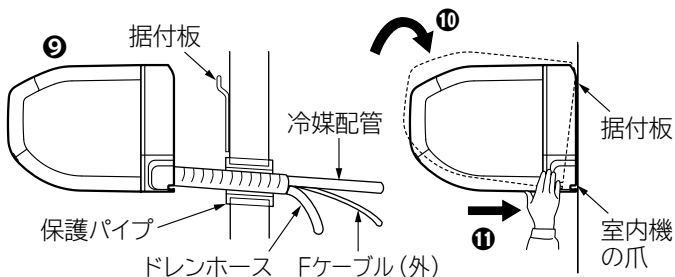
8-3 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「N：左横引き背面出し」「Q：左下引き」「S：左横引き」（配管を接続してから据え付ける）共通

- ⑧壁穴貫通部を壁厚さ分、エアコン用据付テープでテープ巻きします。



- ⑨壁穴に配管類を通します。
 ⑩室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
 ⑪室内機の下部を壁に押し付け、室内機の爪を据付板にはめ込みます。



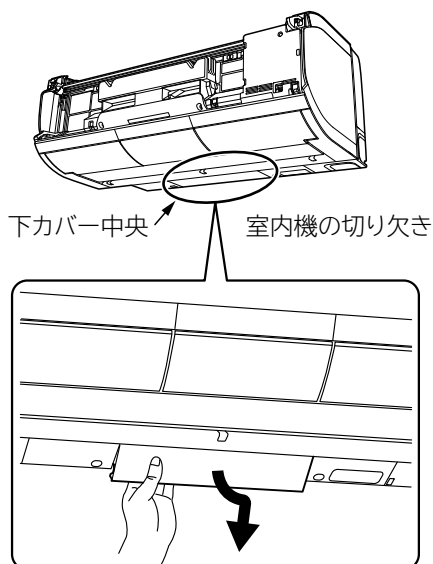
➡P.48 に進んでください

8-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け

据付方法「P：左横引き背面出し」「R：左下引き」「T：左横引き」(室内機の背面で配管を接続)する場合

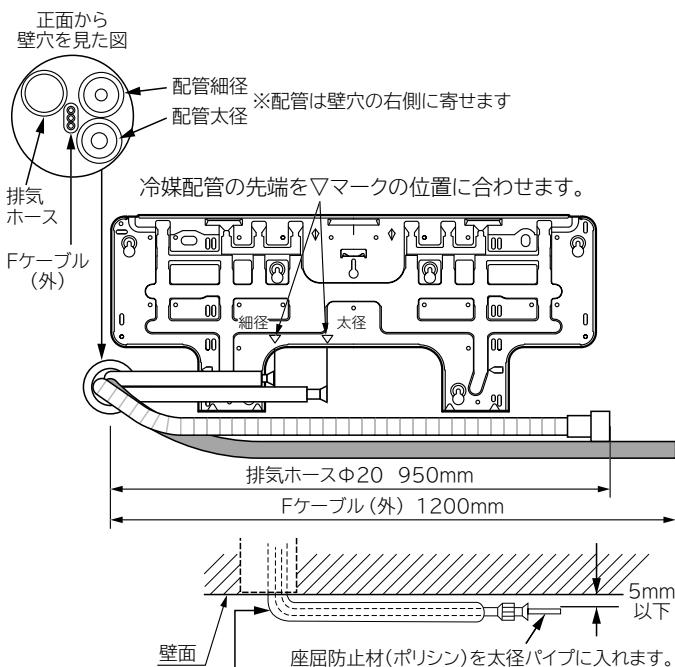
① 下カバー中央を、後側から中央に指をかけ、たわませて外します。

詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。



据付方法：P 左横引き背面出しの場合

② 冷媒配管、Fケーブル(外)、排気ホースを壁穴に通し、冷媒配管の先端を▽マークに合わせます。Fケーブル(外)、排気ホースは壁穴中心より下図の寸法になるよう合わせます。

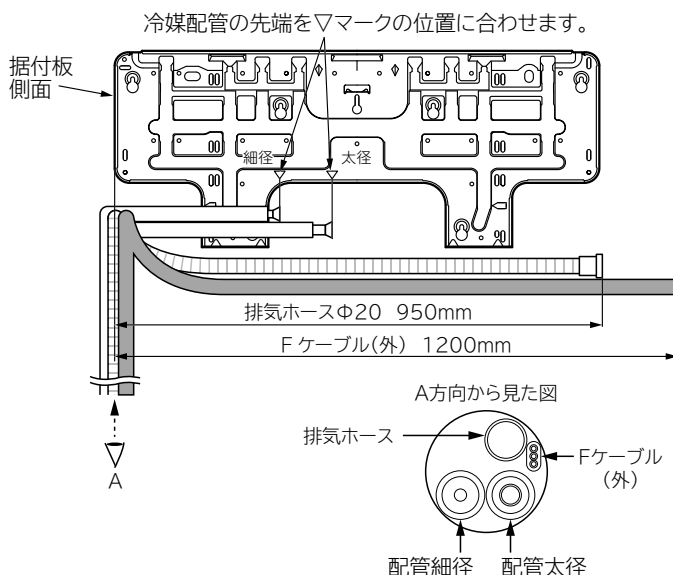


注意

● 座屈防止材(ポリシン)を使用する場合は、削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入する

据付方法：R 左下引きの場合

② 冷媒配管、Fケーブル(外)、排気ホースを壁穴に通し、冷媒配管の先端を▽マークに合わせます。Fケーブル(外)、排気ホースは据付板側面より下図の寸法になるよう合わせます。



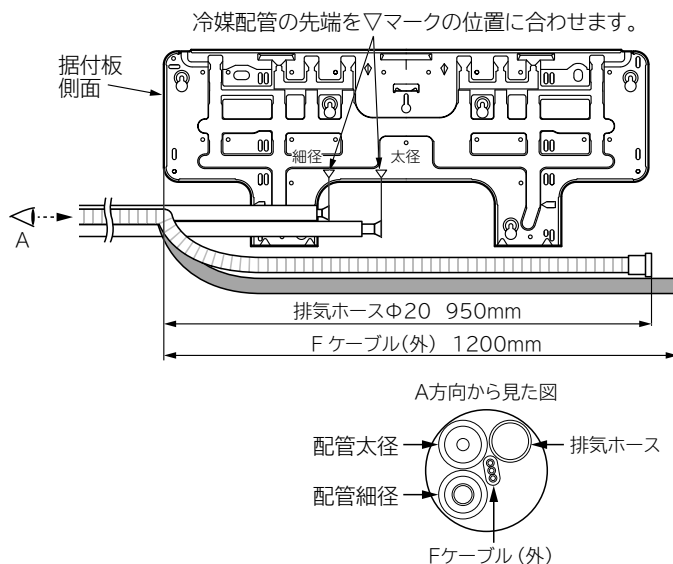
できるだけ小さなRで曲げてください。座屈防止材(ポリシン)を使用すると配管を潰さずに小さなRで曲げることができます。

注意

● 座屈防止材(ポリシン)を使用する場合は、削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入する

据付方法：T 左横引きの場合

② 冷媒配管、Fケーブル(外)、排気ホースを壁穴に通し、冷媒配管の先端を▽マークに合わせます。Fケーブル(外)、排気ホースは据付板側面より下図の寸法になるよう合わせます。

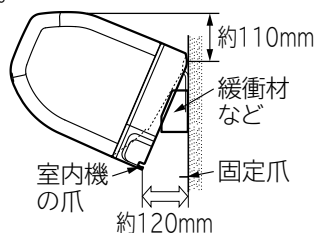


8-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「P：左横引き背面出し」「R：左下引き」「T：左横引き」（室内機の背面で配管を接続）する場合

③室内機を据付板に引っ掛けます。

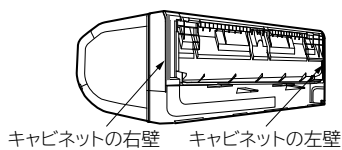
④室内機背面に緩衝材またはダンボールなどはさみこみ室内機の下部を手前に約120mmもしくは目一杯浮かします。



⚠ 注意

●室内機背面にはさむ部材は、キャビネット右壁または左壁で保持する

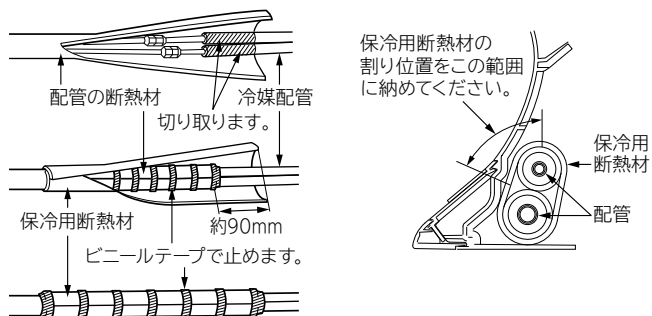
上記以外で保持すると、キャビネットに無理な力が発生して、変形・破損するおそれがあります。



⑤冷媒配管を接続します。

⑥接続した冷媒配管の断熱材を配管の端面に合わせて切断し、ビニールテープで止めます。

⑦配管接続部を室内機付属の保冷用断熱材で割を上にして覆い、隙間のないようにビニールテープを巻きます。すき間があったり、締め過ぎたりすると、露たれの原因になります。



⑧冷媒配管を壁穴位置に合わせて整形します。

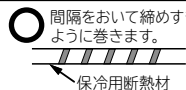
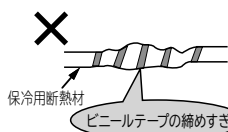
⚠ 注意

●配管の断熱材のビニールテープ巻きは締め過ぎない

断熱効果がなくなり露が付きますので、締め過ぎないように巻いてください。

保冷用断熱材を使わなかったり保冷用断熱材のビニールテープ巻きを締めすぎると・・・

断熱効果がなくなり露が付き露たれおよび壁にシミやカビが発生します。



保冷用断熱材は、割を上にして覆い、すき間のないようにテープを巻いてください。

●室内機の下部を手前に引っ張って、据付板に室内機の爪がはめこまれていることを確認する

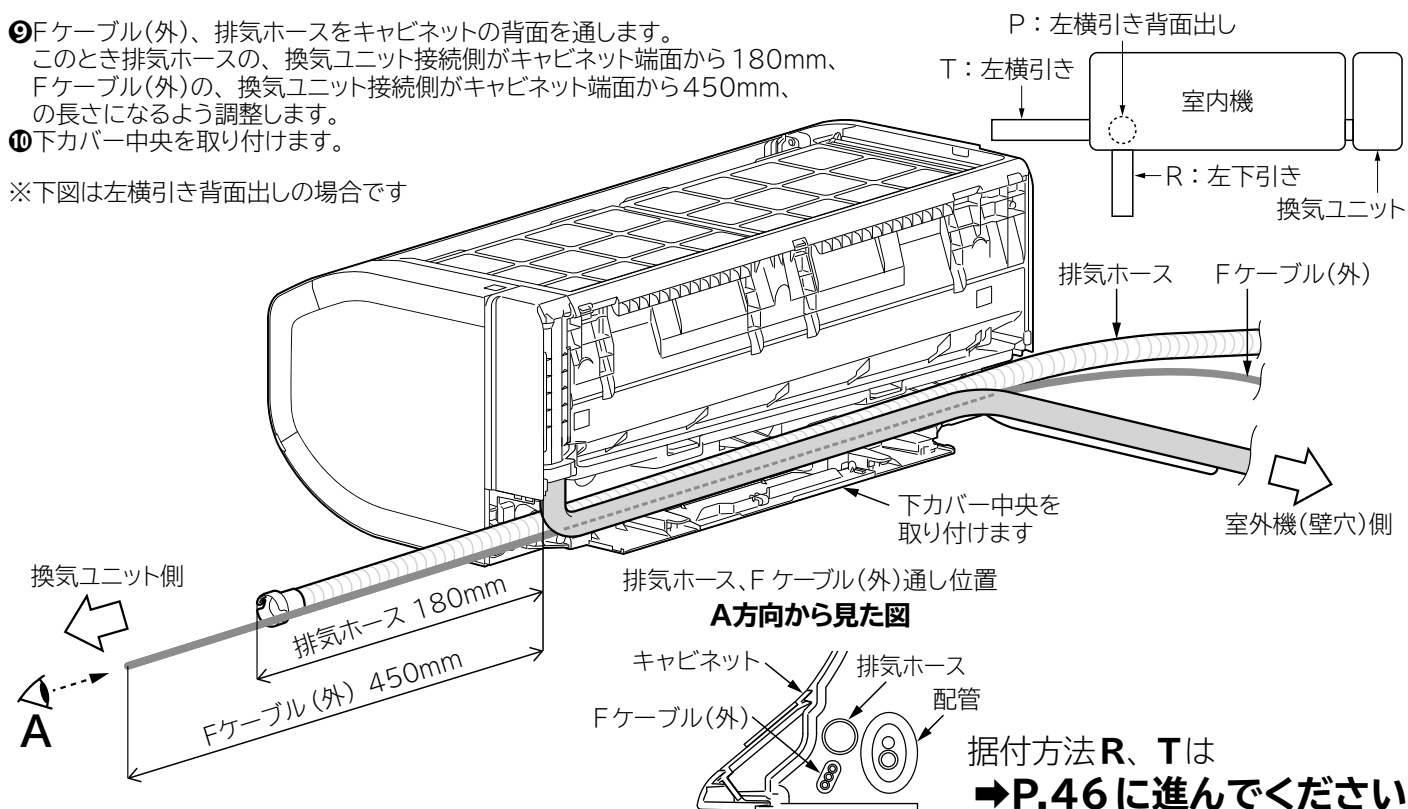
はめこみが不完全ですと、室内機の振動が大きくなる原因となります。

8-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「P：左横引き背面出し」「R：左下引き」「T：左横引き」（室内機の背面で配管を接続）共通

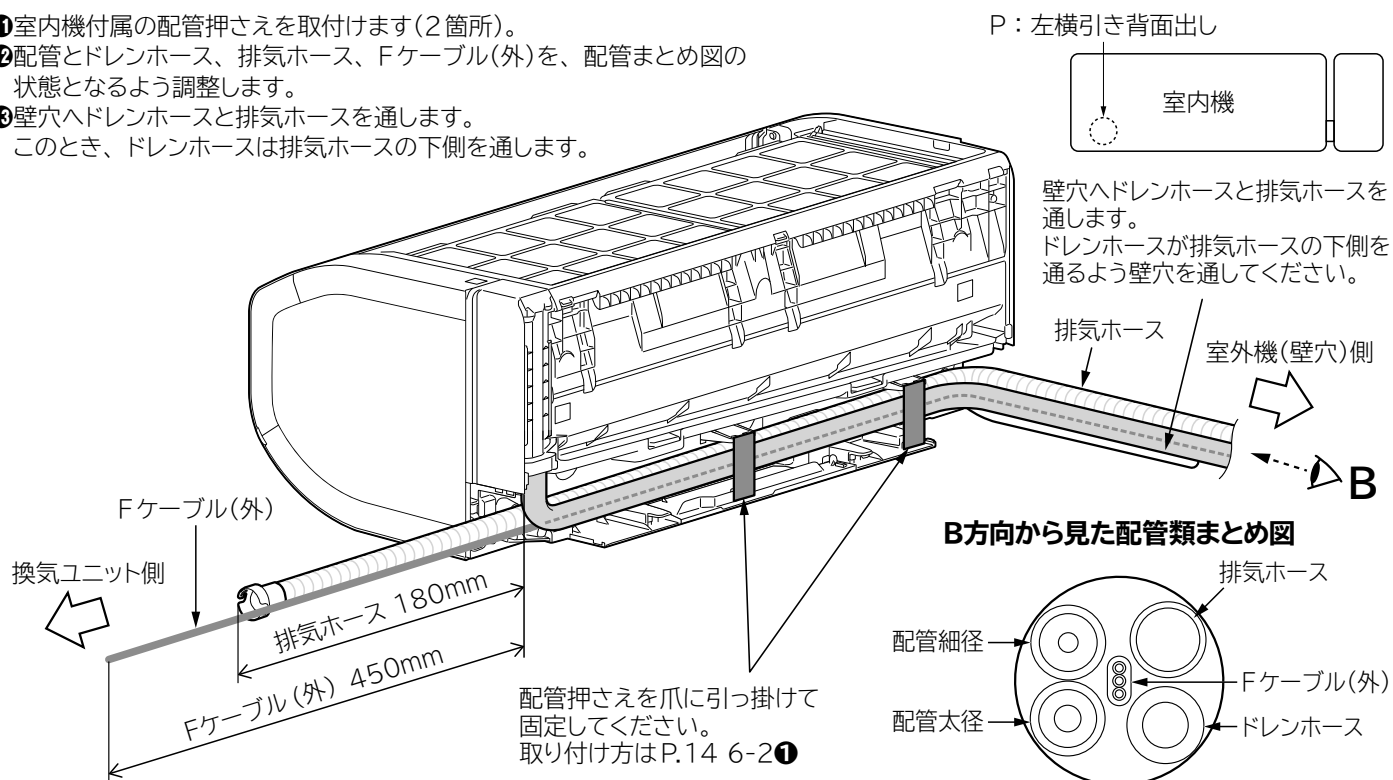
- ⑨ Fケーブル(外)、排気ホースをキャビネットの背面を通します。
このとき排気ホースの、換気ユニット接続側がキャビネット端面から180mm、
Fケーブル(外)の、換気ユニット接続側がキャビネット端面から450mm、
の長さになるよう調整します。
- ⑩ 下カバー中央を取り付けます。

※下図は左横引き背面出しの場合です



据付方法「P：左横引き背面出し」（室内機の背面で配管を接続する）

- ⑪ 室内機付属の配管押さえを取付けます(2箇所)。
- ⑫ 配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を、配管まとめ図の状態となるよう調整します。
- ⑬ 壁穴へドレンホースと排気ホースを通します。
このとき、ドレンホースは排気ホースの下側を通します。



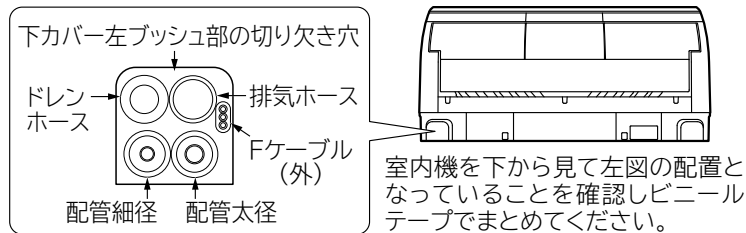
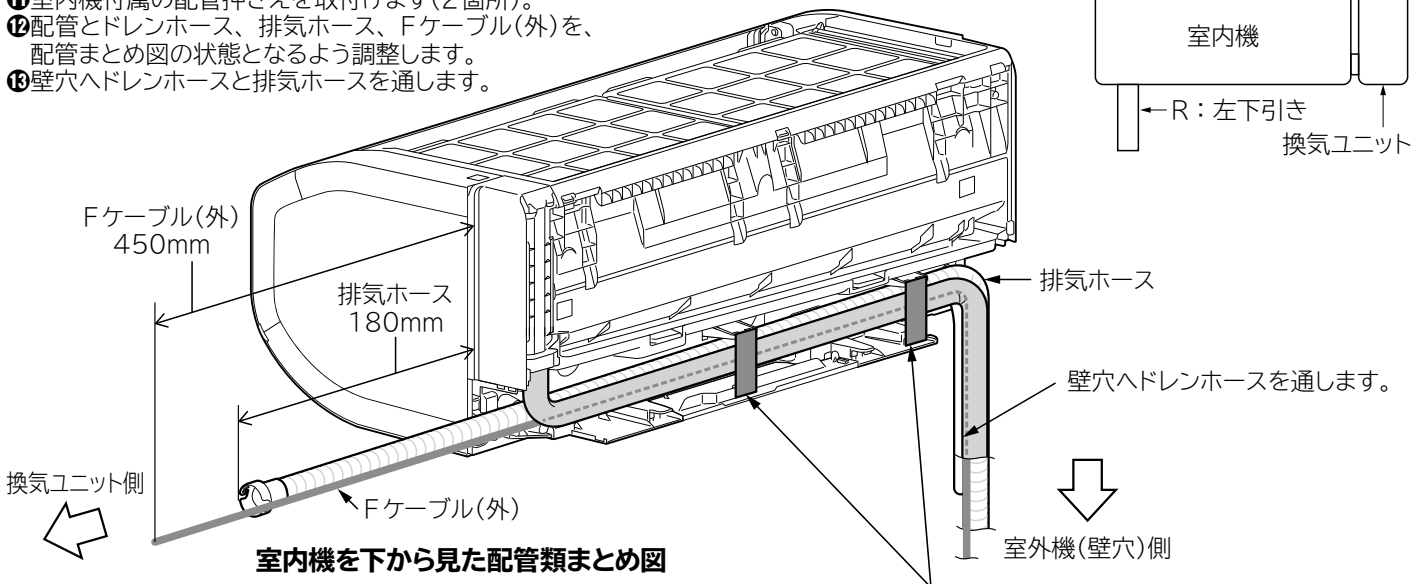
B方向から見て上図の配置となっていることを確認しビニールテープでまとめてください。

➡P.47に進んでください

8-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「R：左下引き」（室内機の背面で配管を接続する）

- ①室内機付属の配管押さえを取付けます(2箇所)。
- ②配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を、配管まとめ図の状態となるよう調整します。
- ③壁穴へドレンホースと排気ホースを通します。

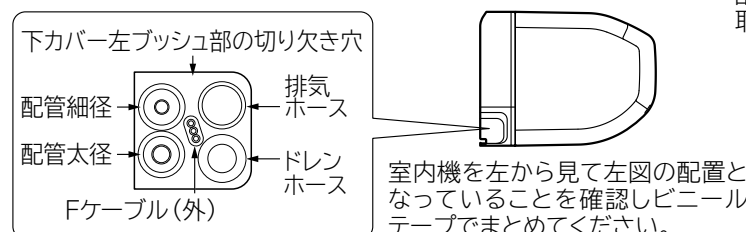
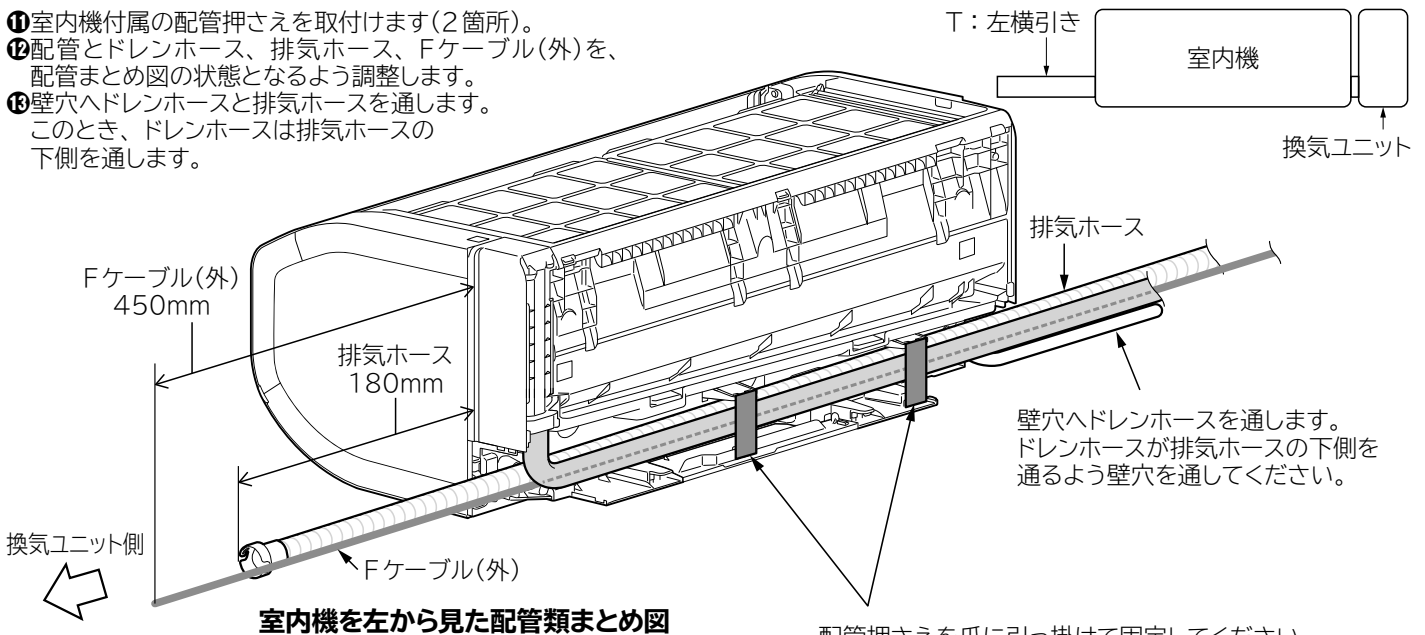


配管押さえを爪に引っ掛けて固定してください。
取り付け方はP.14 6-2①

➔P.47に進んでください

据付方法「T：左横引き」（室内機の背面で配管を接続する）

- ①室内機付属の配管押さえを取付けます(2箇所)。
- ②配管とドレンホース、排気ホース、Fケーブル(外)を、配管まとめ図の状態となるよう調整します。
- ③壁穴へドレンホースと排気ホースを通します。
このとき、ドレンホースは排気ホースの下側を通します。



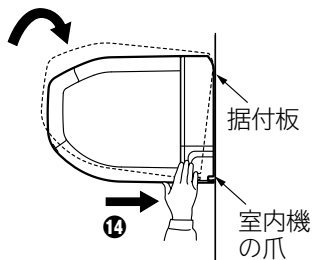
配管押さえを爪に引っ掛けて固定してください。
取り付け方はP.14 6-2①

➔P.47に進んでください

8-4 配管の整形、まとめ、室内機の引掛け（つづき）

据付方法「P：左横引き背面出し」「R：左下引き」「T：左横引き」（室内機の背面で配管を接続）共通

⑭キャビネット背面の緩衝材を外し、室内機を据付板の爪に引っ掛けます。



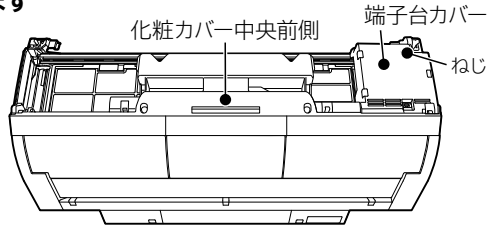
室内機を据付板の爪に引っ掛ける前にFケーブル(外)、排気ホースの長さを必ず確認してください。
(P.45 ⑨参照)

→P.48 に進んでください

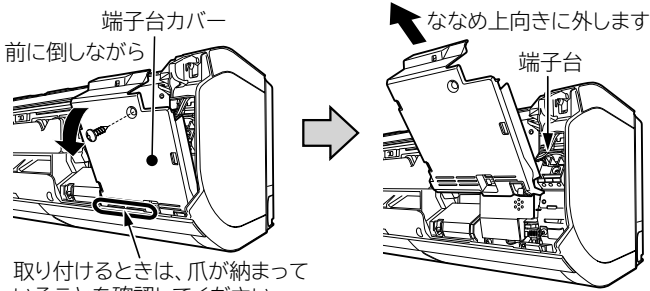
8-5 室内機カバー類の取り外し

据付方法「K、L、M、N、P、Q、R、S、T」共通

換気ユニットの通信ケーブル、アース線を取り付けるための準備をします

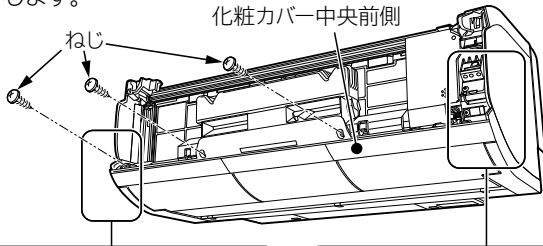


① ねじ1本を外し、端子台カバーを取り外します。



取り付けるときは、爪が納まっていることを確認してください。

② 化粧カバー中央前側のねじ3本を外し、左右の爪をスライドさせ、外します。

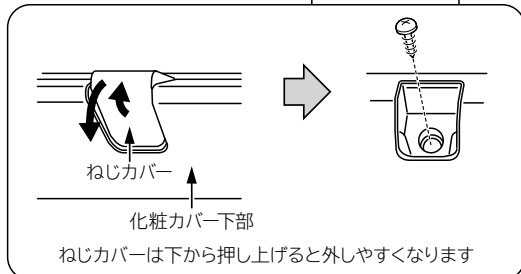
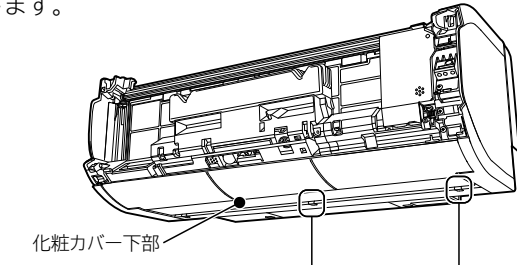


取り付ける際は、化粧カバー右部と化粧カバー中央前側との間に隙間がないように取り付けてください。

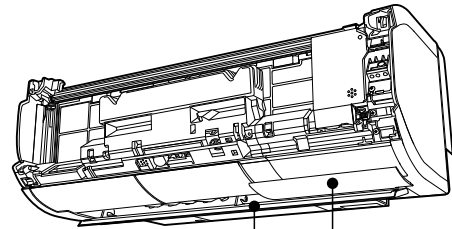


取り付ける際は、化粧カバー左部と化粧カバー中央前側との間に隙間がないように取り付けてください。

③ 化粧カバー下部のねじカバー中央と右を外し、ねじ2本を外します。



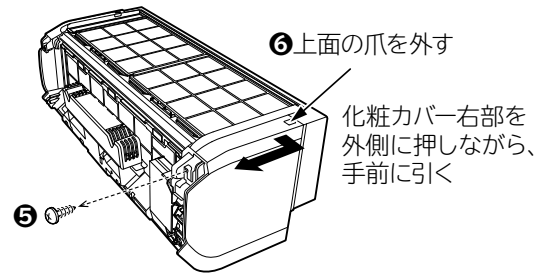
④ 後側上下風向板・前側上下風向板(右)を手でゆっくり開きます。



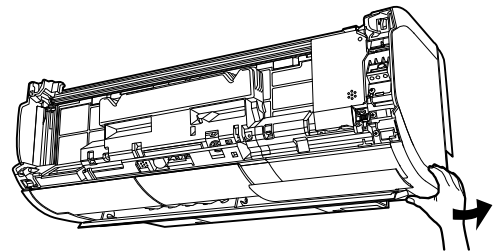
後側上下風向板 前側上下風向板(右)

⑤ 化粧カバー右部のねじを1本取り外します。

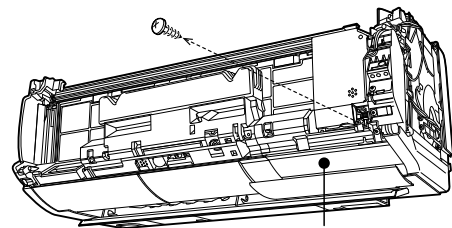
⑥ 化粧カバー右部上面の爪を外し、化粧カバー右部を外側に押しながら手前に引きます。



⑦ 化粧カバー右部の下面を下側に開きながら外します。

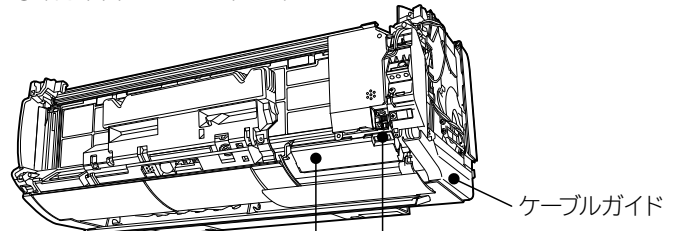


⑧ 端子台下カバーのねじ1本を取り外します。



端子台下カバー

⑨ 端子台下カバーを取り外します。

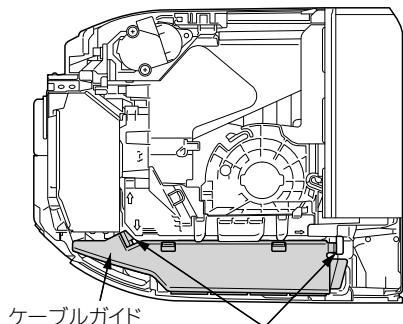


制御基板ケースフタ 制御基板ケースフタのシート

8-6 ケーブルガイドの切断

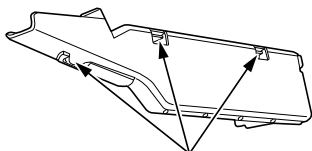
据付方法「K、L、M、N、P、Q、R、S、T」共通

① 2箇所引っ掛け部を外し、ケーブルガイドを取り出します。



① 引っ掛け部を外し取り出します

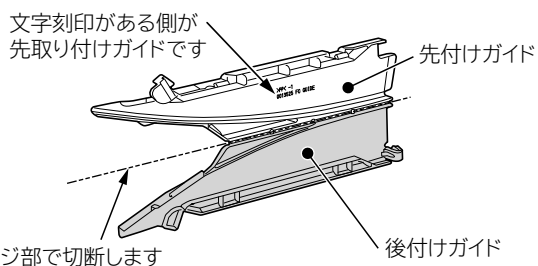
② 爪3箇所を外してケーブルガイドを開きます。



② 爪を外します

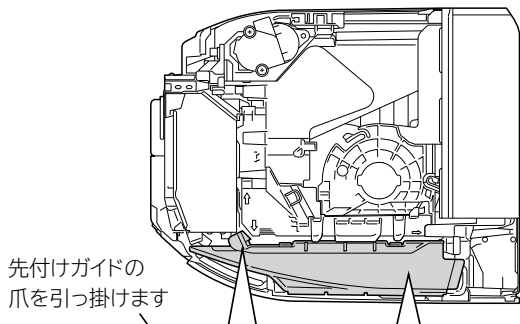
③ ヒンジ部をカッター等で切断します。
切断面をやすりで体裁よく仕上げてください。

室内機と換気ユニットを離して据付ける場合はこの作業は不要です。



③ ヒンジ部で切断します

④ 先付けガイドを取り付けます。



先付けガイドの爪を引っ掛けます

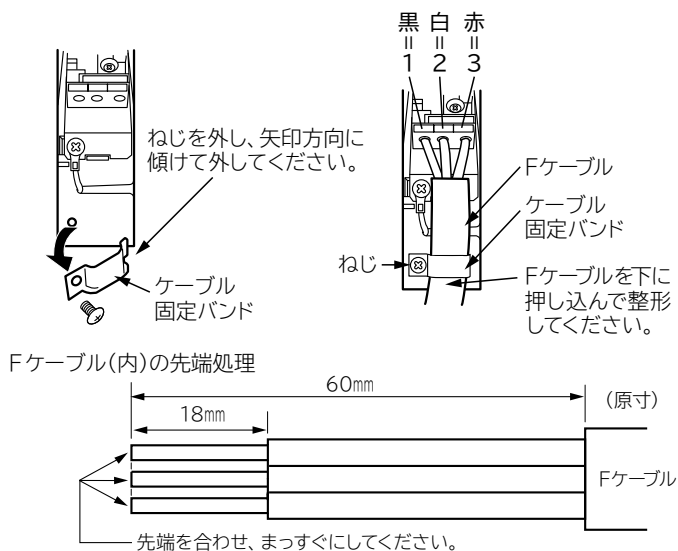


後の作業で外れないようビニールテープで固定します

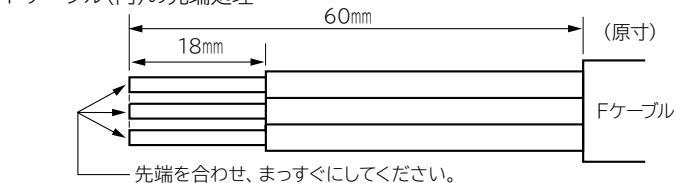
8-7 Fケーブル(内)の接続

据付方法「K、L、M、N、P、Q、R、S、T」共通

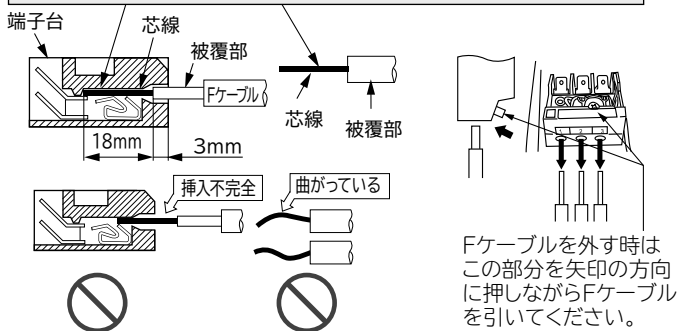
- ① 室内機端子台のケーブル固定バンドを外します。
- ② ケーブルガイドに沿わせて、Fケーブル(内)を背面から前面へ出します。
- ③ Fケーブル(内)の先端を下図の寸法に処理し、室内機の端子台へ挿入します。
- ④ Fケーブル(内)を下に押し込んだあと、ケーブル固定バンドで固定してください。



Fケーブル(内)の先端処理



むき出し部の芯線をまっすぐにして奥までしっかり差し込んでください。



Fケーブルを外す時はこの部分を矢印の方向に押しながらFケーブルを引いてください。

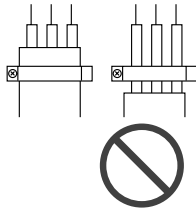
8-7 Fケーブル(内)の接続(つづき)

警告

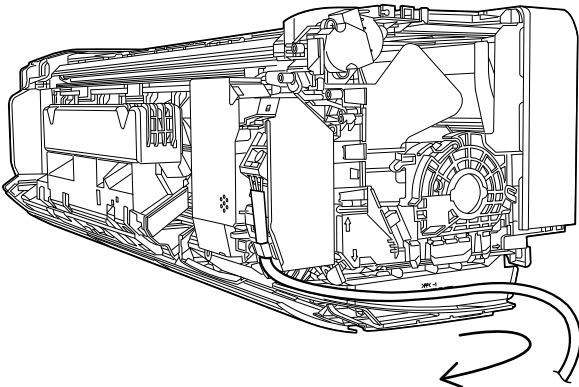
- Fケーブルは、必ず直径2mmの単線を使用する
より線を使用しますと、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルを途中で接続しない
接続部が過熱し、火災・感電の原因になります。
- Fケーブルの芯線は18mm(最小でも17mm、最大でも20mm)むき出し、芯線がかくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する
挿入が不十分であったり、むき出し寸法が17mm以下ですと接触不足により、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする
- 分岐回路はエアコン専用の回路にする
- Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う
- Fケーブルの接続作業は電源プラグを必ずコンセントから抜いて行う
Fケーブルの1・2端子間には100Vまたは200Vが印加されます。

警告

- Fケーブルは必ずケーブル固定バンドで止める
- ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする
Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。
- 取り外した端子台カバーは工事後、必ず取り付ける



- ⑤ 背面側に飛び出しているFケーブル(内)を前面側に折り曲げます。



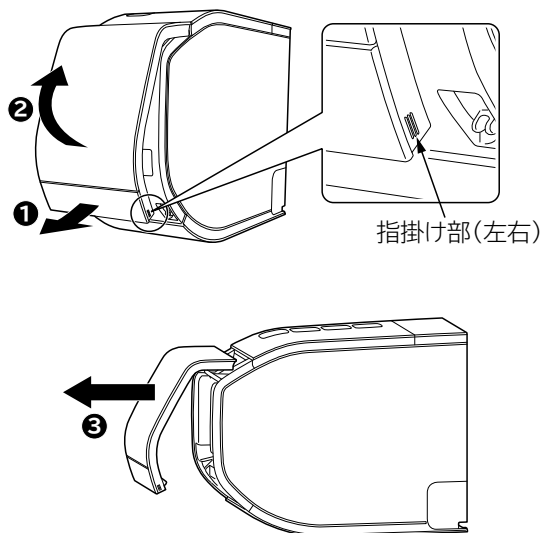
9. 換気ユニットの準備

換気ユニットを据え付ける前に以下の手順でフロントパネル、フィルター、化粧カバーを取り外してください。

9-1 フロントパネルの取り外し

■フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

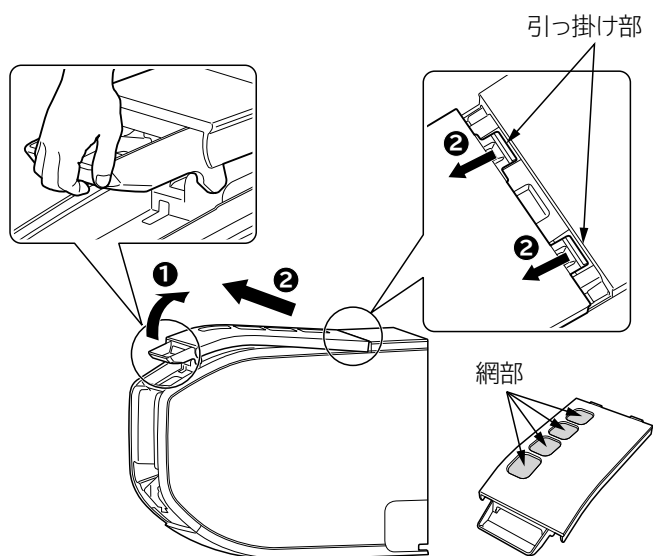
- ①左右の指掛け部に指をかけて、矢印方向に引きます。
- ②パネルを矢印方向に開ききるまで開きます。
- ③パネルを矢印方向に引いて取り外します。



9-2 フィルターの取り外し

■フロントパネルを外してから取り外してください。

- ①フィルターの先端を持って、矢印方向に持ち上げます。
- ②後側の引っ掛けが外れるように、フィルターを矢印方向に引いて取り外します。



フィルターの網部を指等で押さないでください。

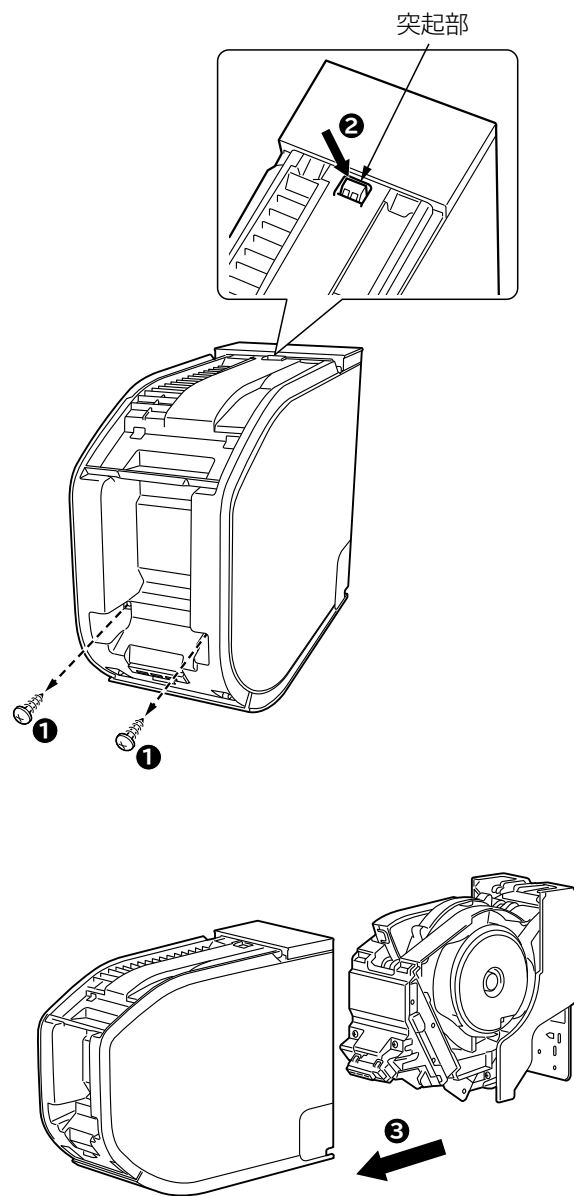
※フィルターの取付は反対の手順で行ってください

9-3 化粧カバーの取り外しかた

■化粧カバーの着脱は必ず両手で行ってください。

■フロントパネル、フィルターを外してから行ってください。

- ①前面2箇所のねじを外します。
- ②上面の突起部を押しながら化粧カバーを前に引きます。
- ③矢印方向に引いて取り外します。



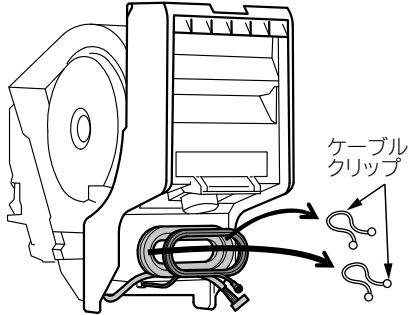
10.換気ユニットの据付

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

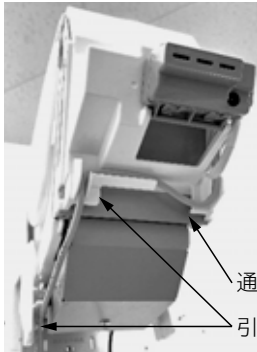
10-1 据付板への固定

- ①換気ユニットの背面に収納されているアース線、通信ケーブルのケーブルクリップを外してアース線、通信ケーブルを全て引き出します。(ケーブルクリップは後の作業で使用します)

換気ユニット背面側



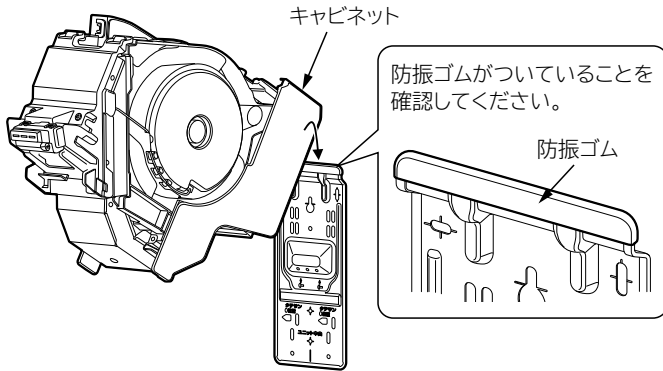
換気ユニット前面側



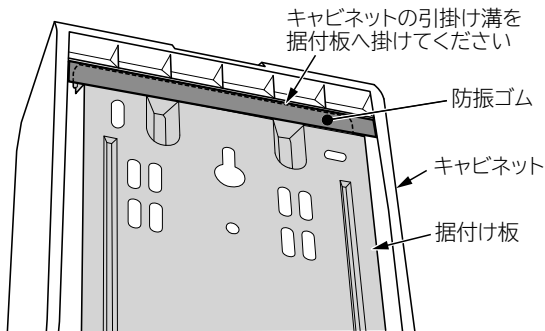
通信ケーブルは図の引掛け部を通した状態で作業してください。
外れた場合は再度取付けてください。

通信ケーブル
引掛け部

- ②換気ユニットを換気ユニット用据付板に引っ掛けます。このとき据付板に防振ゴムがついていることを確認してください。



背面から見た図



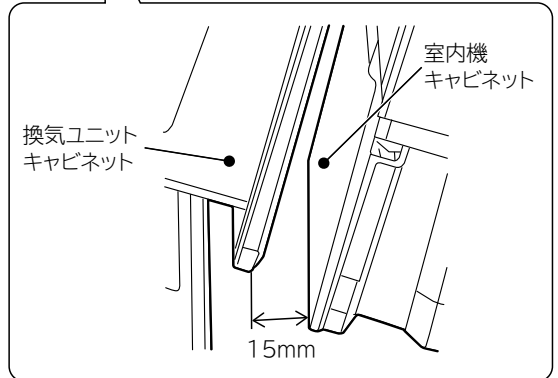
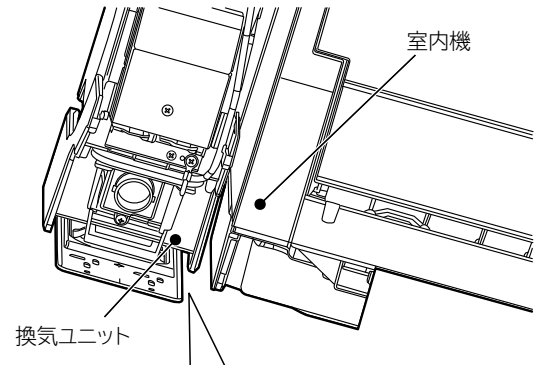
⚠ 注意

- 据付板の上部にゴムを取付ける
運転時の振動、騒音が大きくなる恐れがあります。

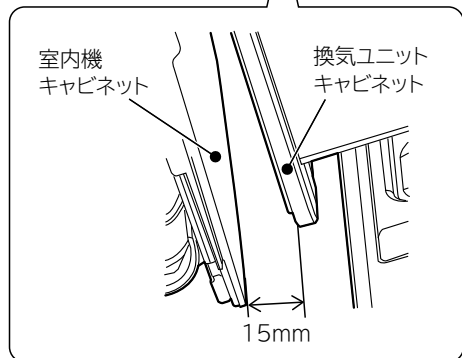
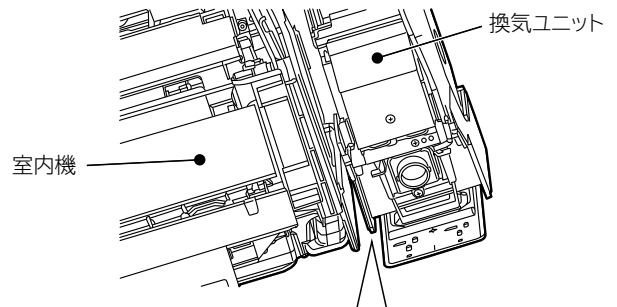
10-2 換気ユニットと室内機位置の調整

- ①換気ユニットを据付板に固定するときは、換気ユニットと室内機のキャビネットの隙間が15mmになるようにすると、化粧カバー類を取り付けた後に室内機との隙間がきれいに仕上がります。
換気ユニットが傾いていないことを確認してから、換気ユニットを左右に動かして調整してください。

換気ユニット左据付の場合 据付方法：A～J

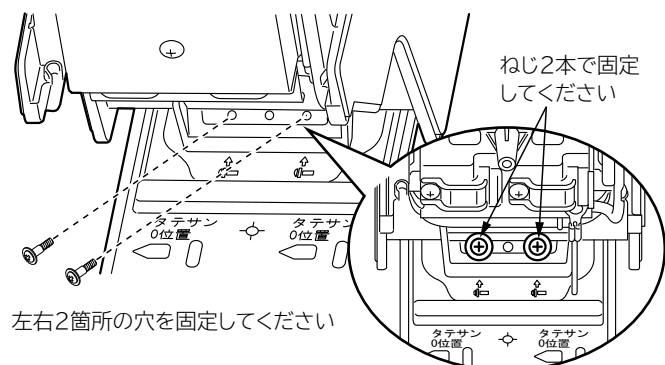


換気ユニット右据付の場合 据付方法：K～T



- ② 付属のねじ2本で換気ユニット下部を据付板に固定します。
(ネジ穴破壊のおそれがあるので電動ドライバーは使用しないでください)

換気ユニット固定のために必ず実施してください。

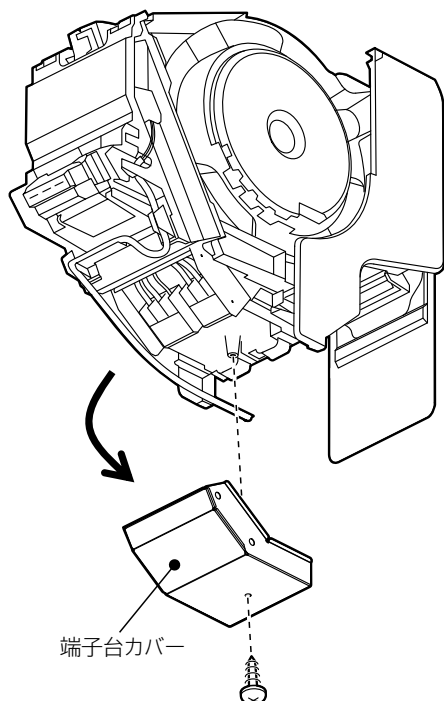


左右2箇所を固定してください

警告

- **ねじ2本で必ず固定する**
換気ユニットが据付板から外れ、落下する恐れがあります。

- ③ ねじ1本を取り外して換気ユニット下部の端子台カバーを外します。



据付方法 A~J は →P.54 に進んでください
据付方法 K~T は →P.58 に進んでください

11.換気ユニットと室内機の接続

室内機の左側に換気ユニットを据え付ける場合
(据付方法A、B、C、D、E、F、G、H、J)

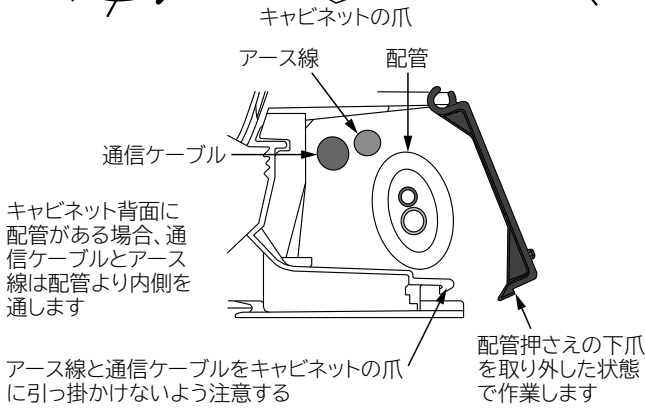
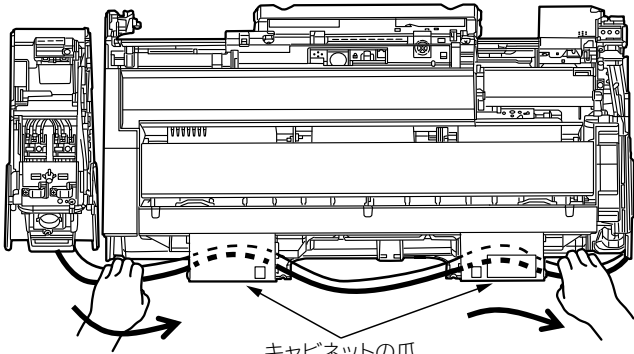
据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

11-1 アース線、通信ケーブルの接続

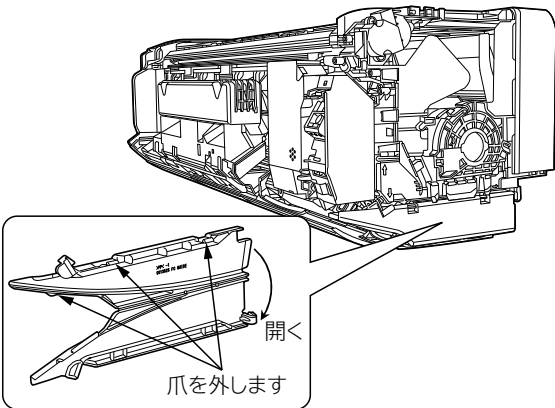
据付方法「A、B、C、D、E、F、G、H、J」共通

据付方法「D、F、H」の場合は、接続の際に配管押さえの爪を一旦取り外してください。

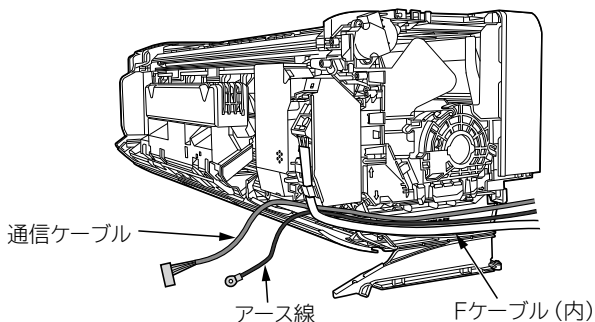
- ①換気ユニットの通信ケーブルとアース線を室内機のキャビネット背面へ通します。
(アース線の先端で通信ケーブルを傷つけないよう、アース線から先に通してください)



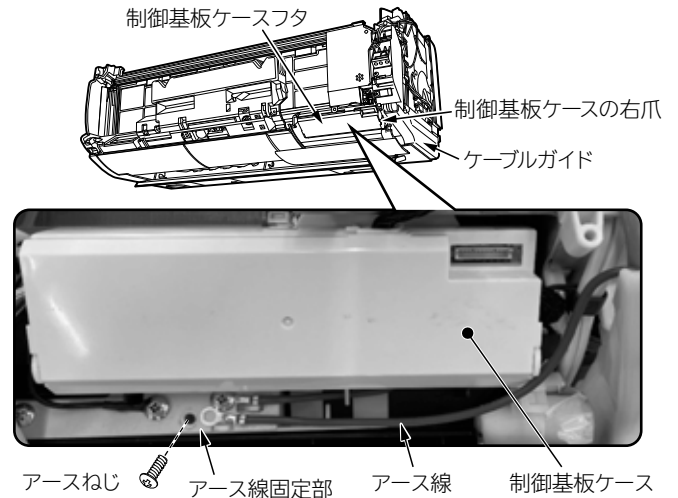
- ②室内機のFケーブルガイドの爪を外し、上下に開きます。



- ③ケーブルガイドにFケーブル(内)に加えて、通信ケーブルとアース線を沿わせます。



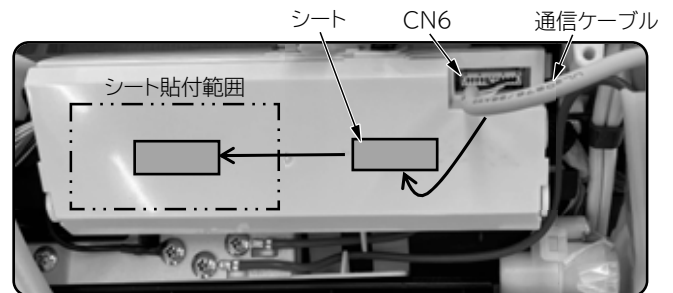
- ④アース線を制御基板ケース下のアース線固定部に付属のアースねじで固定します。



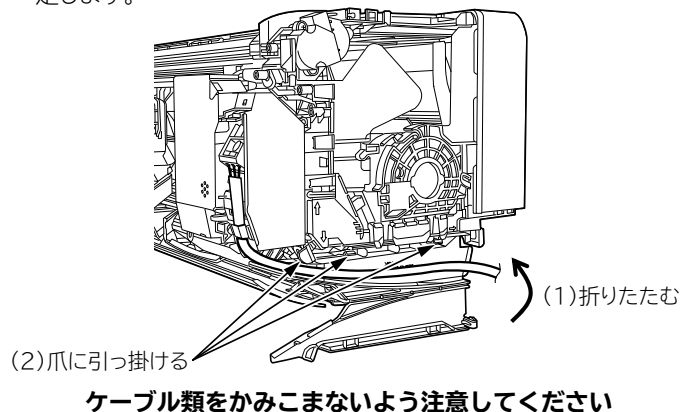
- ⑤アース線をアース線固定部の引掛け部に通して固定します。



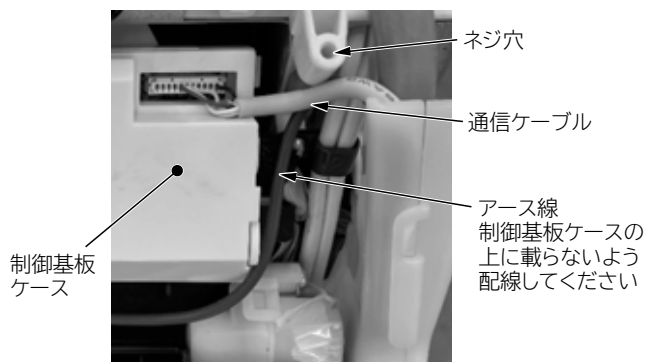
- ⑥制御基板ケースフタのシートをはがし、CN6に通信ケーブルを挿入します。はがしたシートは下図の範囲内に貼ってください。移設等で換気ユニットを取り外してエアコンを使用する場合などにシートを使うため、必ず貼ってください。



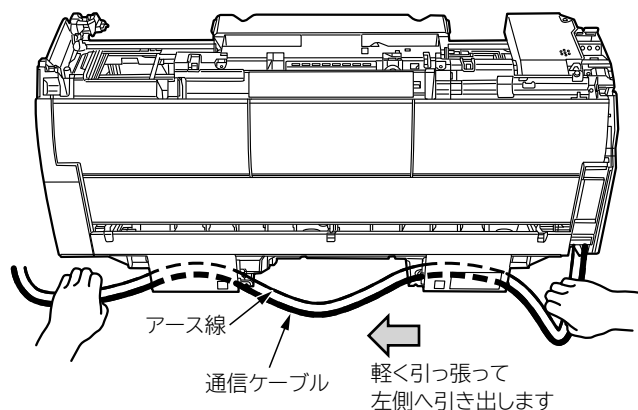
- ⑦開いたケーブルガイドを折りたたみ、爪3箇所を引っ掛けて固定します。



- ⑧ケーブル類をネジ穴の下に通します。
(後の作業で端子台下カバーを取り付ける際にねじでケーブル類を傷つけないようにするため)

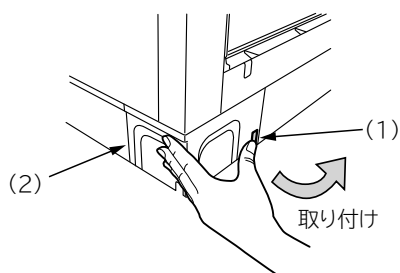


- ⑨余ったアース線と通信ケーブルを換気ユニット側へ引き出します。このときアース線や通信ケーブルがつっぱらないようにしてください。

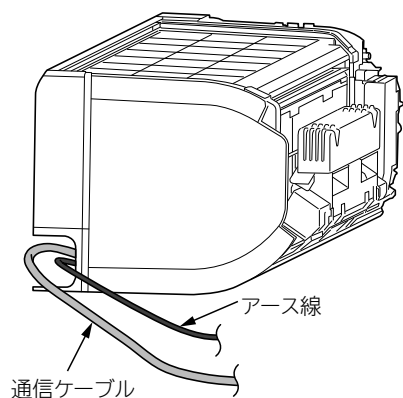


- ⑩下カバー左を取付けます。
据付方法に合わせて、ブッシュ部が切断されていることを確認してください。

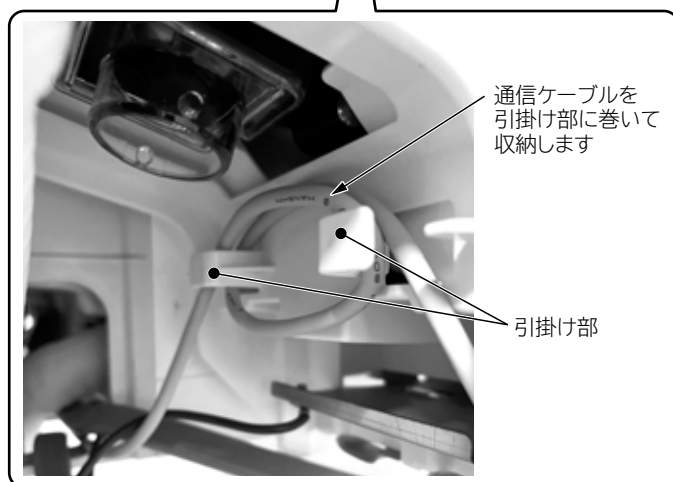
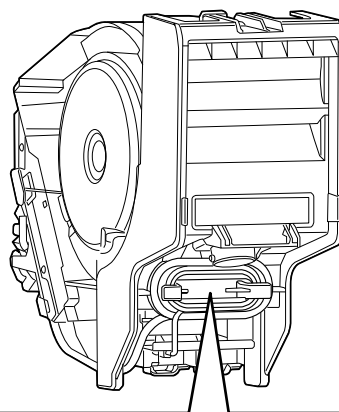
取り付けは(2)を支点として回転させて(1)を取付けます。
※説明のため下図ではブッシュ部を切断していません。



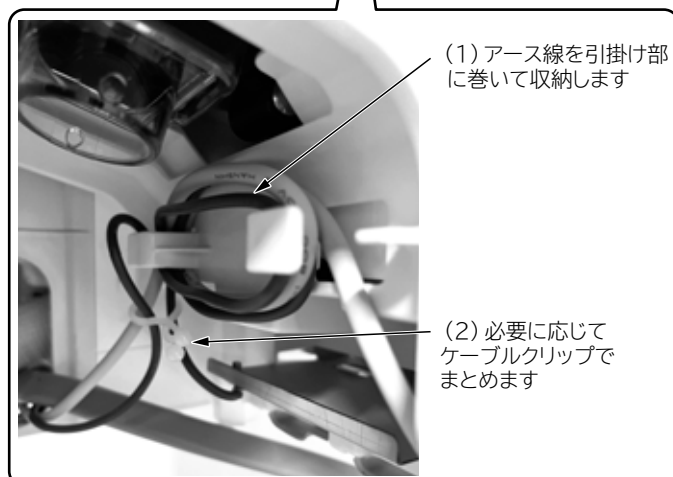
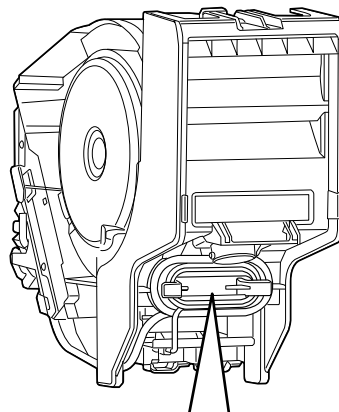
- ⑪下カバー左の側面側切り欠き部へ通信ケーブルとアース線を通します。
※説明のため換気ユニット、配管類は表示していません。



- ⑫余った通信ケーブルを換気ユニット背面の引掛け部に巻いて収納します。



- ⑬余ったアース線も換気ユニット背面の引掛け部に巻いて収納します。余った線はケーブルクリップで通信ケーブルと一しょにまとめてください。



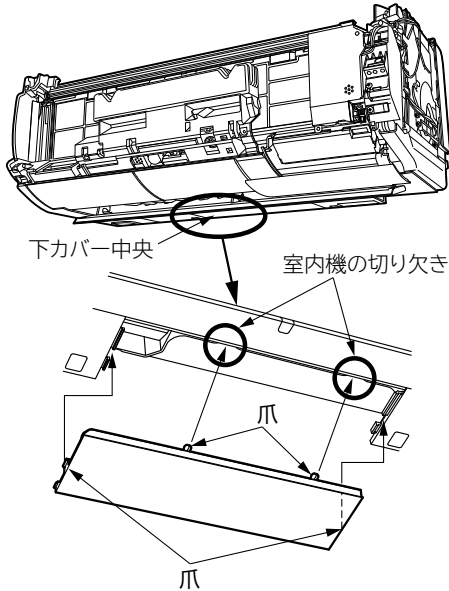
11-2 室内機のカバーの取り付け

各作業の詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

①室内機の下カバー中央と配管押さえの下爪を取付けます。

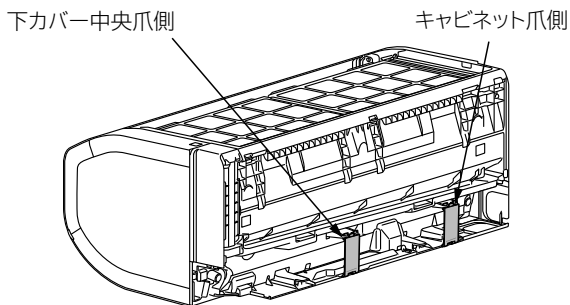
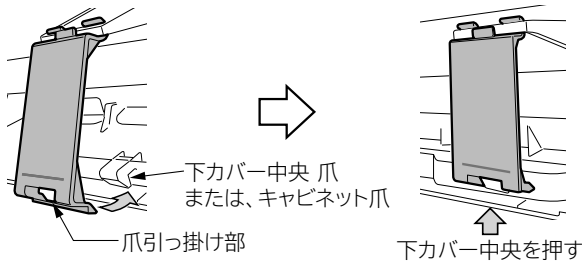
「下カバー中央の取り付けかた」

下カバー中央前側の爪2箇所を室内機の切り欠きに差し込みます。
下カバー中央の爪を室内機に押し込みます。

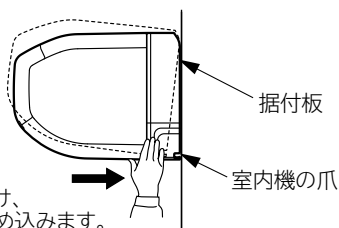


「配管押さえの取り付けかた」

下カバー中央またはキャビネットの爪で固定します。
配管押さえの爪引掛け部が下カバー中央の爪で確実に固定されていないと、下カバー中央が変形することがあります。



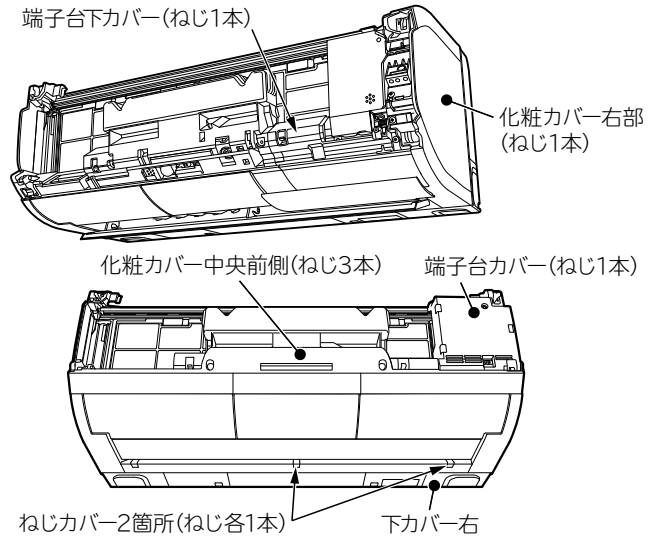
②室内機下部を壁に押しつけ、室内機の爪を据付板にはめ込みます。



室内機下部を壁に押し付け、室内機の爪を据付板にはめ込みます。

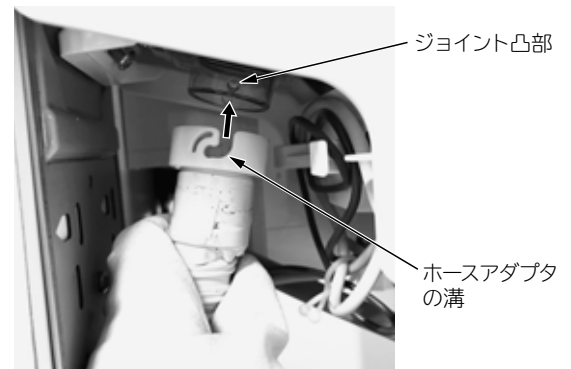
引掛ける際に、ホース類の配置がずれないようにしてください。

③取り外したすべての室内機のカバー類を取り付けます。
P.14「6.室内機の準備」とP.16「7.室内機の据付」とP.32「7-6 室内機カバー類の取り外し」の逆の手順で取付けます。

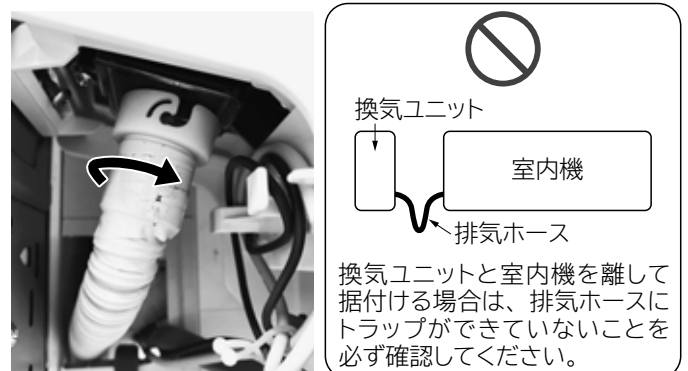


11-3 排気ホースの接続

①ホースアダプタの溝を換気ユニット下面にあるホースジョイントの凸部に位置を合わせて挿入します。



②右回りにカチッとするまでホースアダプタを回転させて固定します。ホースアダプタを下方へ軽く引っ張って、外れないことを必ず確認してください。
ホースが長すぎる場合は、先端の長さを調整してください。

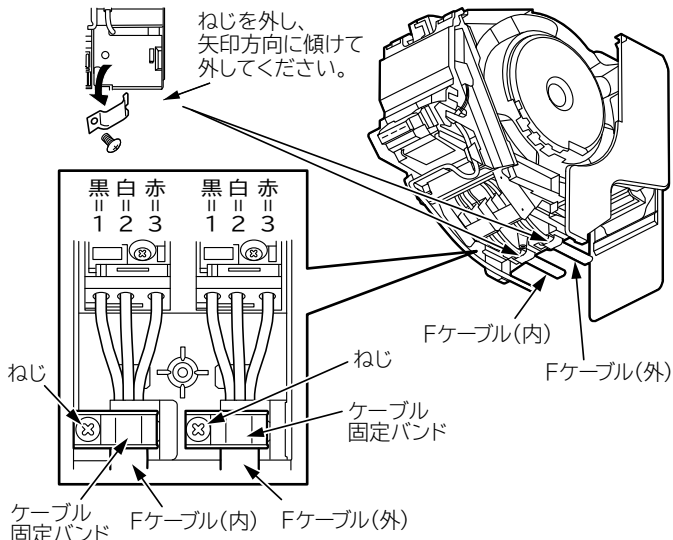


換気ユニットと室内機を離して据付ける場合は、排気ホースにトラップができていないことを必ず確認してください。

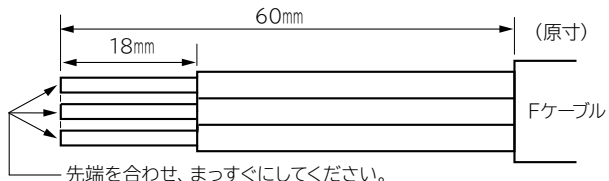
ご注意 ホースアダプタとホースジョイントが確実に固定されていることを確認してください。
ホースアダプタと排気ホースが確実に固定されていることを確認してください。
ホース外れのおそれがあります。
ホース接続時に下カバーが外れた場合は、再度取り付けてください。

11-4 換気ユニットへのFケーブルの接続

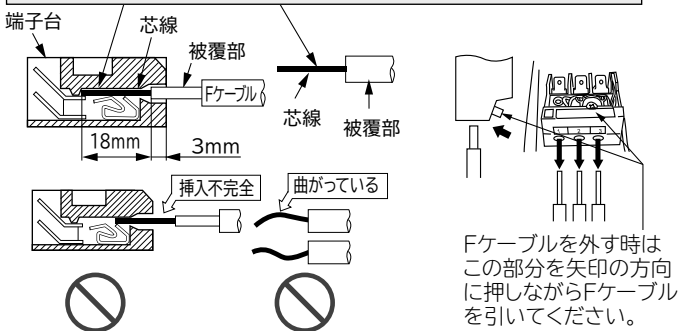
- ①換気ユニットのケーブル固定バンドを外します(2箇所)。
- ②Fケーブル(内)と(外)の先端を下図の寸法に処理し、端子台へ接続します。接続する端子台に注意してください。
- ③Fケーブル(内)と(外)を端子台へ接続した後、ケーブル固定バンドでFケーブルを固定してください。



Fケーブル(内)、Fケーブル(外)共通



むき出し部の芯線をまっすぐにして奥までしっかり差し込んでください。

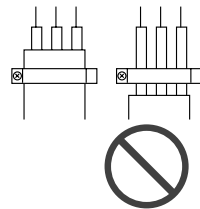


警告

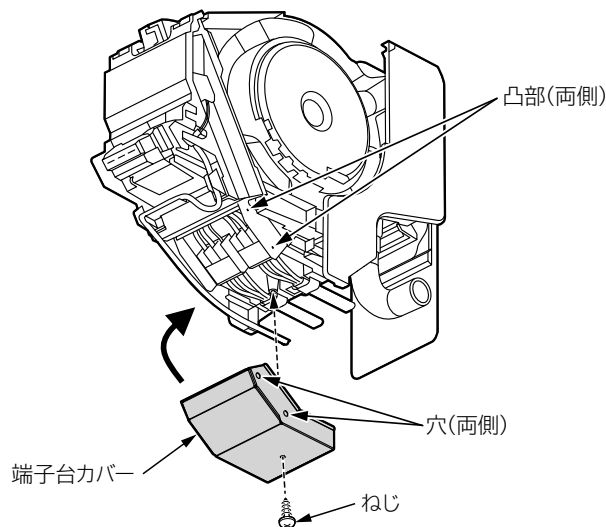
- Fケーブルは、必ず直径2mmの単線を使用するより線を使用しますと、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルを途中で接続しない
接続部が過熱し、火災・感電の原因になります。
- Fケーブルの芯線は18mm(最小でも17mm、最大でも20mm)むき出し、芯線がかくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する
挿入が不十分であったり、むき出し寸法が17mm以下ですと接触不足により、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする
- 分岐回路はエアコン専用の回路にする
- Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う
- Fケーブルの接続作業は電源プラグを必ずコンセントから抜いて行う
Fケーブルの1・2端子間には100Vまたは200Vが印加されます。

警告

- Fケーブルは必ずケーブル固定バンドで止める
- ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする
Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。



- ④端子台カバーの穴と端子台の凸部の位置が合うように端子台カバーを取り付け、前の作業で取り外したねじで固定します。

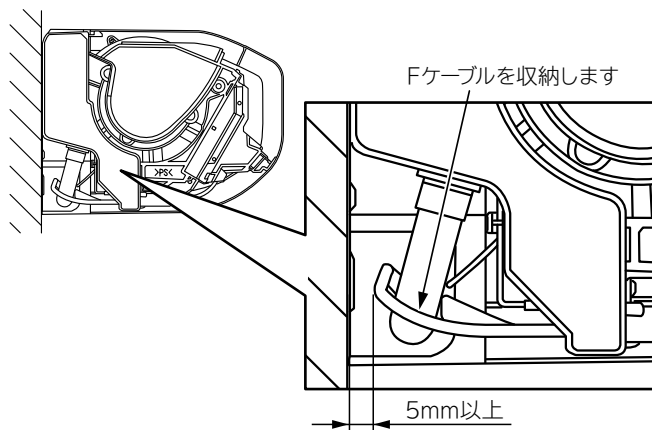


端子台カバーを取り付けの際はケーブル類をかみこまないよう注意してください。

警告

- 取り外した端子台カバーは工事後、必ず取り付ける

- ⑤余っているFケーブルを換気ユニットのキャビネットからはみ出さないように収納します。その際、Fケーブルが据付板や壁に接触しないようにしてください。騒音や振動の原因となります。



➡P.62 に進んでください

12.換気ユニットと室内機の接続

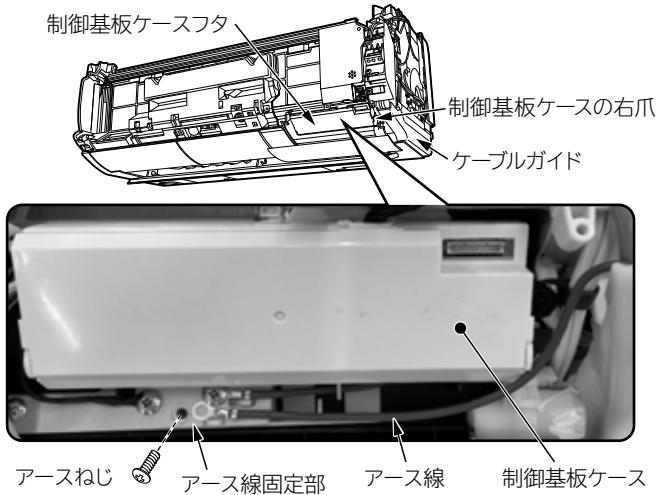
室内機の右側に換気ユニットを据え付ける場合
(据付方法K、L、M、N、P、Q、R、S、T)

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

12-1 アース線、通信ケーブルの接続

据付方法「K、L、M、N、P、Q、R、S、T」共通

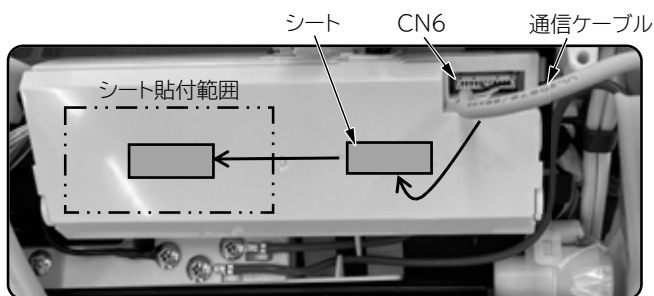
- ①アース線を制御基板ケース下のアース線固定部に付属のアースねじで固定します。



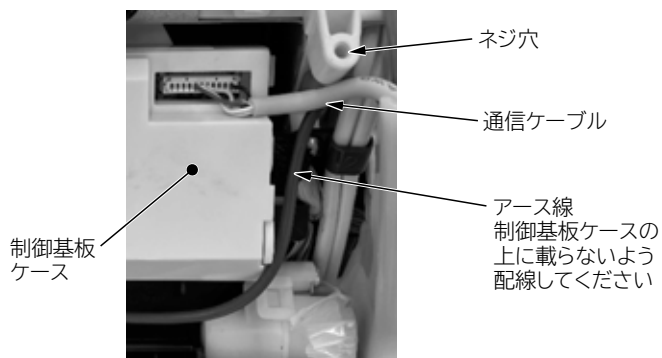
- ②アース線をアース線固定部の引掛け部に通して固定します。



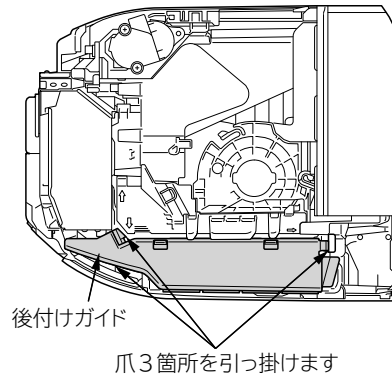
- ③制御基板ケースフタのシートをはがし、CN6に通信ケーブルを挿入します。はがしたシートは下図の範囲内に貼ってください。移設等で換気ユニットを取り外してエアコンを使用する場合にはシートを使いますので、必ず貼ってください。



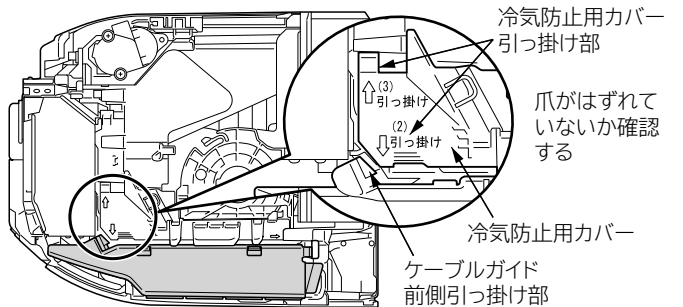
- ④ケーブル類をネジ穴の下に通します。
(後の作業で端子台下カバーを取り付ける際にねじでケーブル類を傷つけないようにするため)



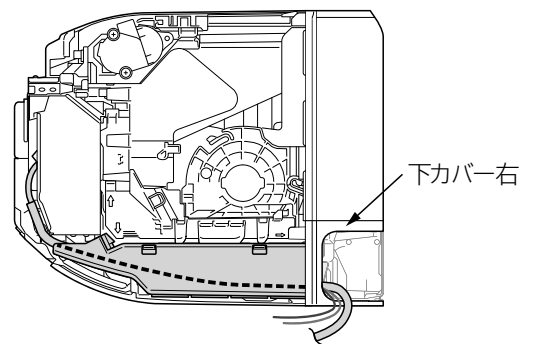
- ⑤爪3箇所を引っ掛けて後付けガイドを取り付けます。



ご注意 ●ケーブルガイドを取り付ける際に、上部にある冷気防止用カバーの爪が外れていないか確認してください。きちんと爪がかかっていると露たれの原因となります。

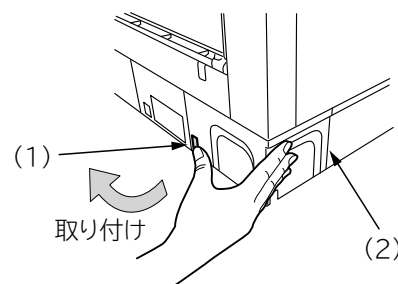


- ⑥下カバー右を取り付けます。Fケーブル(内)、アース線、通信ケーブルは下カバー右の切り欠き部を通します。



図は説明のため配管、ホース類を表示していません。

取り付けは(2)を支点として回転させて(1)を取付けます。



配管・ホース類は切断したブッシュ部を通してください。

図は説明のためブッシュ部を切断表示していません。

12-1 アース線、通信ケーブルの接続(つづき)

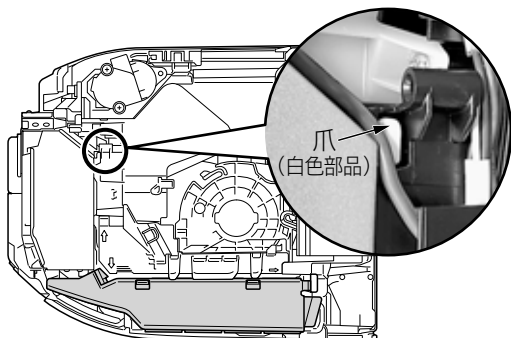
お願い

後の作業でFケーブル(内)(外)と絡まることを防止するため、通信ケーブルとアース線はFケーブル(内)の下側を通してください

Fケーブル(内)

アース線

通信ケーブル

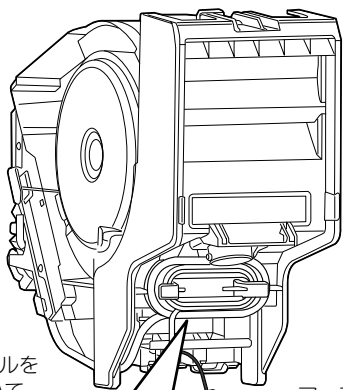


爪
(白色部品)

ご注意

●通信ケーブル、アース線をケーブルガイドを通した後に、電気品上部の爪が外れていないか確認してください。

⑦ 余った通信ケーブルを換気ユニットの引掛け部に巻いて収納し、ケーブルクリップでまとめます。



(1)通信ケーブルを引掛け部に巻いて収納します

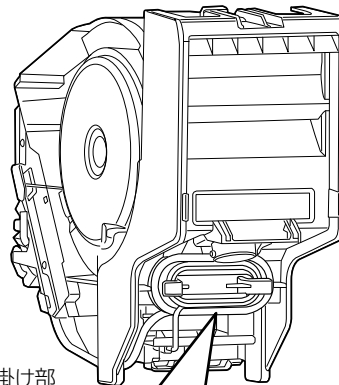
アース線



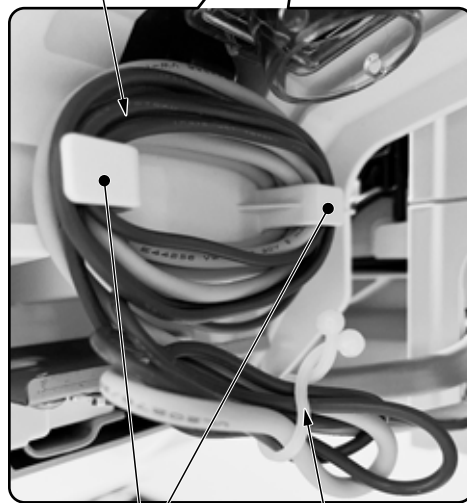
(2)ケーブルクリップでまとめます

引掛け部

⑧ 余ったアース線も換気ユニットの引掛け部に巻いて収納し、通信ケーブルをまとめたケーブルクリップと一緒によまとめます。



(1)アース線を引掛け部に巻いて収納します

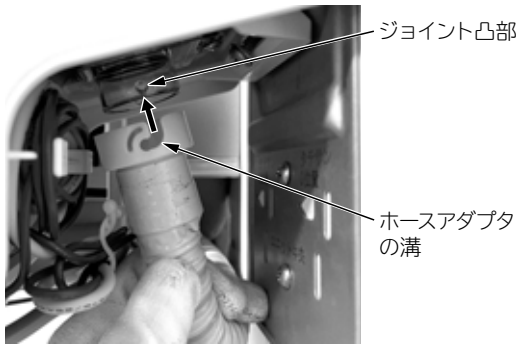


引掛け部

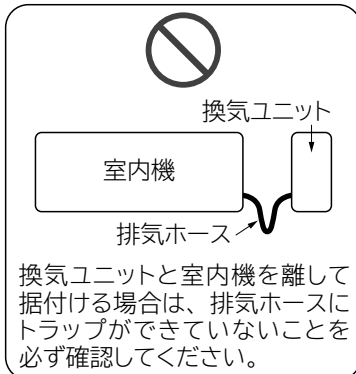
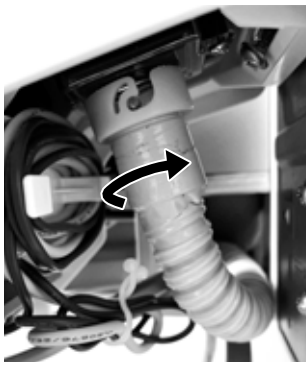
(2)余ったアース線は通信ケーブルと一緒によまとめます

12-2 排気ホースの接続

- ①ホースアダプタの溝を換気ユニット下面にあるホースジョイントの凸部に位置を合わせて挿入します。



- ②右回りにカチッとするまでホースアダプタを回転させて固定します。ホースアダプタを下方へ軽く引っ張って、外れないことを必ず確認してください。ホースが長すぎる場合は、先端の長さを調整してください。

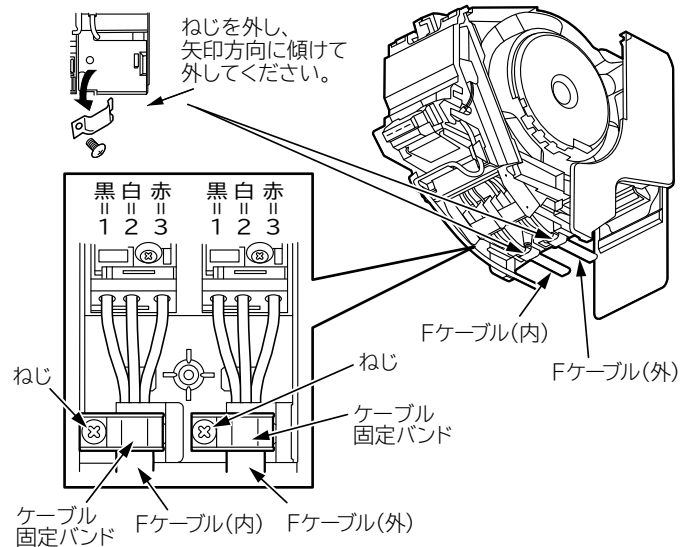


ご注意

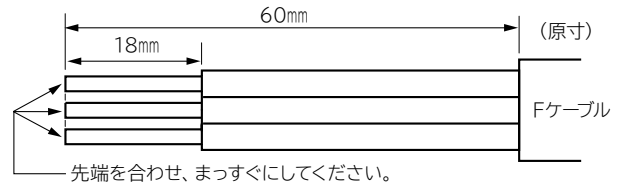
ホースアダプタとホースジョイントが確実に固定されていることを確認してください。ホースアダプタと排気ホースが確実に固定されていることを確認してください。ホース外れのおそれがあります。ホース接続時に下カバーが外れた場合は、再度取り付けてください。

12-3 換気ユニットへのFケーブルの接続

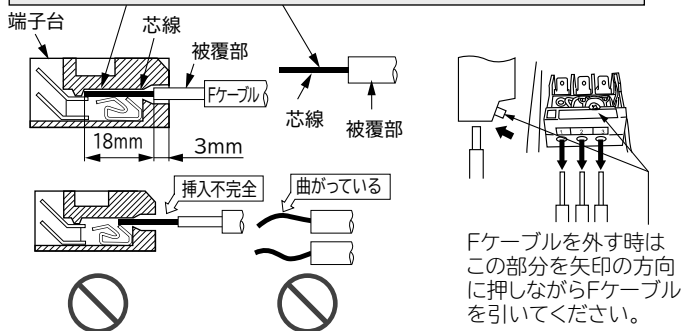
- ①換気ユニットのケーブル固定バンドを外します(2箇所)
②Fケーブル(内)と(外)の先端を下図の寸法に処理し、端子台へ挿入します。挿入する端子台に注意してください。
③Fケーブル(内)と(外)を端子台へ挿入した後、ケーブル固定バンドで固定してください。



Fケーブル(内)、Fケーブル(外)共通



むき出し部の芯線をまっすぐにして奥までしっかり差し込んでください。



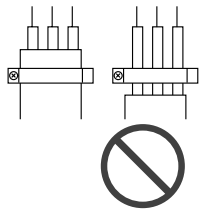
警告

- Fケーブルは、必ず直径2mmの単線を使用する
より線を使用しますと、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルを途中で接続しない
接続部が過熱し、火災・感電の原因になります。
- Fケーブルの芯線は18mm(最小でも17mm、最大でも20mm)むき出し、芯線がかくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する
挿入が不十分であったり、むき出し寸法が17mm以下ですと接触不足により、故障や発熱・火災の原因になります。
- Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする
- 分岐回路はエアコン専用の回路にする
- Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う
- Fケーブルの接続作業は電源プラグを必ずコンセントから抜いて行う
Fケーブルの1・2端子間には100Vまたは200Vが印加されます。

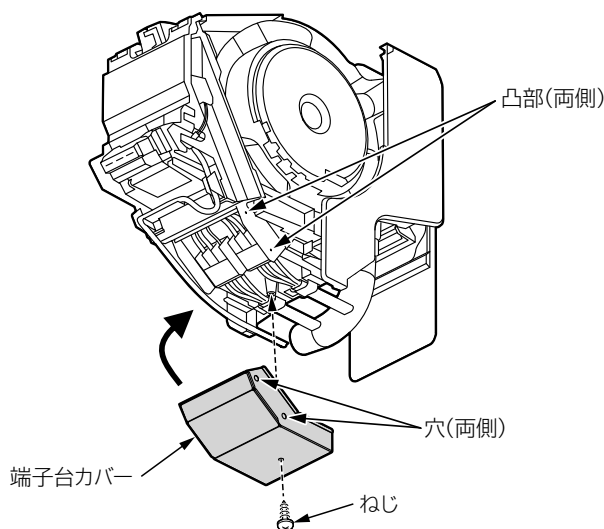
12-3 換気ユニットへのFケーブルの接続(つづき)

警告

- Fケーブルは必ずケーブル固定バンドで止める
 - ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする
- Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱や火災などの原因になります。



- ④ 端子台カバーの穴と端子台の凸部の位置が合うように端子台カバーを取り付け、前の作業で取り外したねじで固定します。

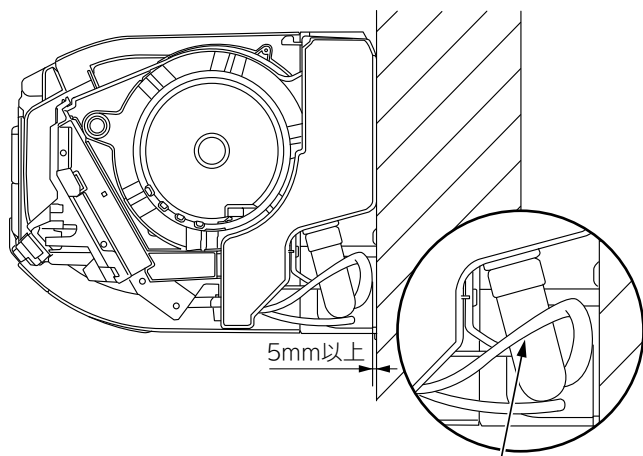


端子台カバーを取り付けの際はケーブル類をかみこまないよう注意してください。

警告

- 取り外した端子台カバーは工事後、必ず取り付ける

- ⑤ 余っているFケーブルを換気ユニットのキャビネットからはみ出さないように収納します。その際、Fケーブルは据付板や壁に接触しないようにしてください。騒音や振動の原因となります。

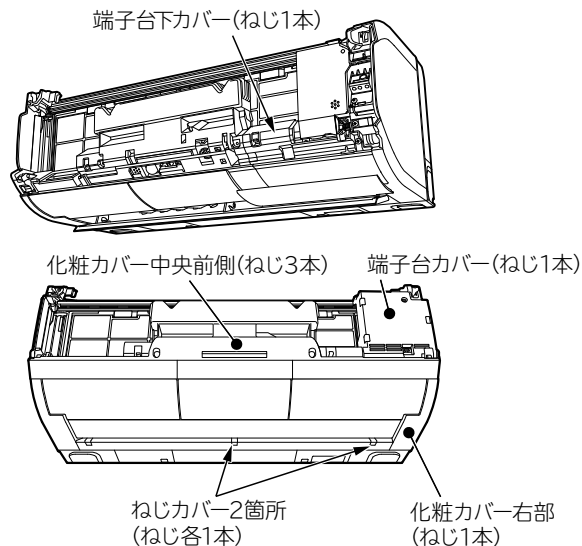


Fケーブルを収納してください。

12-4 室内機のカバーの取り付け

各作業の詳細はエアコンの据付説明書を参照してください。

取り外したすべての室内機のカバー類を取り付けます。P.14「6. 室内機の準備」とP.48「8-5 室内機カバー類の取り外し」の逆の手順で取付けます。

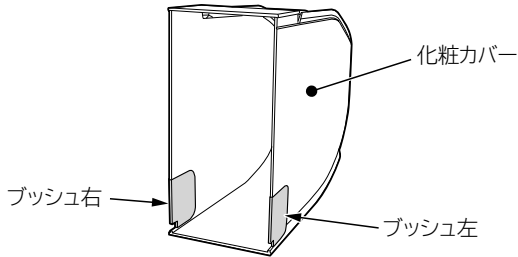


13.換気ユニットの仕上げ

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

13-1 化粧カバーブッシュの切断

換気ユニットの左右据付位置及び配管引き出し方向によって、ブッシュの切断位置が異なります。配管類、排気ホースの引き出し位置によって、化粧カバーのブッシュをPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。



13-2 隙間ピースの取り付け

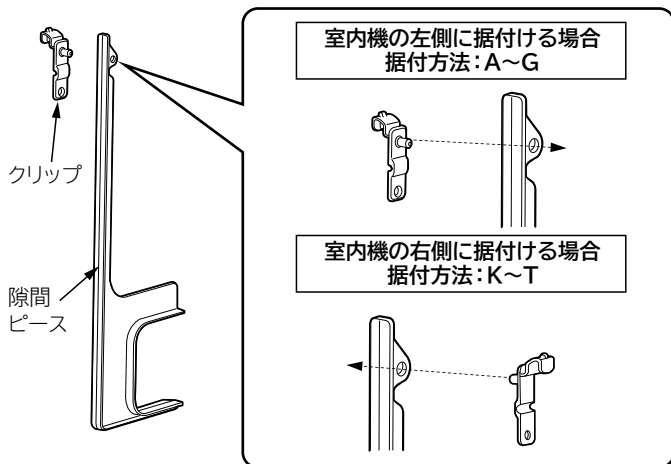
換気ユニットと室内機間の配管類を隠すために隙間ピースを同梱しています。

隙間ピースは換気ユニットの左右どちらか一方(室内機側)に取り付けて使用します。

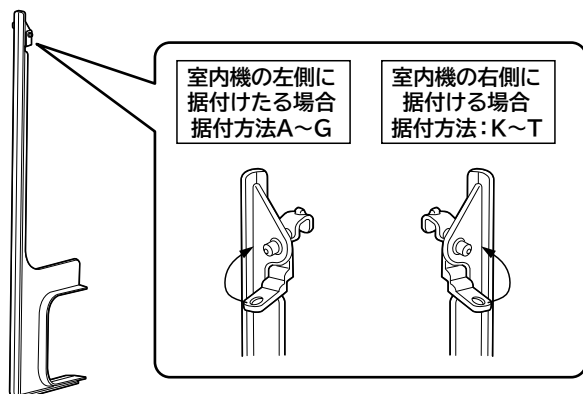
使用する際は、以下の方法にしたがって取り付けてください。なお、以下の据付方法では隙間ピースを取り付けることができませんので、市販の配管カバー等を使用してください。

- 据付方法 H,J: 左横引き、M: 右横引きのとき
(ドレンホースの勾配を確保するために室内機と換気ユニットの高さがずれるため、取り付けることができません)
- 換気ユニットと室内機を離して据え付ける場合

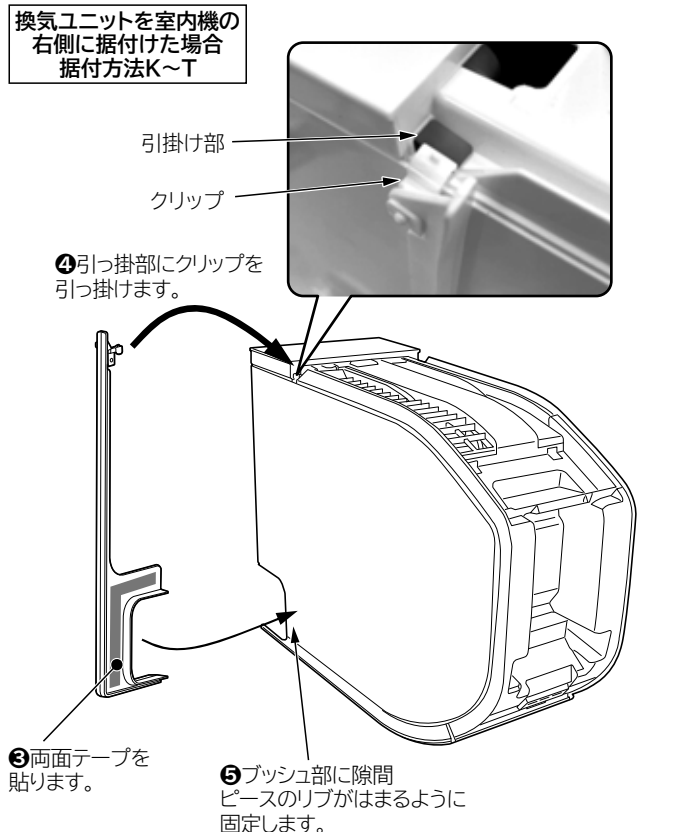
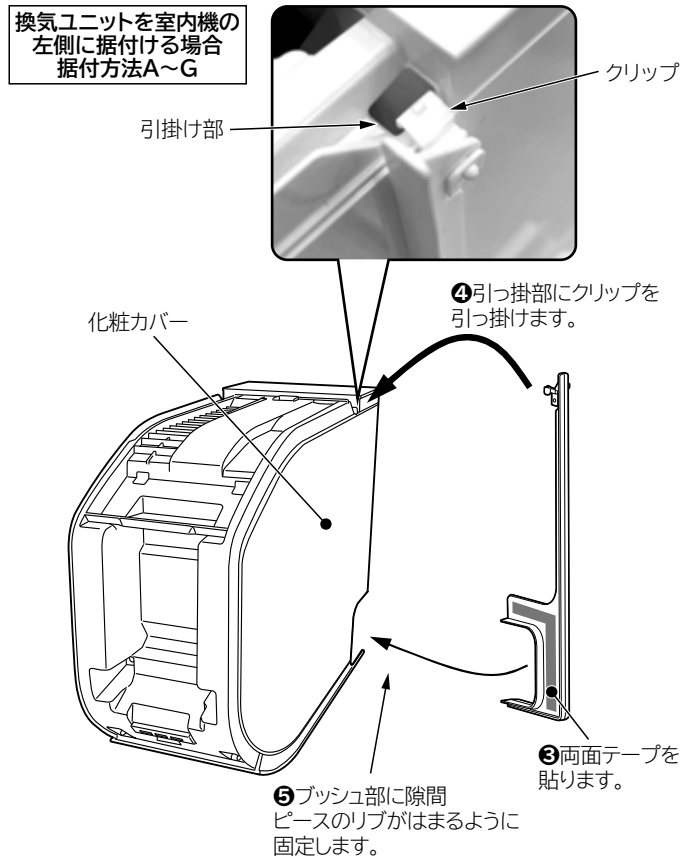
❶ 据付方法に合わせてクリップ(付属品)のボスを、隙間ピースの穴に通します。クリップの向きは換気ユニットの据付位置によって異なります。



❷ クリップを折り曲げて、ボスを穴に差し込んで固定します。



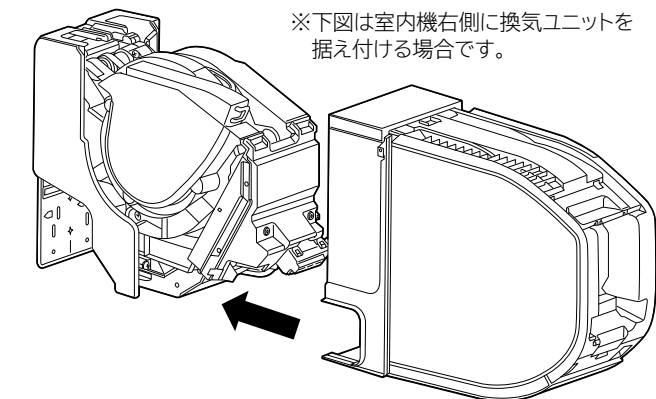
- ❸ 付属品の両面テープを隙間ピースの下部に貼り付けます。
- ❹ 化粧カバー上部にある引っ掛け部にクリップを引っ掛けます。
- ❺ 隙間ピースのリップが化粧カバーの切断したブッシュ部にはまるように、両面テープで隙間ピースを化粧カバーに貼り付けます。



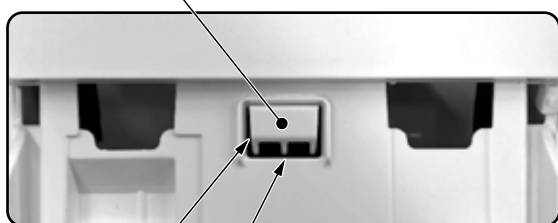
13-3 化粧カバーの取り付け

- ①換気ユニットの本体へ化粧カバーを取り付けます
カバーを付ける際にケーブルやホースを巻きこまないよう注意してください。

※下図は室内機右側に換気ユニットを据え付ける場合です。

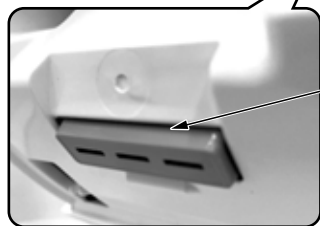
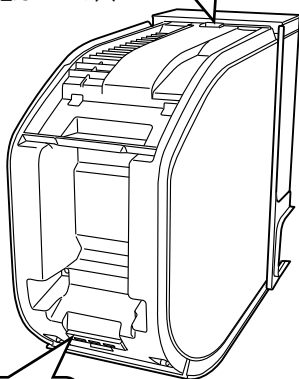


キャビネットの爪



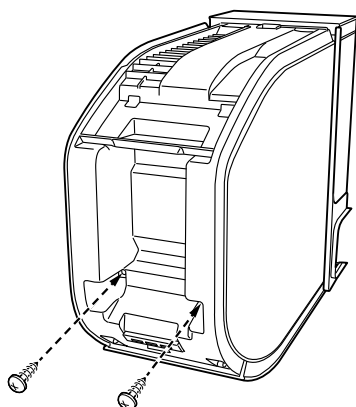
化粧カバーの穴

化粧カバーの穴にキャビネットの爪が確実に掛かっていることを確認してください



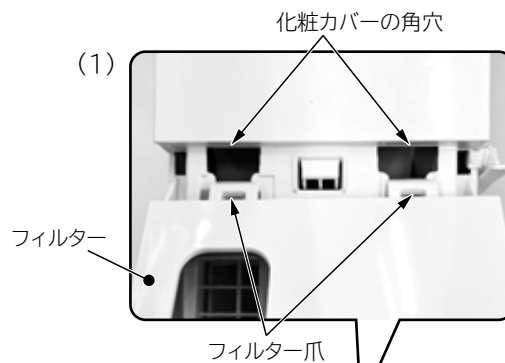
化粧カバーの角穴にLED部(灰色部品)が収まっていることを確認してください

- ②化粧カバーの前面2箇所を、外したねじで固定します。



- ③フィルターを取付けます。

- (1)フィルターの爪を化粧カバー奥の角穴2箇所に挿入します。
(2)矢印方向へフィルターをおろして取付けます。



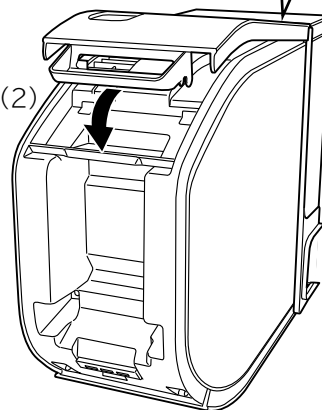
(1)

化粧カバーの角穴

フィルター

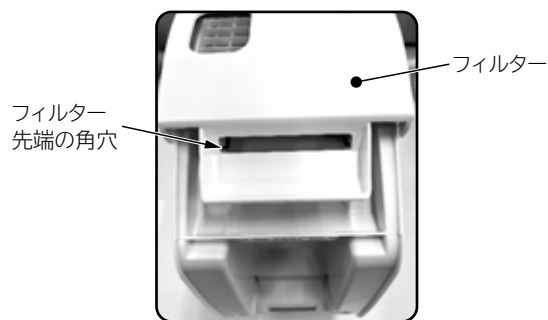
フィルター爪

(2)



- ④フロントパネルを取り付けます。

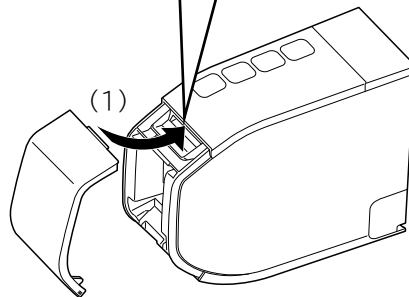
- (1)フロントパネルの上部の爪をフィルター先端の角穴に引っ掛けます。



フィルター先端の角穴

フィルター

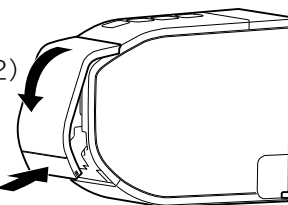
(1)



- (2)矢印方向に下ろします。
(3)矢印部を押して、「カチッ」と音がするまで押し付けます。

(2)

(3)



- ⑤室内機のフロントパネルを取り付けます(P.14参照)。

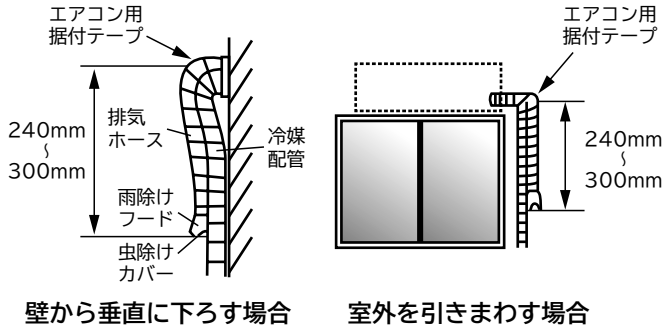
14. 排気ホースの末端処理

室外へ出した排気ホースの末端は、次のように末端処理を行ってください

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

14-1 出口カバーを使用しない場合

- 下に曲げるポイントから雨除けフード先端までの落差が240～300mmとなるように排気ホースを切断します。
- 排気ホースを壁穴から直接下におろせる場合、壁から190～250mmの位置で切断します。
- 排気ホースを室外で引きまわす場合、下に曲げるポイントから190～250mmの位置で切断します。



壁から垂直に下ろす場合

室外を引きまわす場合

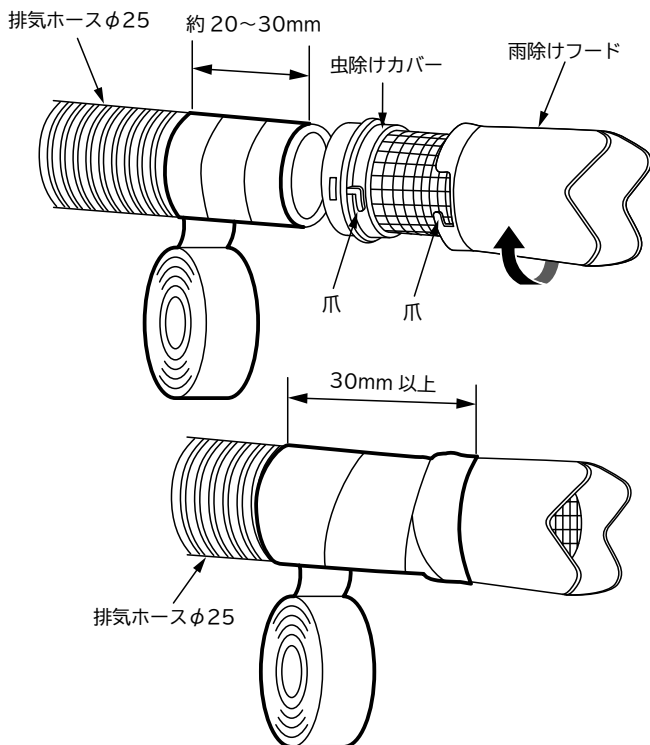
⚠ 注意

- 排気口までの落差が小さい場合および排気口を下向きに固定しなかった場合、排気ホースから室内に雨水が浸入する恐れがあります。
- 風の強い地域や海沿いの地域では長めに設定してください。

- 排気ホースに虫除けカバーを接続します。

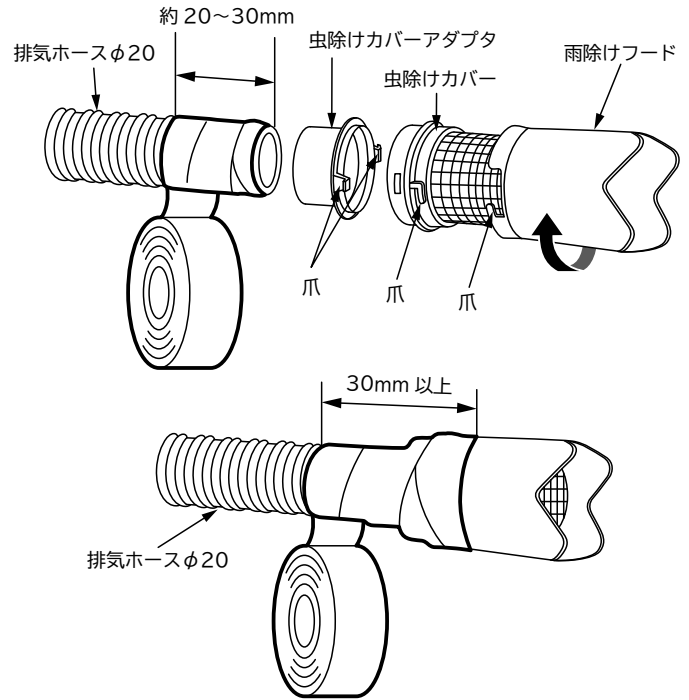
排気ホースが、Φ25の場合

- 雨除けフードを虫除けカバーに突き当たるまで差し込みます。
- 虫除けカバーの爪に雨除けフードの爪を引っ掛け、固定します。
- 排気ホースの先端にビニールテープを4～5周巻きます。
- 虫除けカバーの内側に排気ホースΦ25を突き当たるまで差し込みビニールテープで固定します。



排気ホースが、Φ20の場合

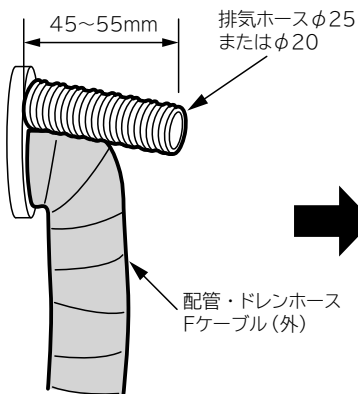
- 虫除けカバーアダプターの爪を虫除けカバーの角穴に引っ掛け固定します。
- 雨除けフードを虫除けカバーに突き当たるまで差し込みます。
- 虫除けカバーの爪に雨除けフードの爪を引っ掛け、固定します。
- 排気ホースの先端にビニールテープを4～5周巻きます。
- 虫除けカバーアダプタの内側に排気ホースΦ20を突き当たるまで差し込みビニールテープで固定します。



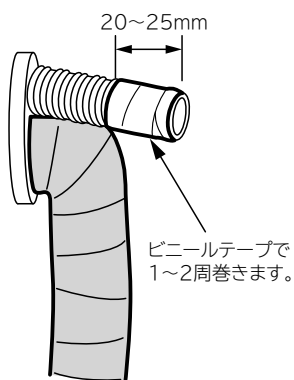
- 冷媒配管と一緒にエアコン用据付テープで固定します。
(①の図を参照してください)
この時、排気ホースは必ず下向きに固定してください。

14-2 出口カバーを使用する場合（(因幡電機産業(株)製 SWX-77L) 推奨）

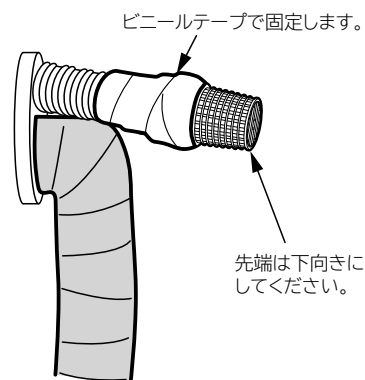
① 排気ホースを壁から45～55mmの位置で切断します。



② 排気ホースの端部から20～25mmの範囲にテープを1～2周巻きます。



③ 排気ホースの先端に虫除けカバーを取り付けビニールテープで固定します。(P.64参照) ホースの先端は水平より下向きにしてください。

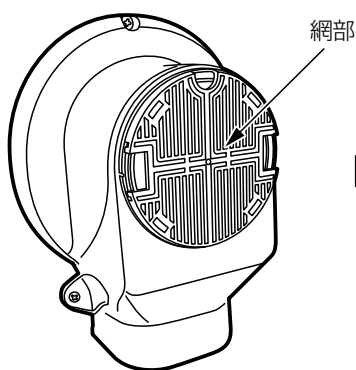


⚠ 注意

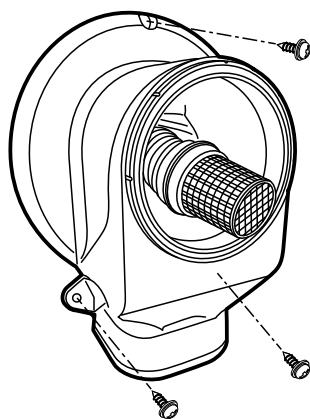
ホースの先端を下向きにしなかった場合、排気ホースから室内に雨水が浸入するおそれがあります。

④ 出口カバーを取り付けます。

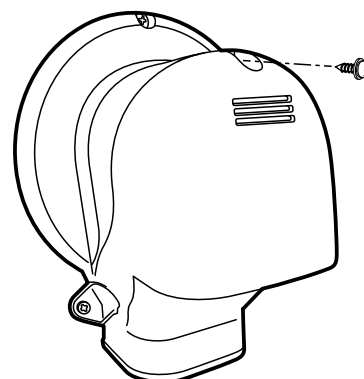
(1) 出口カバーの網部は取り外します。



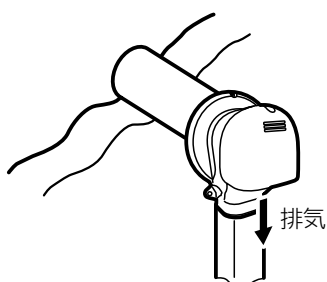
(2) 出口カバー本体をねじで3箇所、壁に固定します。



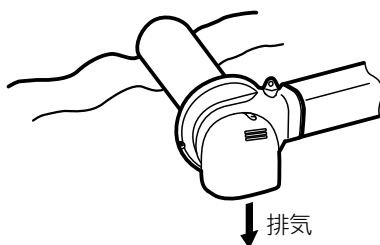
(3) フードを取り付け、ねじで固定します。配管方向によって、下図を参考にフードの向きを調整してください。



下配管



左右配管



14-3 ドレン用逆止弁の取り付け

気密性の高い住宅などで強風時や本製品、換気扇を使用したときなどに、室内機からのドレン水がスムーズに流れず、異音(ポコポコ音など)が発生したり、水漏れが発生することがあります。

本製品に付属しているドレン用逆止弁(因幡電機産業(株)製 DHB-1416)をドレンホースに取り付けてください。

取り付け方法は、ドレン用逆止弁付属の取り扱い説明書をご確認ください。

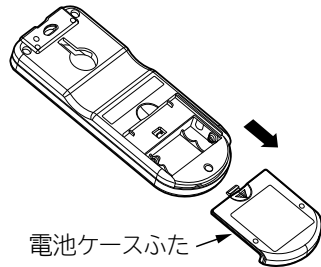
15.換気ユニット用リモコンの設定と固定

以下の作業はエアコンの試運転後に実施してください。
エアコンの試運転方法については対応するエアコンの据付説明書をご確認ください。

15-1 乾電池の入れ方

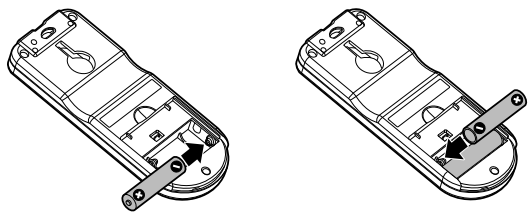
①電池ケースのふたを外します。

▽マークを押しながら
手前に引き抜きます。



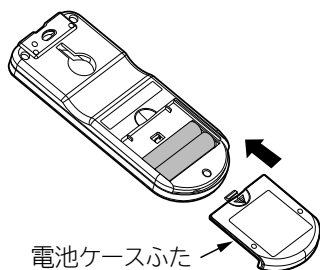
②単4形マンガン乾電池 (R03タイプ) 2本を入れてください。
アルカリ乾電池 (LR03タイプ) も使用できます。

⊕ ⊖を電池ケースの表示に合わせて正しく入れてください。
⊖側から先にバネを縮ませながら入れます。



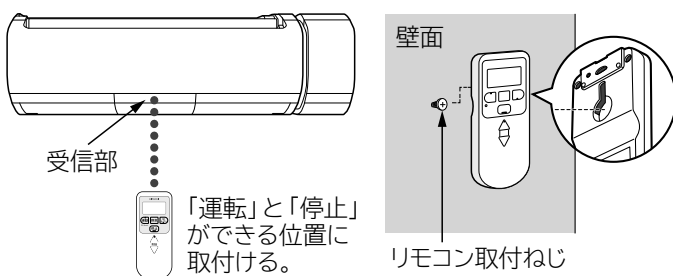
③電池ケースのふたを閉じます。
「カチツ」と音がするまで押し込みます。

④先の細いボールペンなどで
リセットボタンを押してください。



15-2 リモコンの固定

- リモコンはリモコン取付ねじで壁や柱に固定することができます。また、リモコンホルダー(別売: SP-RH-2)でも固定することができます。
- 蛍光灯により影響され信号が受信されなくなることがありますので、昼間でも点灯して確認してください。
- 電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなる場合があります。場合によっては信号を受け付けないことがあります。



ご注意

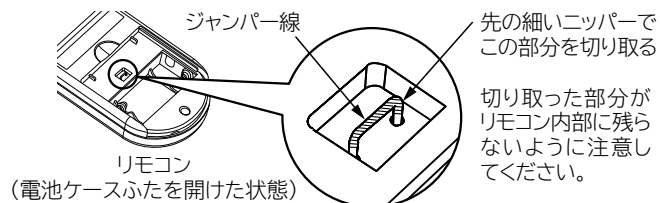
- 換気ユニットにはリモコン受信部はありません。リモコンは室内機の受信部で受信します。
- 事前に取付場所から換気ユニットを動作できることを確認してから取り付けてください。
- 吹き抜けなどにより、室内機上部の天井が高い場合や、リモコンの取付場所によっては、取り付けただけで「運転」や「停止」ができないことがあります。

15-3 アドレス設定方法

換気ユニットと接続した室内機のリモコンアドレスを「B」に設定した場合は、換気ユニット用リモコンのアドレスも「B」に設定してください。

アドレス切り換えに使用するジャンパー線は、リモコンの電池ケースふたを外したところにあります。出荷時の設定は「A」です。エアコン、換気ユニットに電源が入っている必要があるため、試運転後に行ってください。

- ①換気ユニット用リモコンの乾電池を取り外します。
- ②ジャンパー線を先の細いニッパーで切り取ります。
切りにくい場合は手前に曲げて中央を切断し、ジャンパー線どうしが接触しないように奥に押し込みます。
- ③乾電池を入れ電池ケースふたを閉じリセットボタンを押します。
- ④リモコンを操作して、換気ユニットが動作することを確認してください。
動作しない場合は、再度①から作業を行ってください。



⚠ 注意

- ジャンパー線は必ず切り取る
- 切り取ったあとジャンパー線と乾電池が接触しないことを確認する
切断部が乾電池に接触していると、乾電池の過熱の原因になることがあります。

16.換気ユニットの試運転

据付方法
A
B
C
D
E
F
G
H
J
K
L
M
N
P
Q
R
S
T

エアコンの試運転を行った後に実施してください。
エアコンの試運転の詳細は対応するエアコン本体の据付説明書に記載されています。

換気ユニットの試運転はエアコンを停止した状態から行ってください。

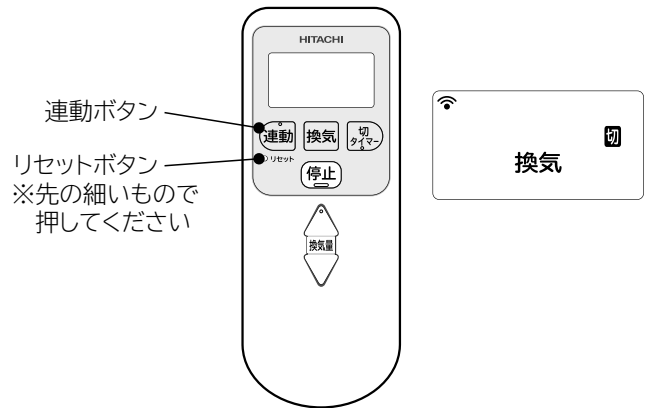
- ①換気ユニット用リモコンの換気ボタンを押して、換気ユニットの運転ランプが点灯するか確認します。
 - ②換気量ボタンで換気量を「パワフル」に設定し、室外のホースから風が出ていることを確認してください。
 - ③取扱説明書の手順で操作についてお客様へ説明してください。
- 試運転中に換気ユニットのランプが点滅した場合は以下にしたがって確認してください。

ランプ点滅モード	確認内容
換気ユニット タイマーランプ3回点滅	通信ケーブルのコネクタ(CN6)が 確実に接続されていること

17.移設時または取外し時の作業

移設などで換気ユニットのみを取り外す際は、換気ユニット用リモコンでの取り外し設定が必要です。正しく取り外し設定がされないとエラーとなり、エアコンが動作しません。必ず実施してください。

- ①換気ユニットを取り外します。
- ②エアコンの据付説明書にしたがってFケーブルを接続し直してください。
- ③エアコンの電源プラグをコンセントに挿入します。
- ④換気ユニットのリモコンの送信部を室内機に向けた状態で「連動」ボタンを押しながら「リセットボタン」を押します。「リセットボタン」を離します。
- ⑤リモコンの液晶画面に下図の表示がされ、「ピッ」という受信音がエアコンから鳴れば設定完了です。



⚠ 注意

換気ユニットを取り外す際は必ず実施する
実施しないとエアコンが動作しません。